
三田市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
報告書

令和 8 年 5 月

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 留意点	1
2. 回答者の属性	2
(1) 圏域、年齢、性別	2
(2) 認定該当状況	3
(3) 回答の記入者	3
1. あなたのご家族や生活状況について	4
(1) 家族構成	4
(2) 暮らし・住まいの状況	6
2. からだを動かすことについて	15
(1) 運動・転倒の状況	15
(2) 外出の状況	21
3. 食べることについて	30
(1) 口腔	30
(2) 栄養	38
4. 毎日の生活について	45
(1) 物忘れ	45
(2) IADL の状況	50
(3) 社会との関わり	59
(4) 趣味・生きがい	63
5. 地域での活動について	69
(1) 地域活動への参加状況	69
(2) 地域づくりへの参加意向	71
(3) 就労状態	73
6. たすけあいについて	74
(1) 周囲との相互の関係	74
(2) 家族や友人・知人以外の相談相手	78
(3) 友人・知人との関係性	80

7. 健康について	84
(1) 健康状態	84
(2) 飲酒・喫煙	90
(3) 病気の状況	92
8. 認知症について	94
(1) 認知症の状況	94
(2) 認知症に関する相談窓口の認知度	95
(3) 認知症への理解	96
(4) 認知症になった場合の生活場所	108
9. その他の項目について	110
(1) スマートフォンやタブレットの利用状況	110
(2) 地域包括支援センター・成年後見制度の認知・利用状況	112
(3) 困っていることや不安なこと	114
(4) 介護が必要になった時の介護サービスの利用と住まい	116

1. 調査概要

(1) 調査目的

令和9年度から令和11年度までの「三田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（いきいき安心プラン 21）」策定にあたり、厚生労働省が提示した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」を基にして、要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加の状況を把握し、地域課題を特定するため、三田市内にお住まいの高齢者に対して、日頃の生活や介護予防、地域とのつながり、介護の状況やサービスの利用意向などの実態を調査し計画策定における基礎的な資料を作成することを目的に実施しました。

(2) 調査の実施について

調査種類	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
対象者	三田市内に住む高齢者 3,300 人 (要介護認定を受けていない方、及び要支援 1・2の方から無作為抽出)
実施期間	令和8年1月21日(水)から令和8年2月12日(木)
実施方法	郵送配布、郵送回収またはWEB回収(回収率向上のための礼状兼督促はがきを実施)
回収状況	配布数: 3,300 件 有効回収数: 2,414 件(郵送: 2,075 件、WEB: 339 件) 有効回答率: 73.2%

(3) 留意点

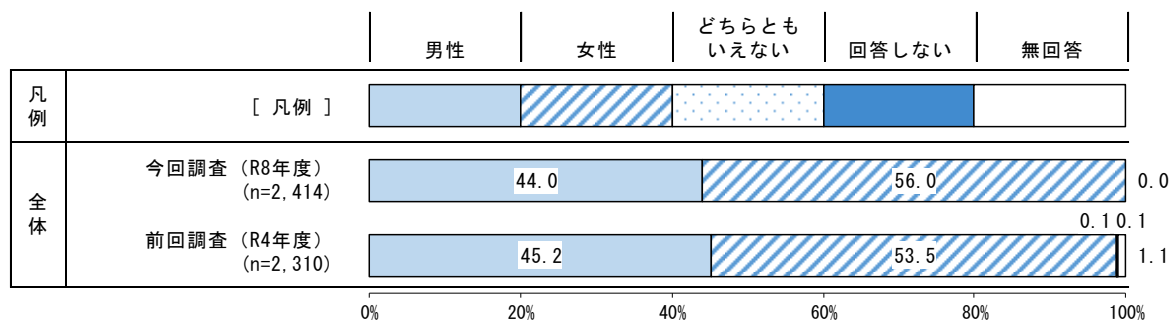
分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が 100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中に MA (Multiple Answer) と記載しています。
4. 各種リスク判定の「非該当」には判定不能の場合も含まれます。
5. クロス集計表中の網掛けは、回答割合が最も高い項目が最も濃く、二番目に多い割合の項目を薄くしています。
6. クロス集計表中の「△」は、「全体」の回答割合より 10 ポイントを上回ること、「▼」は「全体」の回答割合より 10 ポイント下回ることを表します。

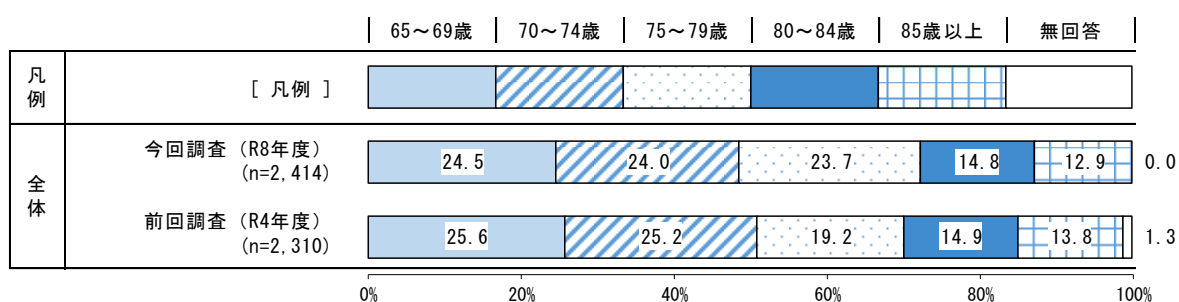
2. 回答者の属性

(1) 圏域、年齢、性別

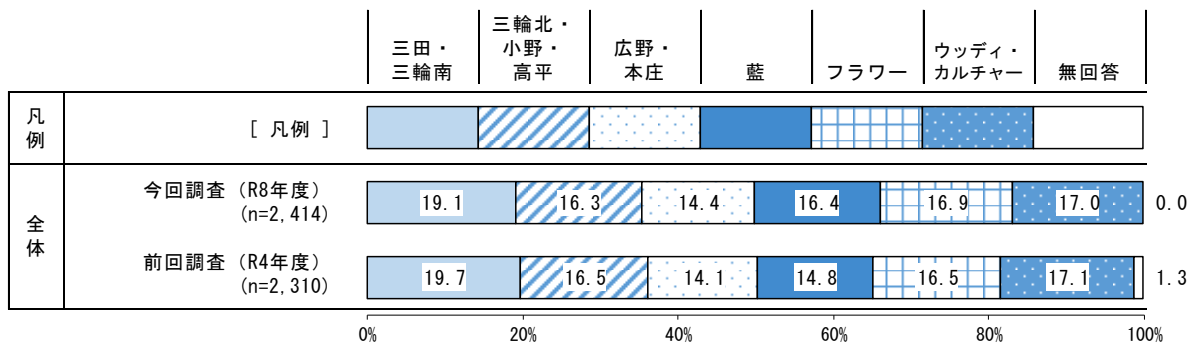
【性別】



【年齢】

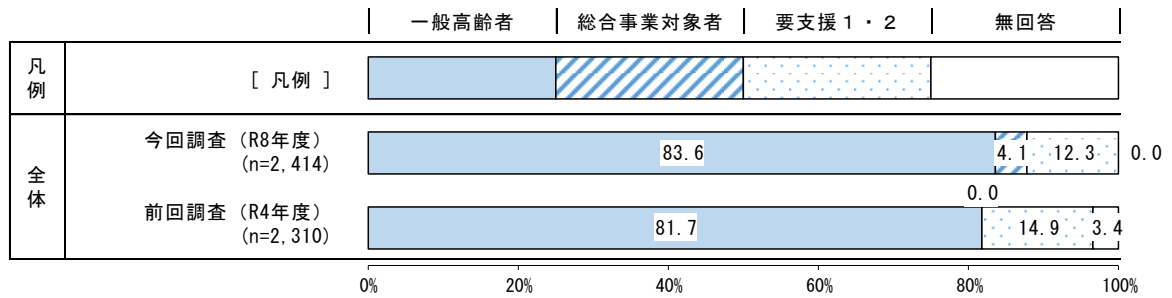


【圏域】



(2) 認定該当状況

【認定該当状況】

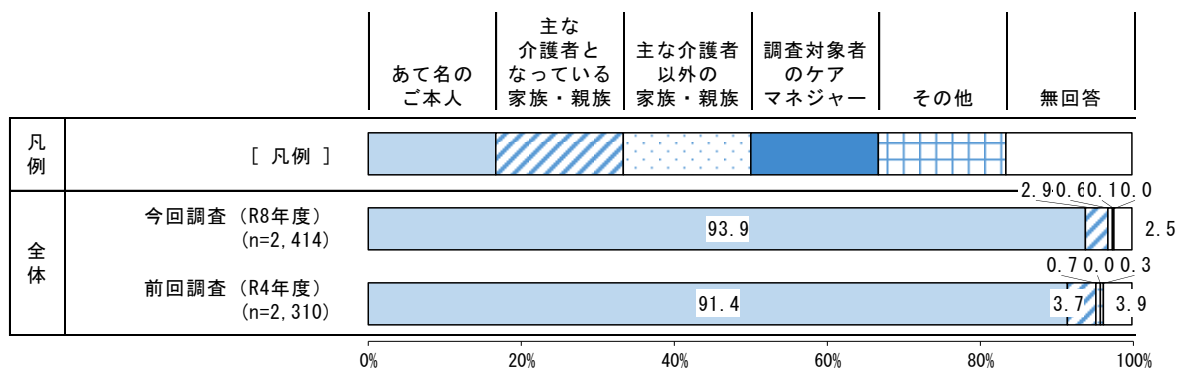


単位：上段：人、下段：%

		母数	認定該当状況		
			一般高齢者	総合事業対象者	要支援 1・2
全 体		2,414 100.0	2,019 83.6	99 4.1	296 12.3
性 別	男性	1,062 100.0	937 88.2	11 1.0	114 10.7
	女性	1,352 100.0	1,082 80.0	88 6.5	182 13.5
年 齢	65～69歳	592 100.0	568 95.9	1 0.2	23 3.9
	70～74歳	579 100.0	545 94.1	3 0.5	31 5.4
	75～79歳	573 100.0	508 88.7	12 2.1	53 9.2
	80～84歳	358 100.0	237 66.2	36 10.1	85 23.7
	85歳以上	312 100.0	161 51.6	47 15.1	104 33.3
性・年 齢	男性 前期高齢者	541 100.0	517 95.6	1 0.2	23 4.3
	後期高齢者	521 100.0	420 80.6	10 1.9	91 17.5
	女性 前期高齢者	630 100.0	596 94.6	3 0.5	31 4.9
	後期高齢者	722 100.0	486 67.3	85 11.8	151 20.9
圏 域	三田・三輪南	460 100.0	353 76.7	37 8.0	70 15.2
	三輪北・小野・高平	393 100.0	338 86.0	22 5.6	33 8.4
	広野・本庄	348 100.0	324 93.1	—	24 6.9
	藍	395 100.0	348 88.1	15 3.8	32 8.1
	フラワー	408 100.0	326 79.9	21 5.1	61 15.0
	ウッディ・カルチャー	410 100.0	330 80.5	4 1.0	76 18.5

(3) 回答の記入者

【記入者】



1. あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成

●問1 家族構成をお教えてください。(1つだけ)

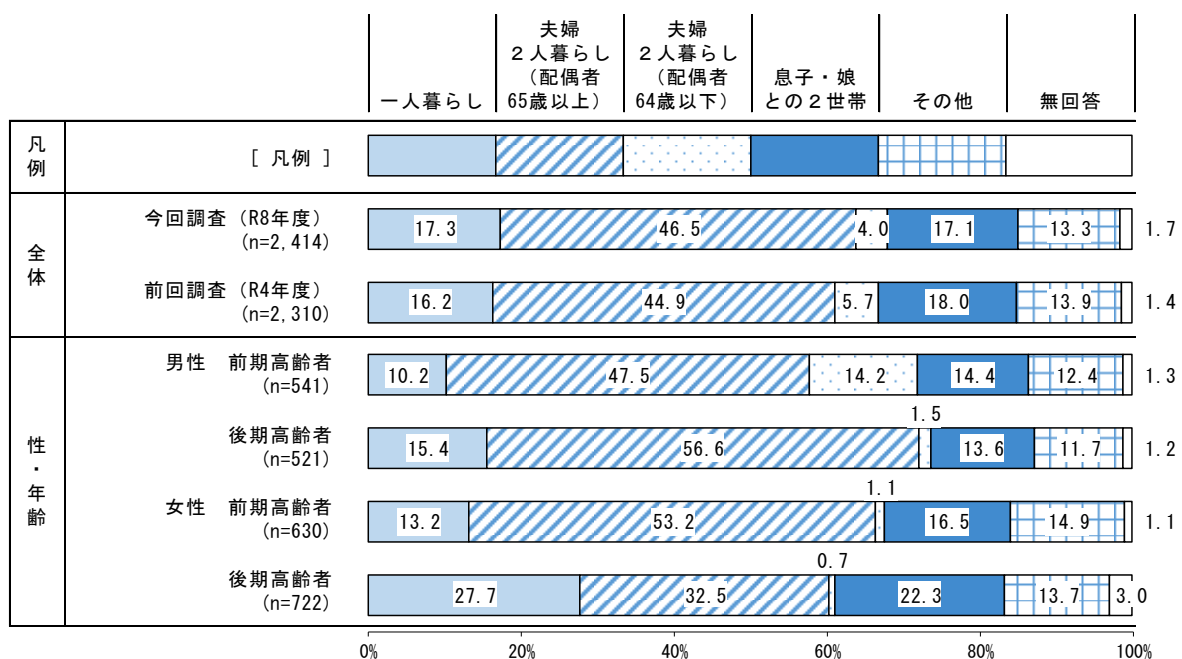
【全体】

- 家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者 65歳以上）」が46.5%で最も多く、次いで「一人暮らし」が17.3%、「息子・娘との2世帯」が17.1%となっています。

【性・年齢】

- 男性の前期高齢者は「夫婦2人暮らし（配偶者 64歳以下）」が他の区分に比べて多くなっています。男性の後期高齢者は「夫婦2人暮らし（配偶者 65歳以上）」が他の区分に比べて多くなっています。女性の後期高齢者は「一人暮らし」が他の区分に比べて多くなっています。

【家族構成】



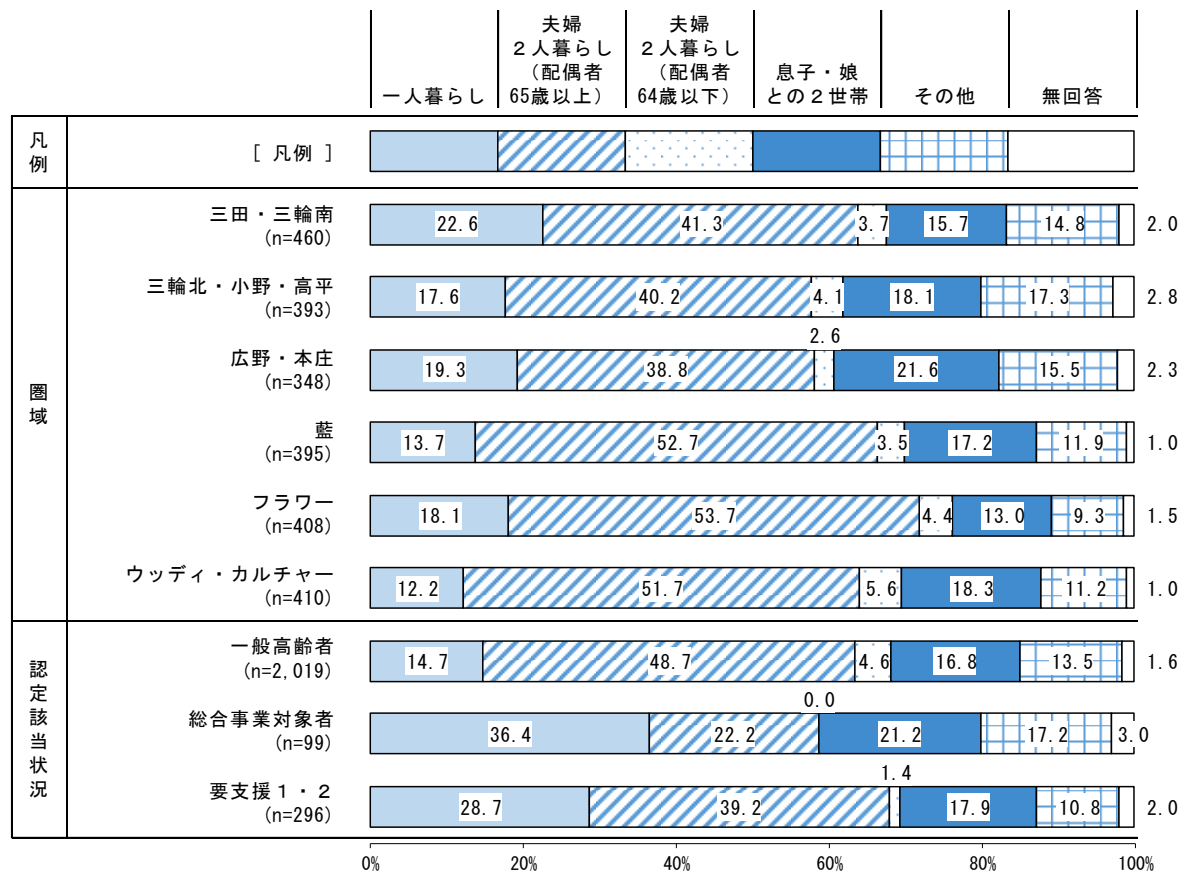
【圏域】

- 三田・三輪南は「一人暮らし」が他の圏域に比べて多くなっています。藍、フラワー、ウッディ・カルチャーは「夫婦2人暮らし（配偶者 65歳以上）」が他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者は「一人暮らし」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【家族構成】



(2) 暮らし・住まいの状況

① 介護・介助の必要性

●問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ)

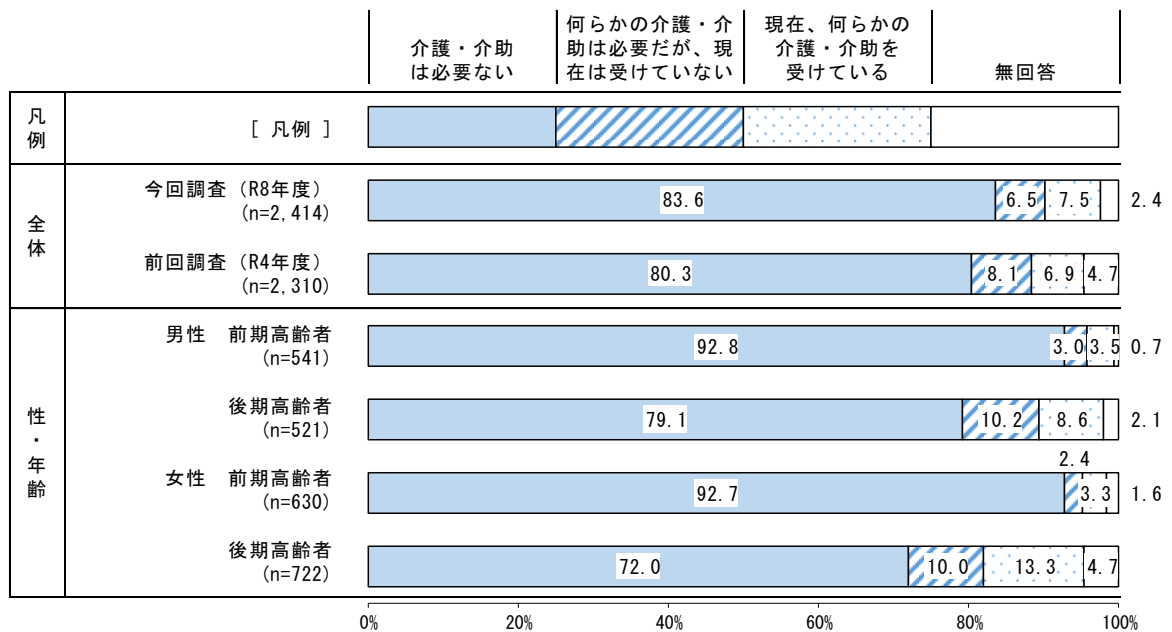
【全体】

- 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が 83.6%で最も多く、次いで「現在、何らかの介護・介助を受けている」が 7.5%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 6.5%となっています。

【性・年齢】

- 男女とも前期高齢者は「介護・介助は必要ない」が他の区分に比べて多くなっています。女性の後期高齢者は「現在、何らかの介護・介助を受けている」が他の区分に比べて多くなっています。

【介護・介助の必要性】



【圏域】

- 三田・三輪南は「介護・介助は必要ない」が他の圏域に比べて少なくなっています。

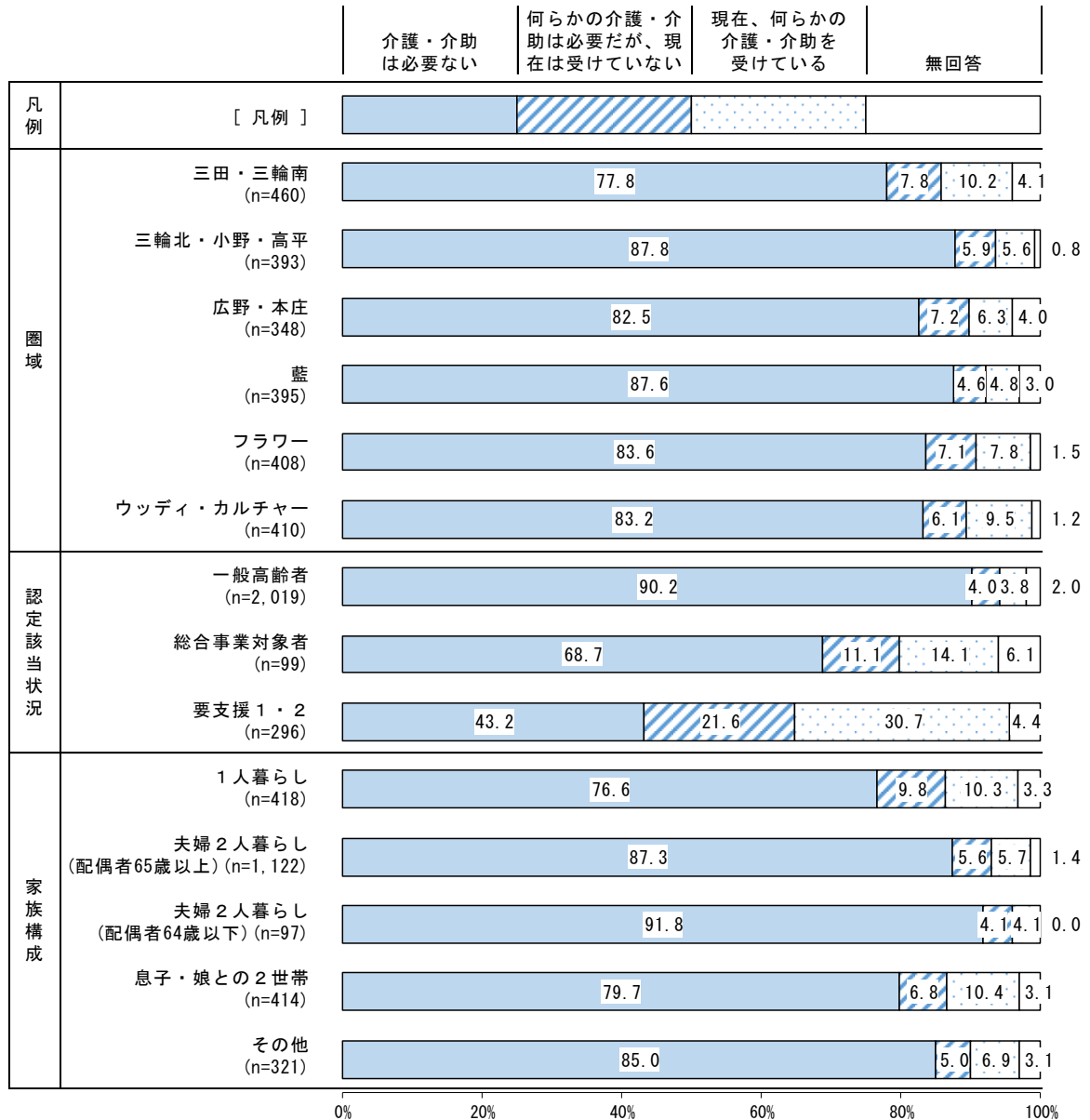
【認定該当状況】

- 要支援1・2は「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護・介助を受けている」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【家族構成】

- 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）は「介護・介助は必要ない」が他の区分に比べて多くなっています。

【介護・介助の必要性】



●問2で「2」または「3」と答えた方（介護・介助が必要な方）のみ、お答えください。

問3 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（いくつでも）

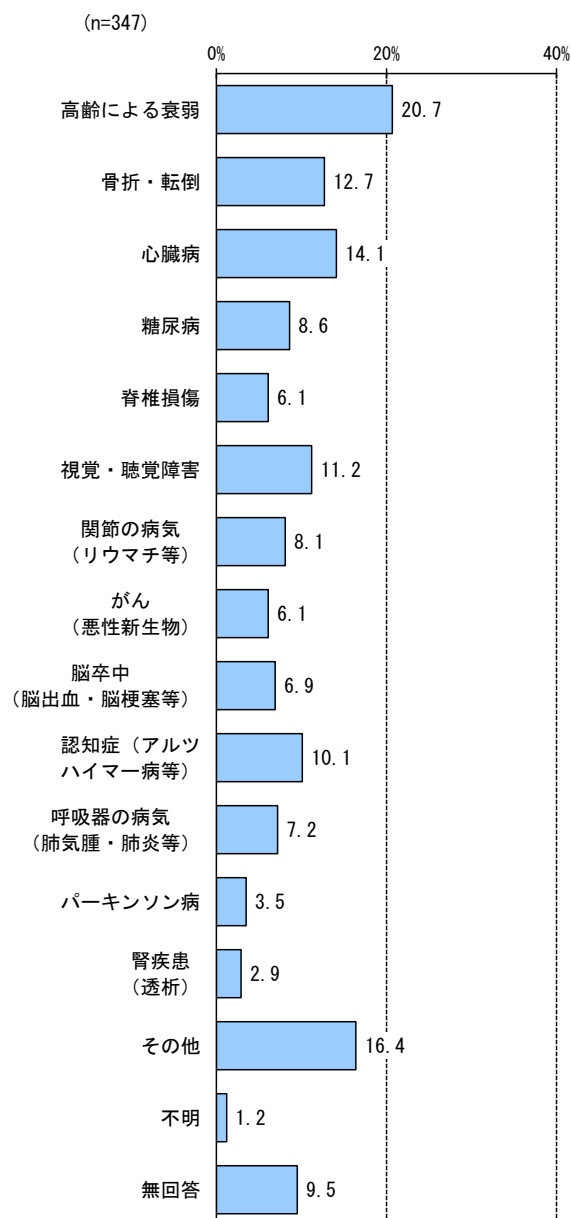
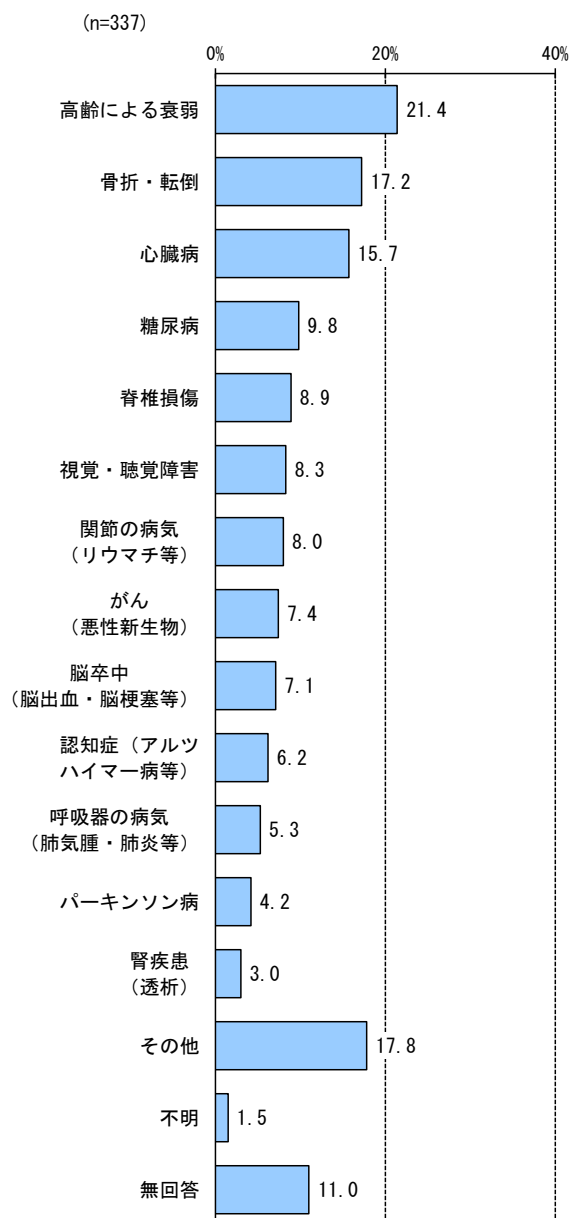
【全体】

- 介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が21.4%で最も多く、次いで「その他」が17.8%、「骨折・転倒」が17.2%となっています。

【介護・介助が必要になった主な原因】

[今回調査（R8年度）]

[前回調査（R4年度）]



【性・年齢】

- 男性の前期高齢者は「がん（悪性新生物）」「心臓病」「パーキンソン病」が他の区分に比べて多くなっています。男性の後期高齢者は「高齢による衰弱」「心臓病」「糖尿病」が他の区分に比べて多くなっています。女性の前期高齢者は「関節の病気（リウマチ等）」が他の区分に比べて多く、「心臓病」が少なくなっています。女性の後期高齢者は「骨折・転倒」「高齢による衰弱」が他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- ウッディ・カルチャーは「パーキンソン病」が他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者は「高齢による衰弱」が一般高齢者に比べて多くなっています。

単位：％

		母数	介護・介助が必要になった主な原因															
			高齢による衰弱	骨折・転倒	心臓病	糖尿病	脊椎損傷	視覚・聴覚障害	関節の病気（リウマチ等）	がん（悪性新生物）	脳梗塞等）	脳卒中（脳出血・脳塞栓等）	認知症（アルツハイマー病等）	呼吸器の病気（肺炎・肺気腫・肺炎等）	パーキンソン病	腎疾患（透析）	その他	不明
全体		337	21.4	17.2	15.7	9.8	8.9	8.3	8.0	7.4	7.1	6.2	5.3	4.2	3.0	17.8	1.5	11.0
性・年齢	男性 前期高齢者	35	▼ 8.6	▼ 5.7	14.3	8.6	5.7	5.7	2.9	17.1	11.4	—	2.9	△14.3	11.4	14.3	—	8.6
	後期高齢者	98	29.6	10.2	17.3	17.3	15.3	9.2	5.1	5.1	12.2	7.1	6.1	3.1	1.0	14.3	1.0	11.2
	女性 前期高齢者	36	▼ 5.6	8.3	—	8.3	8.3	11.1	△22.2	5.6	2.8	2.8	5.6	11.1	—	△27.8	5.6	8.3
	後期高齢者	168	22.6	25.6	18.5	6.0	6.0	7.7	7.7	7.1	4.2	7.7	5.4	1.2	3.0	18.5	1.2	11.9
圏域	三田・三輪南	83	22.9	20.5	13.3	10.8	7.2	12.0	6.0	3.6	4.8	9.6	8.4	1.2	1.2	19.3	1.2	10.8
	三輪北・小野・高平	45	15.6	22.2	17.8	13.3	8.9	6.7	4.4	8.9	6.7	—	2.2	—	4.4	20.0	—	15.6
	広野・本庄	47	25.5	19.1	19.1	4.3	6.4	10.6	12.8	10.6	10.6	10.6	4.3	2.1	2.1	19.1	—	12.8
	藍	37	18.9	18.9	13.5	10.8	13.5	2.7	5.4	5.4	5.4	10.8	2.7	5.4	2.7	18.9	—	8.1
	フラワー	61	24.6	11.5	16.4	11.5	11.5	8.2	8.2	9.8	6.6	1.6	6.6	3.3	6.6	19.7	3.3	4.9
	ウッディ・カルチャー	64	18.8	12.5	15.6	7.8	7.8	6.3	10.9	7.8	9.4	4.7	4.7	12.5	1.6	10.9	3.1	14.1
当認定状況	一般高齢者	157	17.2	17.8	17.2	9.6	8.3	12.1	10.2	10.2	9.6	5.1	6.4	1.9	3.8	19.7	1.9	12.7
	総合事業対象者	25	△36.0	12.0	20.0	4.0	8.0	8.0	8.0	—	—	12.0	△16.0	4.0	—	12.0	—	8.0
	要支援１・２	155	23.2	17.4	13.5	11.0	9.7	4.5	5.8	5.8	5.8	6.5	2.6	6.5	2.6	16.8	1.3	9.7

② 主な介護者

●問2で「3」と答えた方（介護・介助を受けている方）のみ、お答えください。

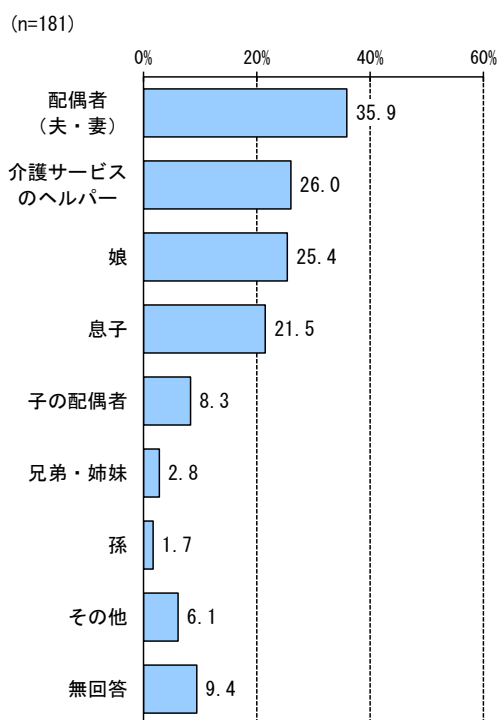
問4 主にどなたの介護・介助を受けていますか。（いくつでも）

【全体】

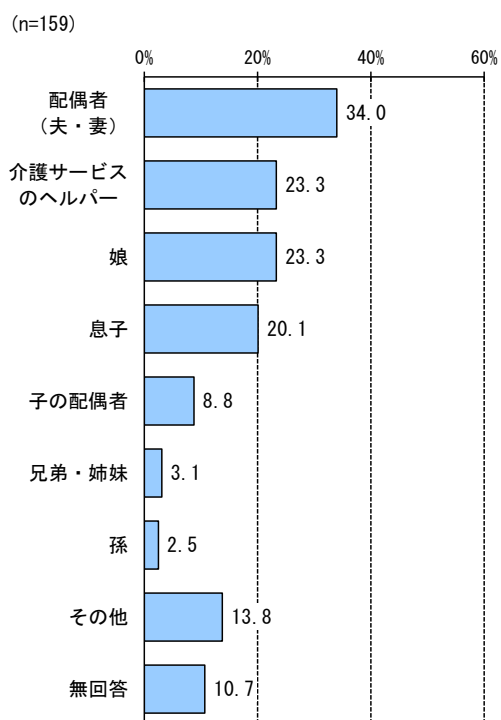
- 主な介護者について、「配偶者（夫・妻）」が 35.9%で最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」が 26.0%、「娘」が 25.4%となっています。
- 前回調査と比べて、「その他」が 7.7 ポイント少なくなっています。

【主な介護者】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R4 年度）〕



【性・年齢】

- 男性の前期高齢者、後期高齢者、女性の前期高齢者は「配偶者（夫・妻）」が他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 三田・三輪南は「娘」「息子」が他の圏域に比べて多くなっています。
- フラワーは「介護サービスのヘルパー」が他の圏域に比べて多くなっています。

【家族構成】

- 1人暮らしは「介護サービスのヘルパー」が他の区分に比べて多くなっています。夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）（配偶者64歳以下）ともに「配偶者（夫・妻）」が他の区分に比べて多くなっています。娘・息子との2世帯は「娘」「息子」が他の区分に比べて多くなっています。その他は「息子」が他の区分に比べて多くなっています。

単位：％

		母数	主な介護者								
			配偶者（夫・妻）	介護サービスのヘルパー	娘	息子	子の配偶者	兄弟・姉妹	孫	その他	無回答
全体		181	35.9	26.0	25.4	21.5	8.3	2.8	1.7	6.1	9.4
性・年齢	男性 前期高齢者	19	△ 52.6	26.3	—	▼ 5.3	—	5.3	—	15.8	10.5
	後期高齢者	45	△ 48.9	31.1	20.0	24.4	4.4	2.2	—	4.4	6.7
	女性 前期高齢者	21	△ 66.7	▼ 14.3	19.0	14.3	9.5	9.5	—	—	—
	後期高齢者	96	▼ 19.8	26.0	34.4	25.0	11.5	1.0	3.1	6.3	12.5
圏域	三田・三輪南	47	27.7	27.7	29.8	29.8	10.6	4.3	—	2.1	8.5
	三輪北・小野・高平	22	27.3	18.2	▼ 13.6	22.7	18.2	4.5	—	9.1	9.1
	広野・本庄	22	40.9	22.7	22.7	22.7	4.5	4.5	4.5	9.1	9.1
	藍	19	△ 47.4	21.1	31.6	15.8	—	5.3	—	10.5	5.3
	フラワー	32	37.5	△ 37.5	21.9	▼ 3.1	6.3	—	3.1	6.3	15.6
	ウッディ・カルチャー	39	41.0	23.1	28.2	28.2	7.7	—	2.6	5.1	7.7
当認 状定 況該	一般高齢者	76	42.1	25.0	25.0	22.4	6.6	5.3	1.3	6.6	3.9
	総合事業対象者	14	▼ 21.4	▼ 7.1	△ 35.7	14.3	7.1	—	—	7.1	35.7
	要支援１・２	91	33.0	29.7	24.2	22.0	9.9	1.1	2.2	5.5	9.9
家族 構 成	１人暮らし	43	▼ 4.7	△ 48.8	32.6	14.0	4.7	2.3	—	11.6	9.3
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	64	△ 68.8	21.9	▼ 10.9	▼ 9.4	4.7	—	—	6.3	10.9
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	4	△ 50.0	25.0	—	25.0	—	—	—	—	—
	娘・息子との２世帯	43	▼ 18.6	▼ 11.6	△ 46.5	△ 41.9	△ 18.6	4.7	7.0	—	11.6
	その他	22	27.3	27.3	18.2	△ 36.4	9.1	9.1	—	9.1	—

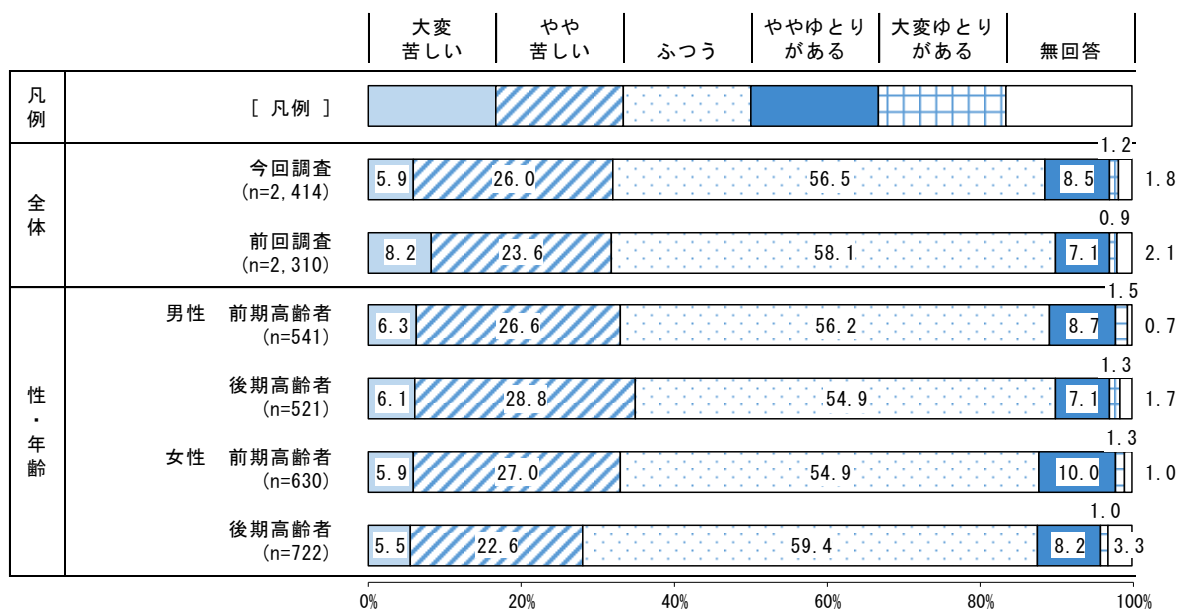
③ 経済状況

●問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ)

【全体】

- 経済状況について、「ふつう」が56.5%で最も多く、次いで「やや苦しい」が26.0%、「ややゆとりがある」が8.5%となっています。「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい方”は31.9%となっています。

【経済状況】



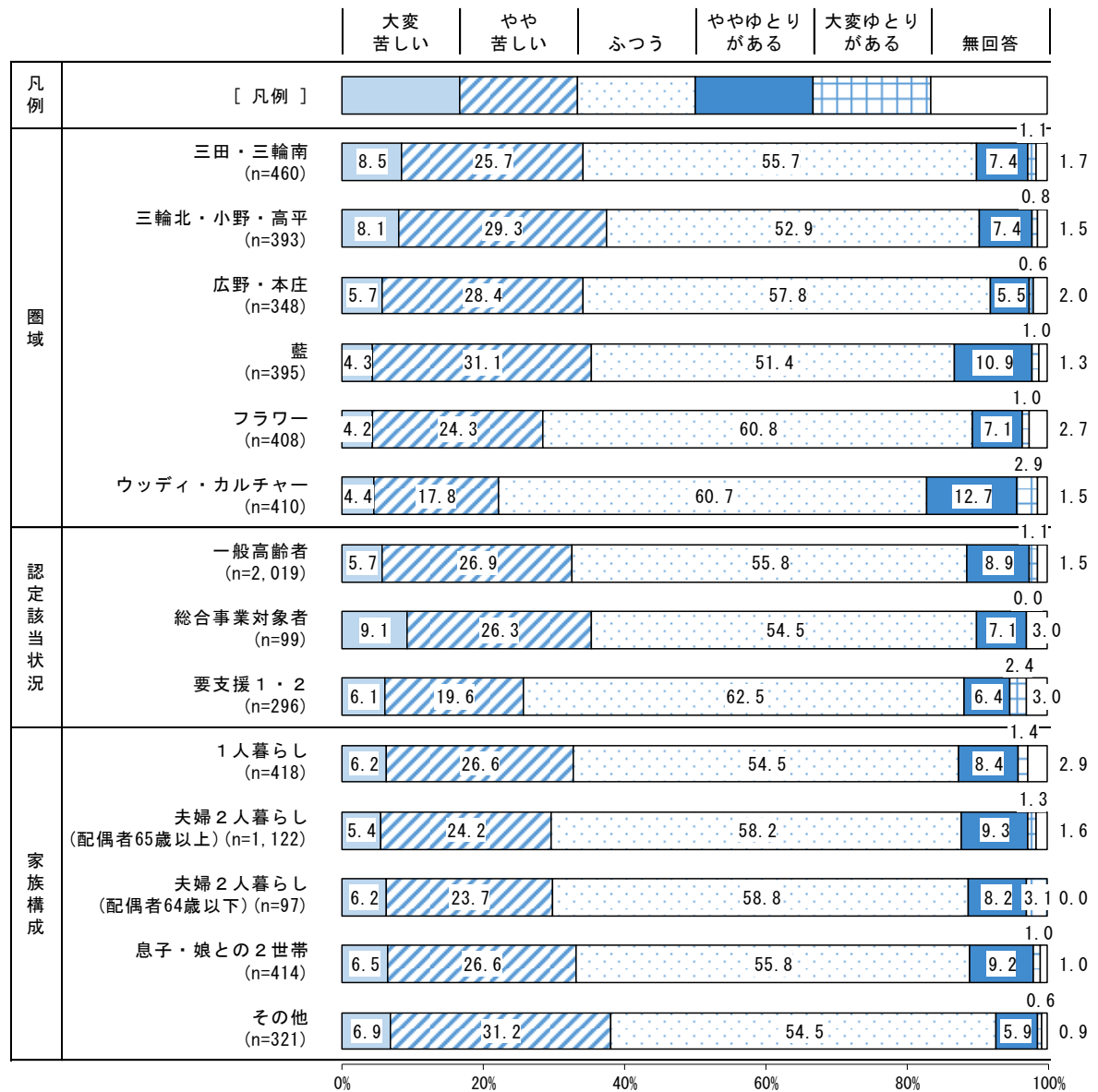
【圏域】

- 三輪北・小野・高平は「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい”が他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2は「ふつう」が総合事業対象者に比べて多くなっています。

【経済状況】



④ 住まいの状況

●問6 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ)

【全体】

- 住まいについて、「持家（一戸建て）」が 80.7%で最も多く、次いで「持家（集合住宅）」が 11.4%、「公営賃貸住宅」が 2.4%となっています。

【圏域】

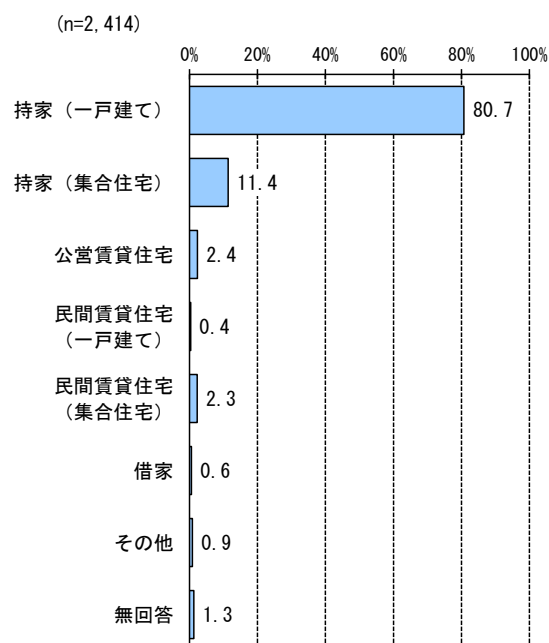
- 三輪北・小野・高平、藍は「持家（一戸建て）」が他の圏域に比べて多くなっています。フラワーは「持家（集合住宅）」が他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

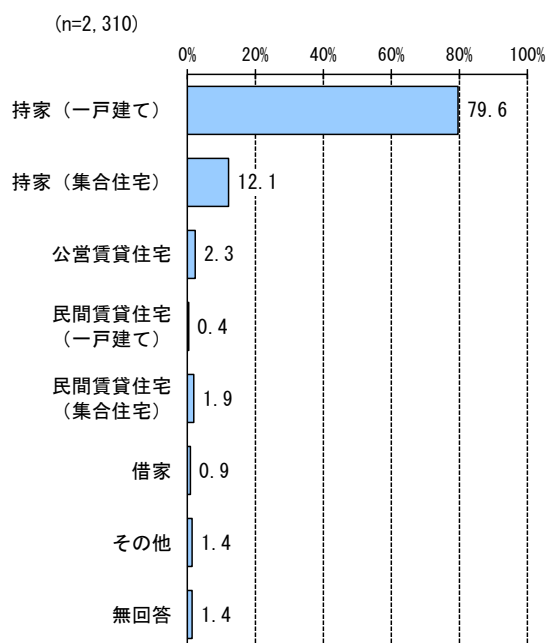
- 総合事業対象者は「公営賃貸住宅」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【住まい】

[今回調査 (R8 年度)]



[前回調査 (R4 年度)]



単位：%

単位：％

		母数	住まい							
			(持家 (一戸建て)	(持家 (集合住宅)	公営 賃貸住宅	(民間 賃貸住宅 (一戸建て)	(民間 賃貸住宅 (集合住宅)	借家	その他	無回答
全体		2,414	80.7	11.4	2.4	0.4	2.3	0.6	0.9	1.3
性・年齢	男性 前期高齢者	541	78.2	15.9	1.3	0.4	2.8	0.4	0.4	0.7
	後期高齢者	521	83.7	9.6	2.3	0.8	1.2	0.8	0.6	1.2
	女性 前期高齢者	630	80.5	12.4	2.1	0.2	2.4	0.6	1.0	1.0
	後期高齢者	722	80.5	8.6	3.5	0.4	2.6	0.7	1.5	2.2
圏域	三田・三輪南	460	70.9	13.0	6.1	0.7	7.0	0.9	0.4	1.1
	三輪北・小野・高平	393	△ 96.7	—	—	0.5	0.3	0.3	0.8	1.5
	広野・本庄	348	90.5	▼ 1.1	0.6	0.9	2.3	1.4	0.6	2.6
	藍	395	△ 97.7	—	—	—	0.3	0.5	1.0	0.5
	フラワー	408	▼ 55.4	△ 34.6	4.7	0.2	1.2	0.5	1.5	2.0
	ウッディ・カルチャー	410	76.6	17.3	2.0	0.2	2.0	0.2	1.2	0.5
当認定該	一般高齢者	2,019	82.0	11.3	1.9	0.3	1.9	0.5	0.8	1.2
	総合事業対象者	99	▼ 67.7	14.1	10.1	1.0	5.1	1.0	—	1.0
	要支援１・２	296	75.7	11.1	3.0	1.0	3.7	1.0	2.0	2.4

2. からだを動かすことについて

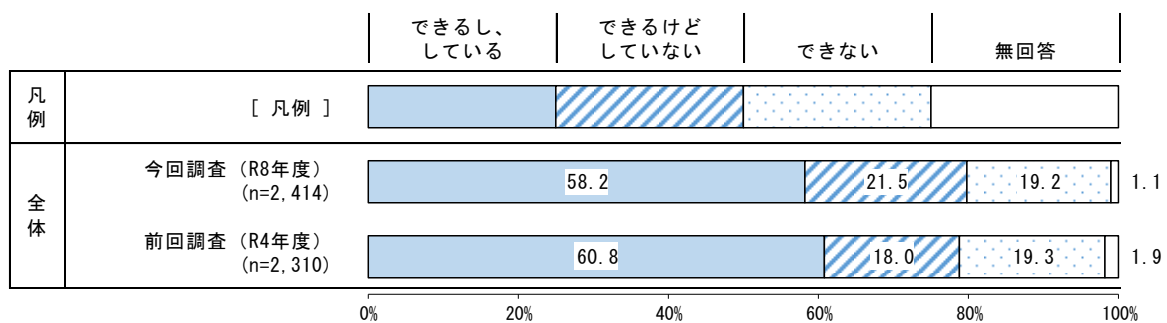
(1) 運動・転倒の状況

- 問7 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ)
- 問8 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ)
- 問9 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ)

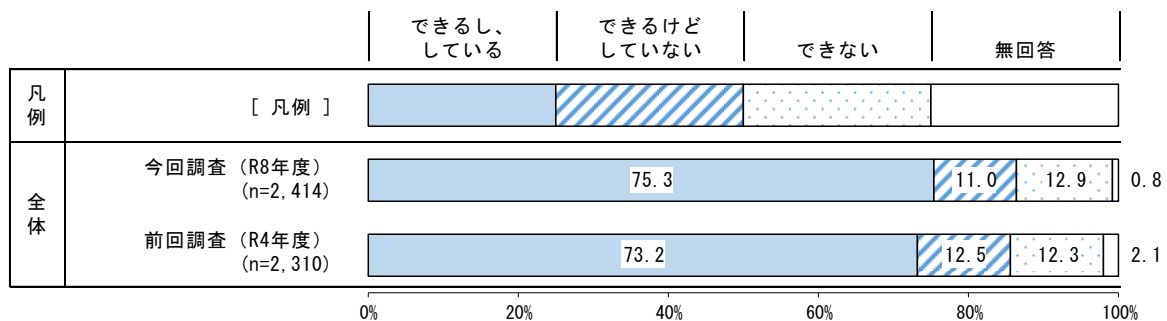
【全体】

- 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについて、「できるし、している」が58.2%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が21.5%、「できない」が19.2%となっています。
- 椅子に座った状態からの立ち上がりについて、「できるし、している」が75.3%で最も多く、次いで「できない」が12.9%、「できるけどしていない」が11.0%となっています。
- 15分位続けての歩行について、「できるし、している」が74.5%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が16.4%、「できない」が8.4%となっています。

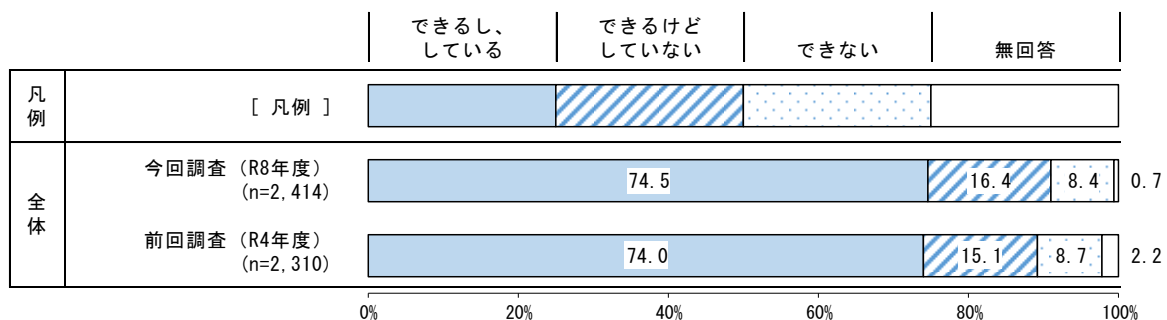
【階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか】



【椅子に座った状態からの立ち上がり】



【15分位続けての歩行】

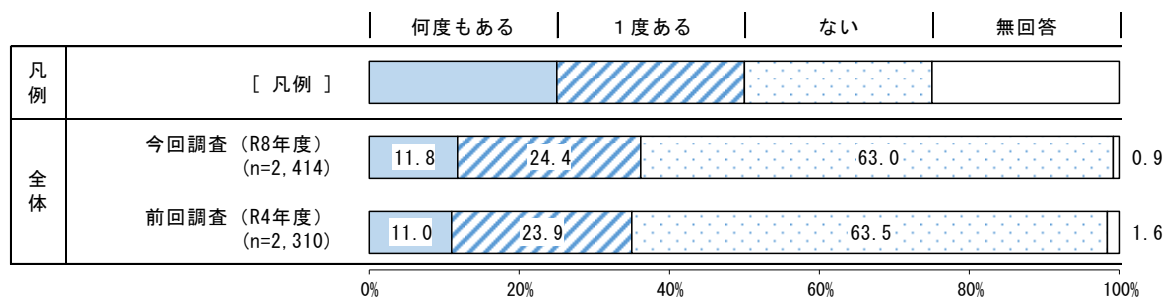


●問10 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ)

【全体】

- 転倒経験について、「ない」が63.0%で最も多く、次いで「1度ある」が24.4%、「何度もある」が11.8%となっています。

【転倒経験】

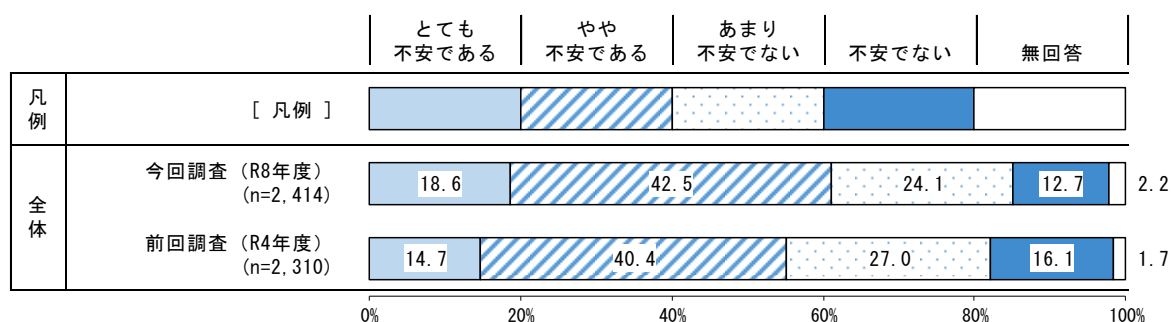


●問11 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ)

【全体】

- 転倒に対する不安について、「やや不安である」が42.5%で最も多く、次いで「あまり不安でない」が24.1%、「とても不安である」が18.6%となっています。「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安な方”は61.1%となっています。

【転倒に対する不安】



◆運動器の機能低下リスクの判定

●リスク判定方法

5 項目のうち 3 項目以上に該当する場合、「運動器の機能が低下している」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
7	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
8	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
9	15 分位続けて歩いていますか。	3. できない
10	過去 1 年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1 度ある
11	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

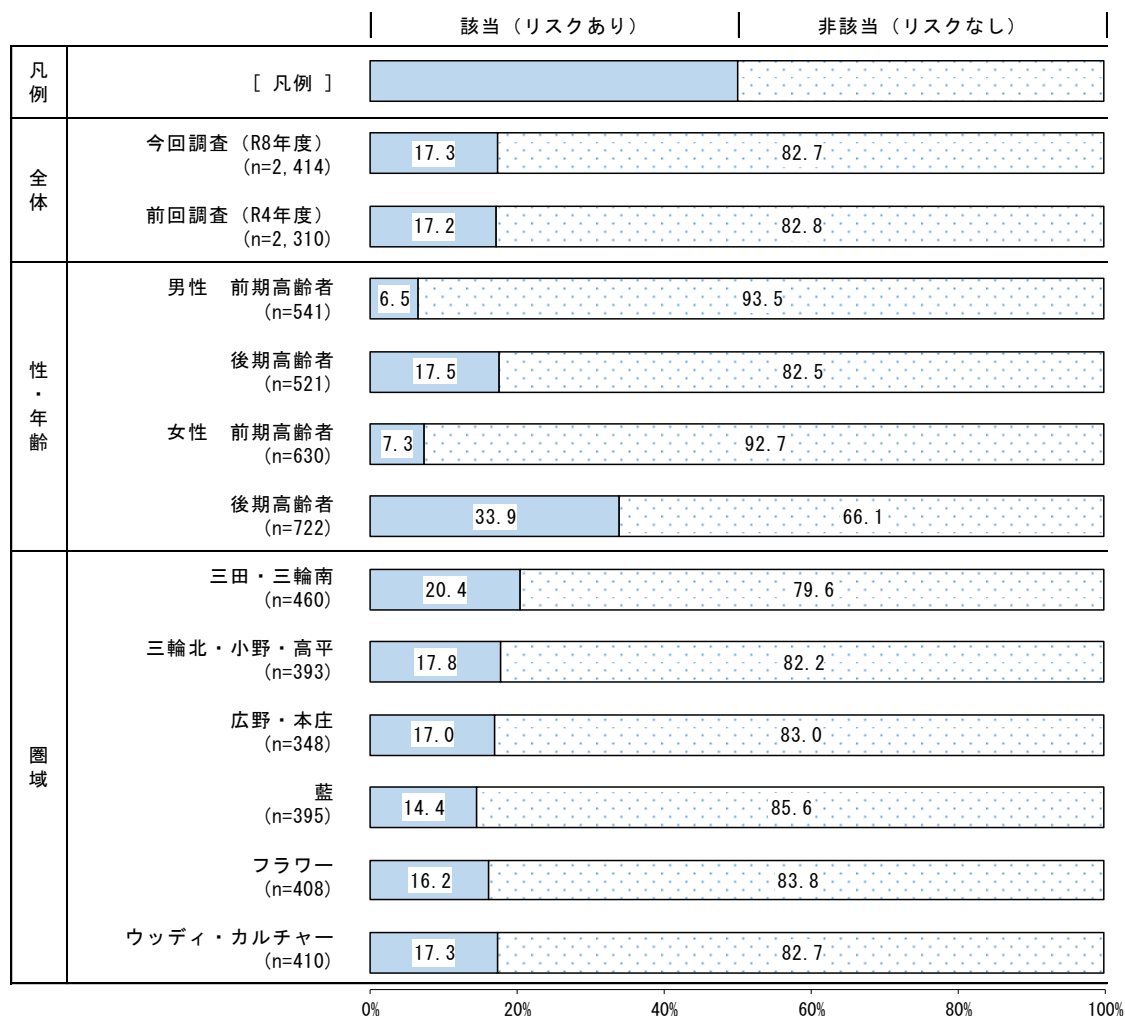
【全体】

- 運動器の機能低下リスクについて、「該当（リスクあり）」が 17.3%、「非該当（リスクなし）」が 82.7%となっています。

【性・年齢】

- 男女とも前期高齢者は「該当（リスクあり）」が 1 割未満であるのに対し、女性の後期高齢者は 33.9%となっています。

【運動器の機能低下リスク】



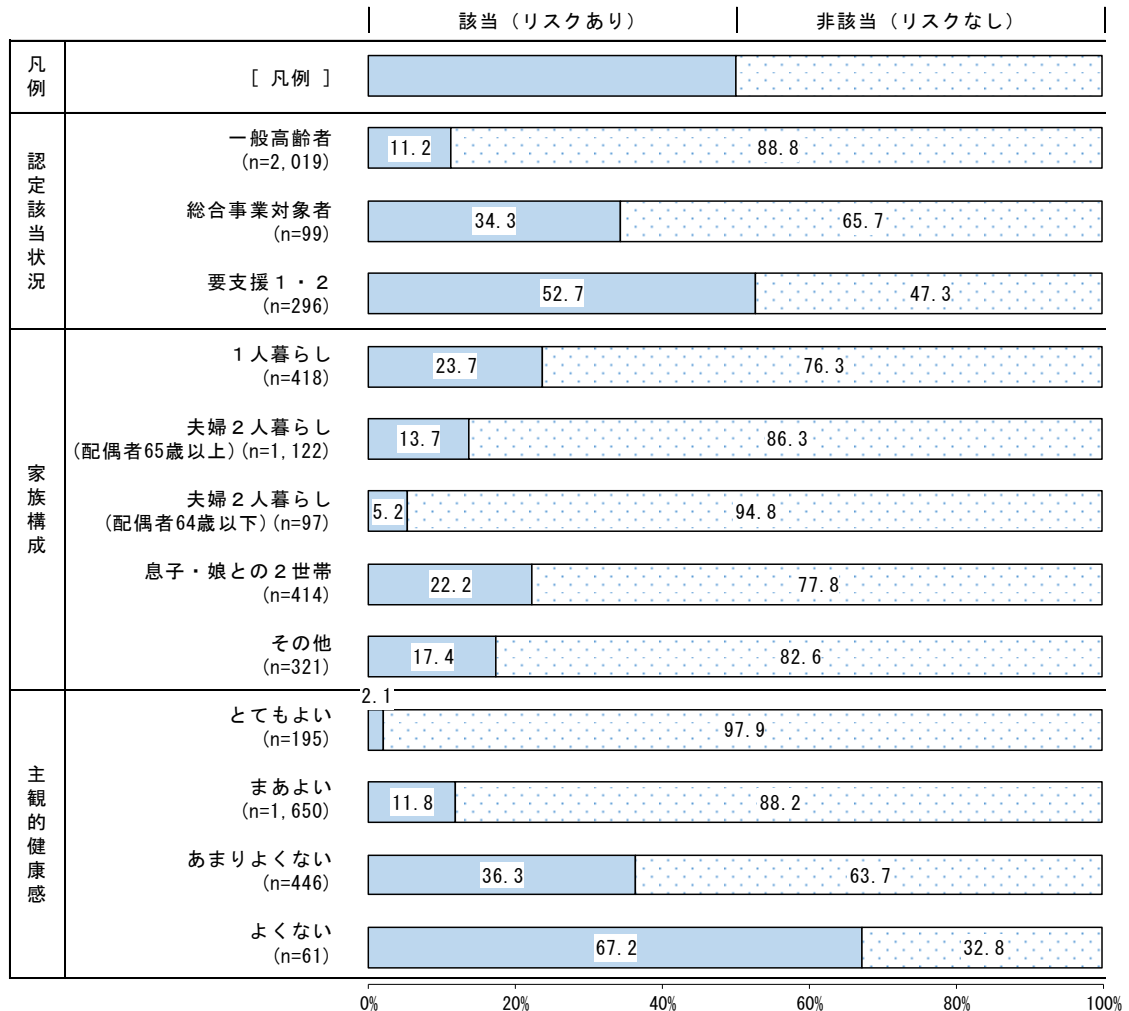
【認定該当状況】

- 一般高齢者では、「該当（リスクあり）」が 11.2%であるのに対し、要支援 1・2 では 52.7%となっています。

【主観的健康感】

- よくないほど「該当（リスクあり）」が多くなる傾向がみられます。

【運動器の機能低下リスク】



◆転倒リスクの判定

●リスク判定方法

下記に該当する場合、「転倒リスクがある」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
10	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

【全体】

- 転倒リスクについて、「該当（リスクあり）」が 36.2%、「非該当（リスクなし）」が 63.8%となっています。

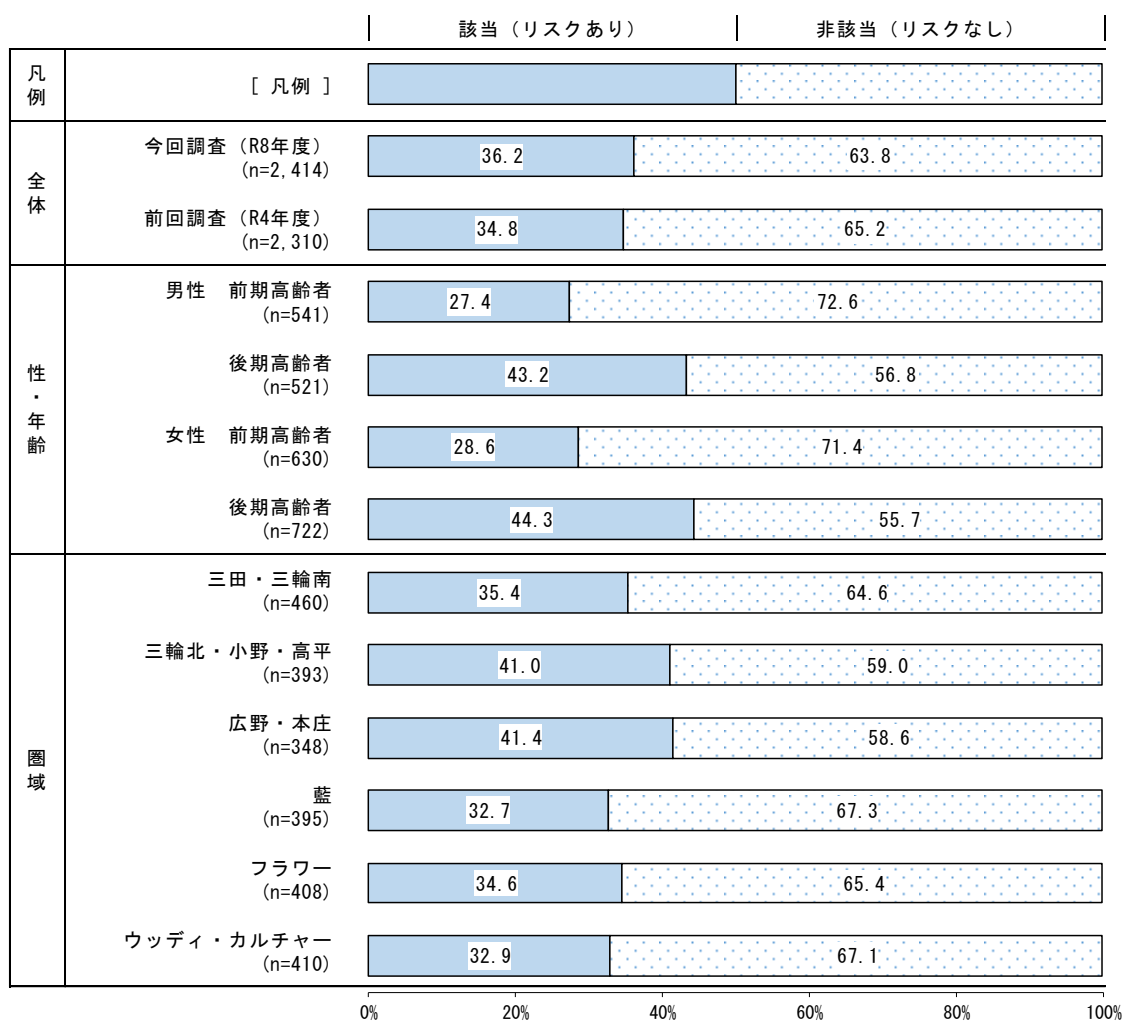
【性・年齢】

- 男女とも前期高齢者は「該当（リスクあり）」が約 3 割、男女とも後期高齢者は約 4 割となっています。

【圏域】

- 広野・本庄は「該当（リスクあり）」が他の圏域に比べて多くなっており、藍は「該当（リスクあり）」が他の圏域に比べて少なくなっております。

【転倒リスク】



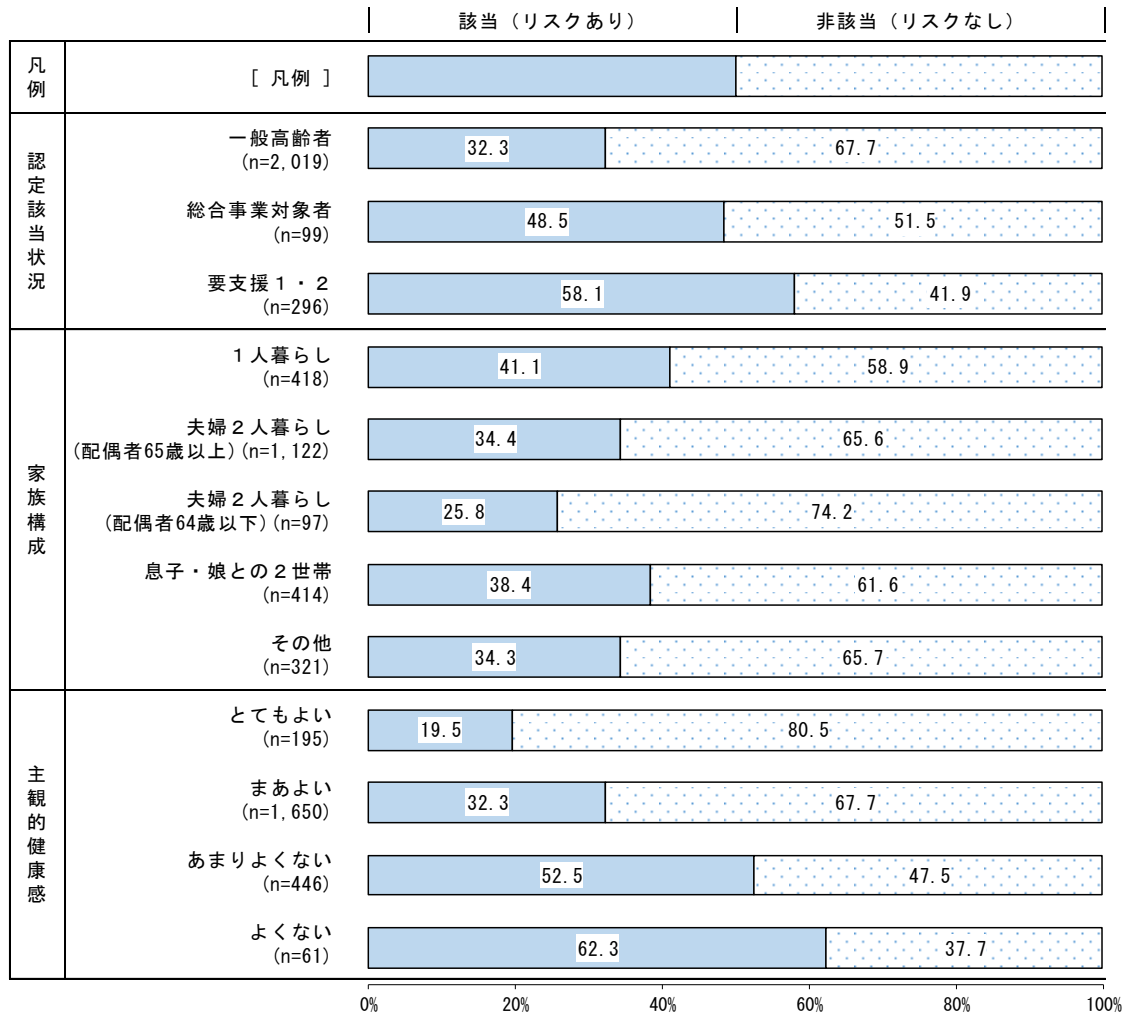
【認定該当状況】

- 一般高齢者では、「該当（リスクあり）」が 32.3%であるのに対し、要支援 1・2 では 58.1%となっています。

【家族構成】

- 夫婦 2 人暮らし（配偶者 64 歳以下）は「非該当（リスクなし）」が他の家族構成に比べて多くなっています。

【転倒リスク】

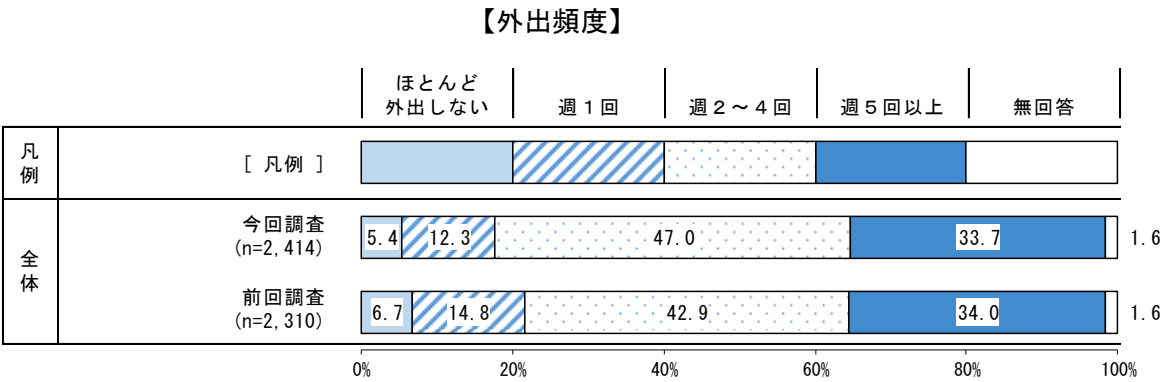


(2) 外出の状況

① 外出の頻度

●問12 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ)

【全体】
○ 外出頻度について、「週2～4回」が47.0%で最も多く、次いで「週5回以上」が33.7%、「週1回」が12.3%となっています。



◆閉じこもりのリスクの判定

●リスク判定方法

下記に該当する場合、「閉じこもり傾向がある」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
12	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

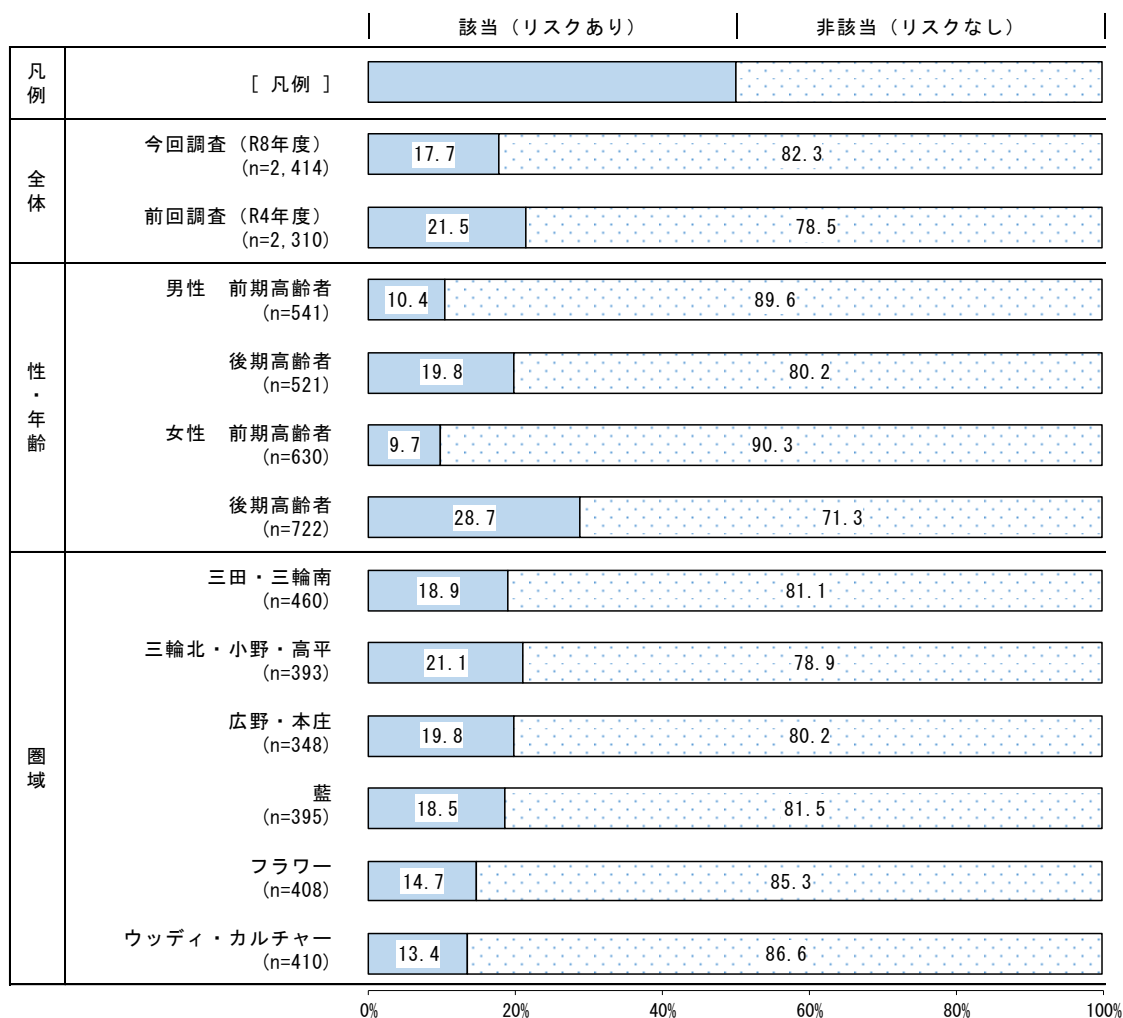
【全体】

- 閉じこもりのリスクについて、「該当（リスクあり）」が 17.7%、「非該当（リスクなし）」が 82.3%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者者では「該当（リスクあり）」が約 1 割であるのに対し、女性の後期高齢者は 28.7%となっています。

【閉じこもりのリスク】



【認定該当状況】

- 一般高齢者では、「該当（リスクあり）」が 14.3%であるのに対し、要支援 1・2 では 38.2%となっています。

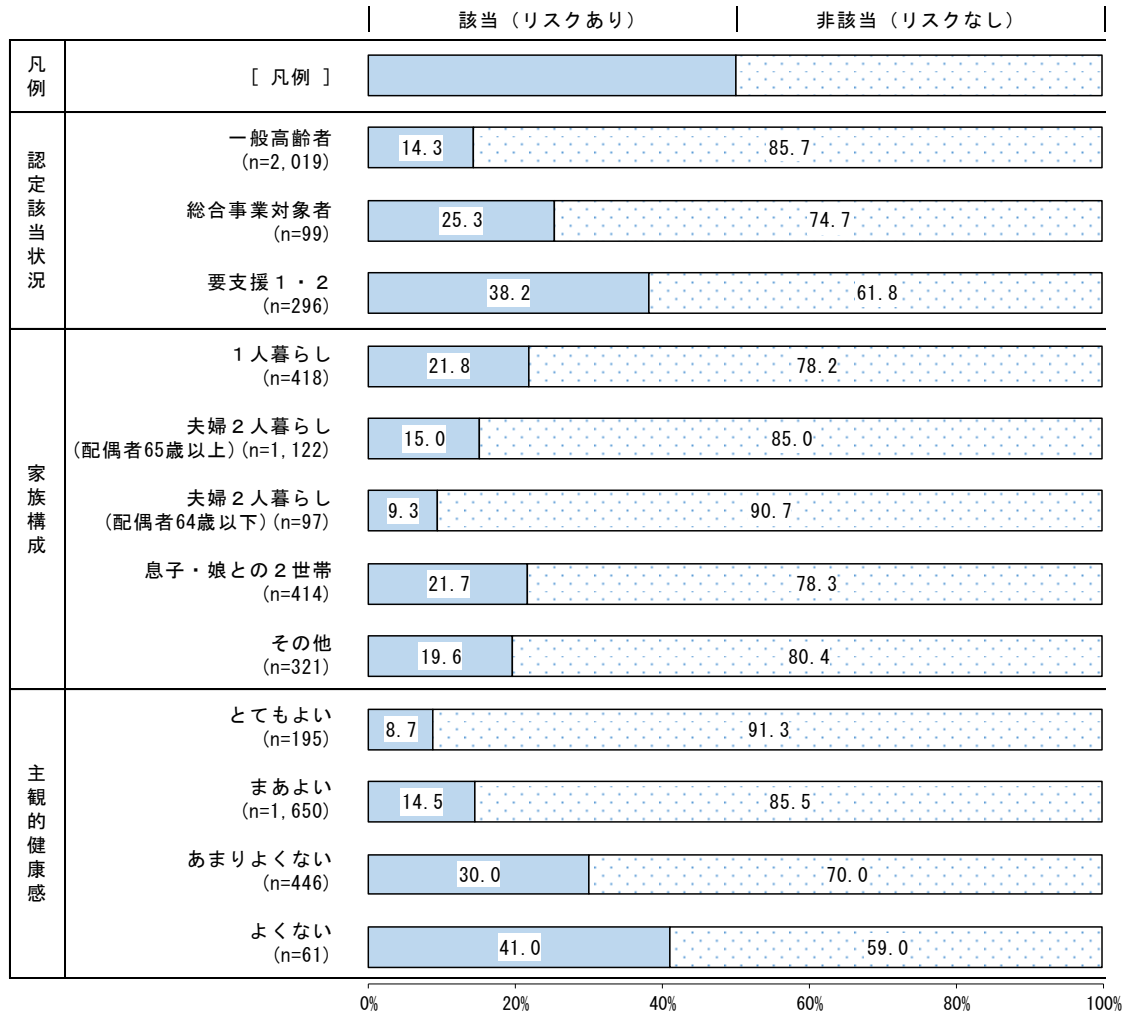
【家族構成】

- 夫婦 2 人暮らし（配偶者 64 歳以下）は「非該当（リスクなし）」が他の家族構成に比べて多くなっています。

【主観的健康感】

- よくないほど「該当（リスクあり）」が多くなる傾向がみられます。

【閉じこもりのリスク】



●問13 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ)

【全体】

- 昨年と比べて外出の回数について、「あまり減っていない」が36.8%で最も多く、次いで「減っていない」が34.1%、「減っている」が22.9%となっています。「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている方”は27.3%となっています。
- 前回調査と比べて、「減っている」が5.0ポイント少なくなっています。

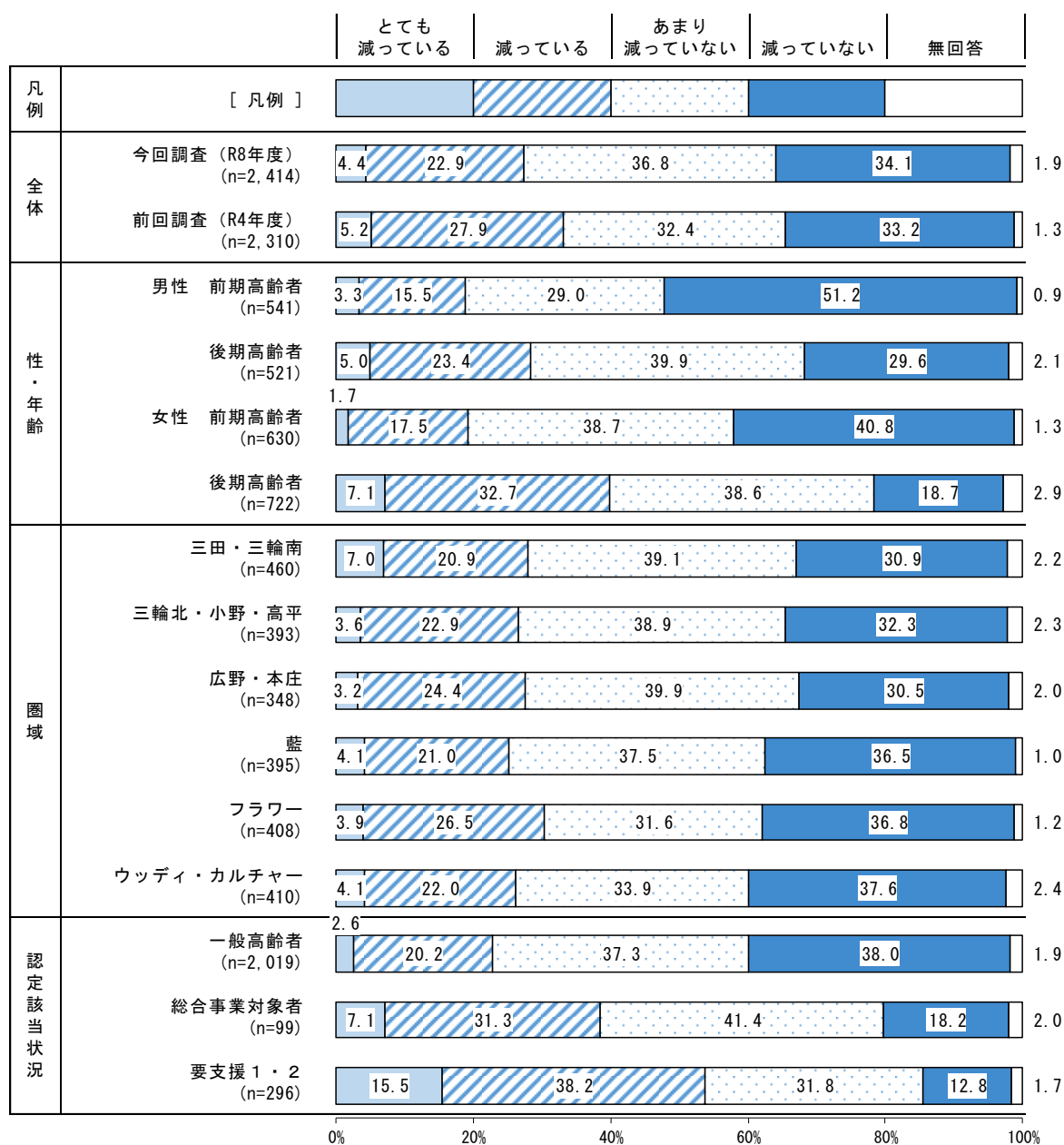
【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて“とても減っている”“減っている”が多くなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者では、“とても減っている”“減っている”が22.8%であるのに対し、要支援1・2では53.7%となっています。

【昨年と比べて外出の回数】



② 外出を控えているか

●問14 外出を控えていますか。(1つだけ)

【全体】

- 外出を控えているかについて、「はい（控えている）」が 20.4%、「いいえ（控えていない）」が 76.1%となっています。
- 前回調査と比べて、「いいえ（控えていない）」が 12.0 ポイント多く、「はい（控えている）」が 13.1 ポイント少なくなっています。

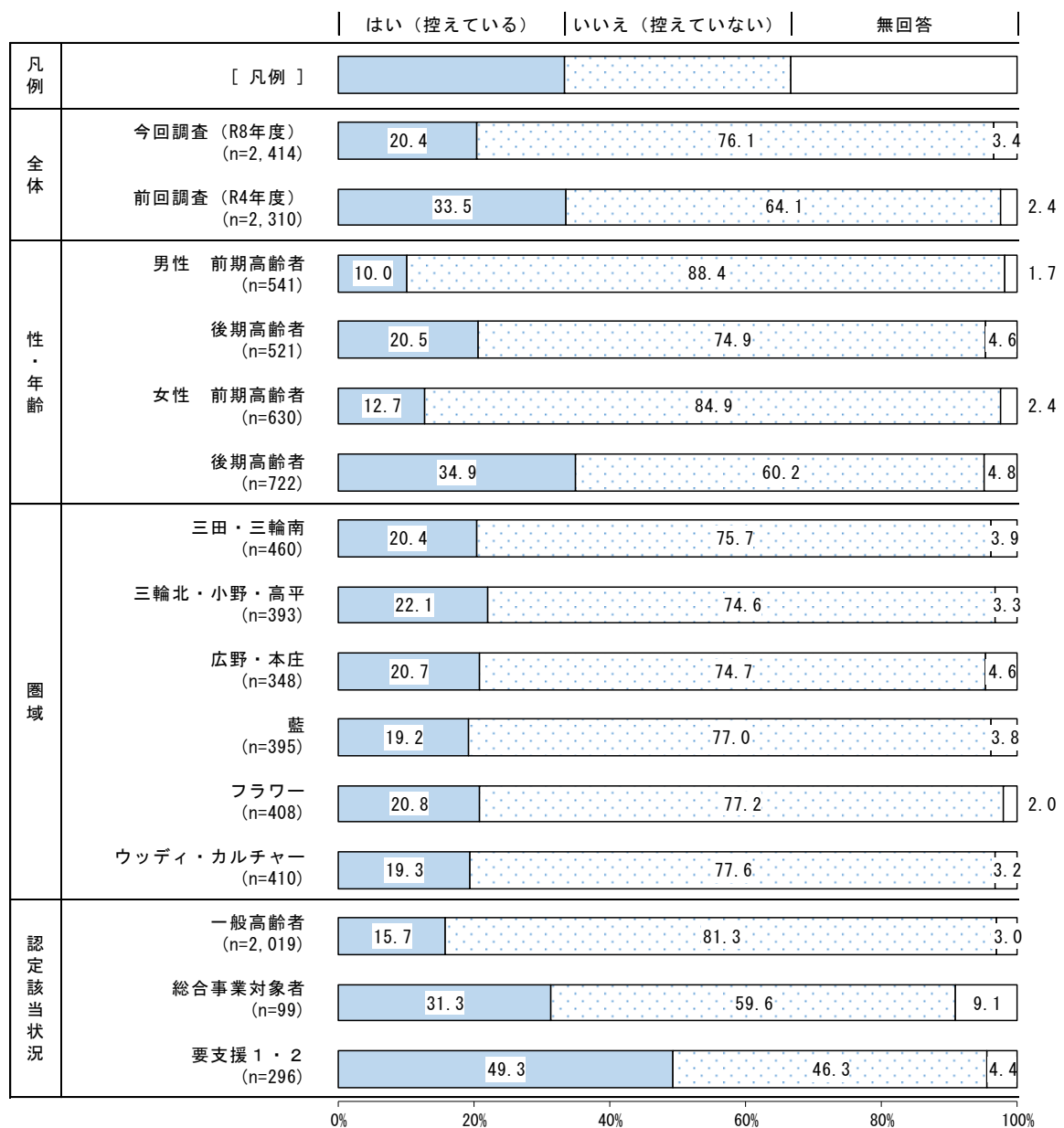
【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい（控えている）」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者では、「はい（控えている）」が 15.7%であるのに対し、要支援 1・2 では 49.3%となっています。

【外出を控えているか】



●問14で「1」と答えた方（外出を控えている方）のみ、お答えください。

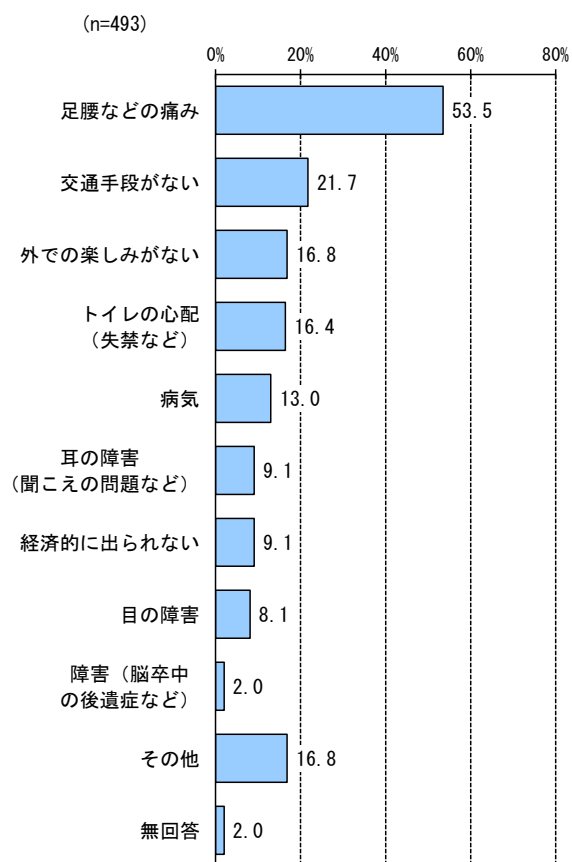
問15 外出を控えている理由は、次のどれですか。（いくつでも）

【全体】

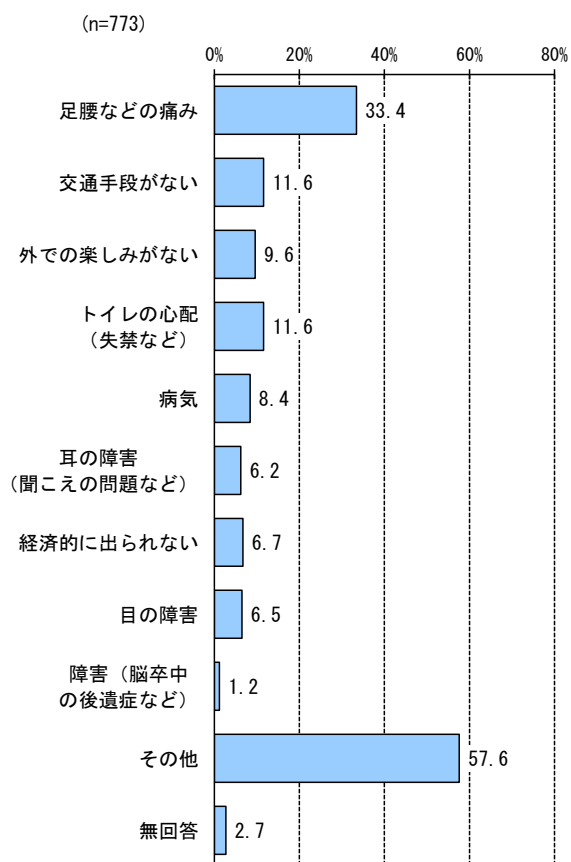
- 外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が 53.5%で最も多く、次いで「交通手段がない」が 21.7%、「外での楽しみがない」「その他」が 16.8%となっています。
- 前回調査と比べて、「足腰などの痛み」が 20.1 ポイント、「交通手段がない」が 10.1 ポイント、「外での楽しみがない」が 7.2 ポイント多く、「その他」が 40.8 ポイント少なくなっています。

【外出を控えている理由】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R4 年度）〕



【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「足腰などの痛み」が約 2 割多くなっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「交通手段がない」が多く、特に女性では 30.6%となっています。

【圏域】

- 三田・三輪南は「足腰などの痛み」が他の圏域に比べて多くなっています。広野・本庄は「交通手段がない」が他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者では「足腰などの痛み」が総合事業対象者に比べて少なくなっています。

単位：％

単位：％

		母数	外出を控えている理由										
			足腰などの痛み	交通手段がない	外での楽しみがない	トイレの心配（失禁など）	病氣	耳の障害（聞こえの問題など）	経済的に出られない	目の障害	障害（脳卒中の後遺症など）	その他	無回答
全体		493	53.5	21.7	16.8	16.4	13.0	9.1	9.1	8.1	2.0	16.8	2.0
性・年齢	男性 前期高齢者	54	▼ 33.3	▼ 1.9	△ 35.2	22.2	△ 31.5	1.9	13.0	1.9	3.7	14.8	1.9
	後期高齢者	107	51.4	20.6	22.4	18.7	13.1	10.3	10.3	9.3	5.6	15.0	1.9
	女性 前期高齢者	80	43.8	▼ 8.8	18.8	▼ 6.3	12.5	1.3	12.5	5.0	1.3	△ 28.8	2.5
	後期高齢者	252	61.9	30.6	9.9	17.5	9.1	12.7	6.7	9.9	0.4	14.3	2.0
圏域	三田・三輪南	94	△ 68.1	24.5	12.8	22.3	11.7	18.1	6.4	10.6	4.3	9.6	－
	三輪北・小野・高平	87	▼ 42.5	20.7	13.8	9.2	9.2	8.0	16.1	8.0	1.1	13.8	4.6
	広野・本庄	72	47.2	△ 34.7	13.9	12.5	15.3	12.5	4.2	16.7	－	18.1	2.8
	藍	76	44.7	18.4	23.7	15.8	5.3	1.3	△ 19.7	1.3	2.6	23.7	－
	フラワー	85	52.9	11.8	22.4	22.4	21.2	4.7	4.7	7.1	1.2	17.6	3.5
	ウッディ・カルチャー	79	63.3	21.5	15.2	15.2	15.2	8.9	3.8	5.1	2.5	20.3	1.3
当認 状定 況該	一般高齢者	316	45.6	18.0	19.9	16.5	14.2	7.0	11.1	10.1	0.9	20.9	1.9
	総合事業対象者	31	△ 71.0	29.0	12.9	19.4	3.2	△ 25.8	6.5	12.9	－	－	3.2
	要支援 1・2	146	△ 67.1	28.1	11.0	15.8	12.3	10.3	5.5	2.7	4.8	11.6	2.1

③ 外出の際の移動手段

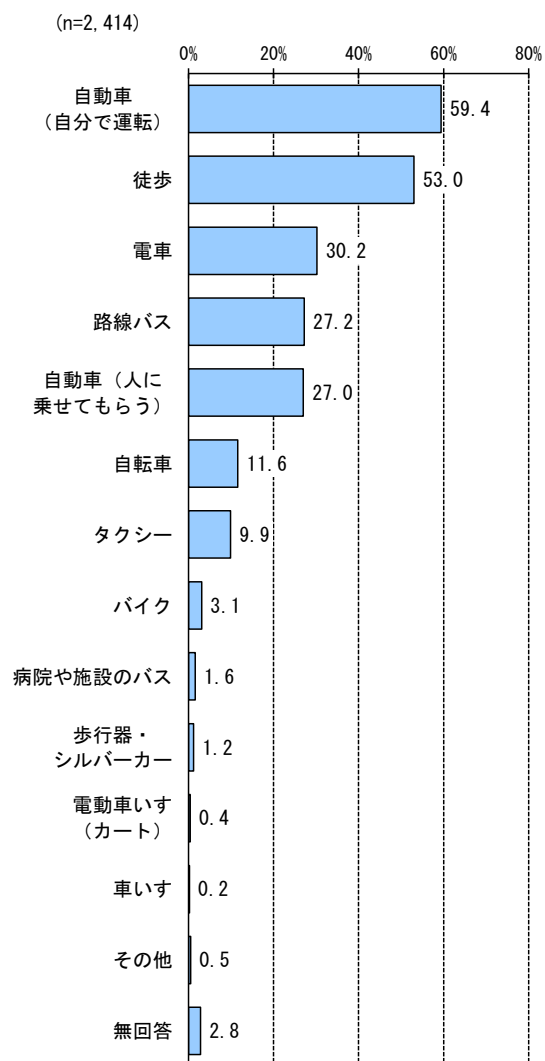
●問16 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

【全体】

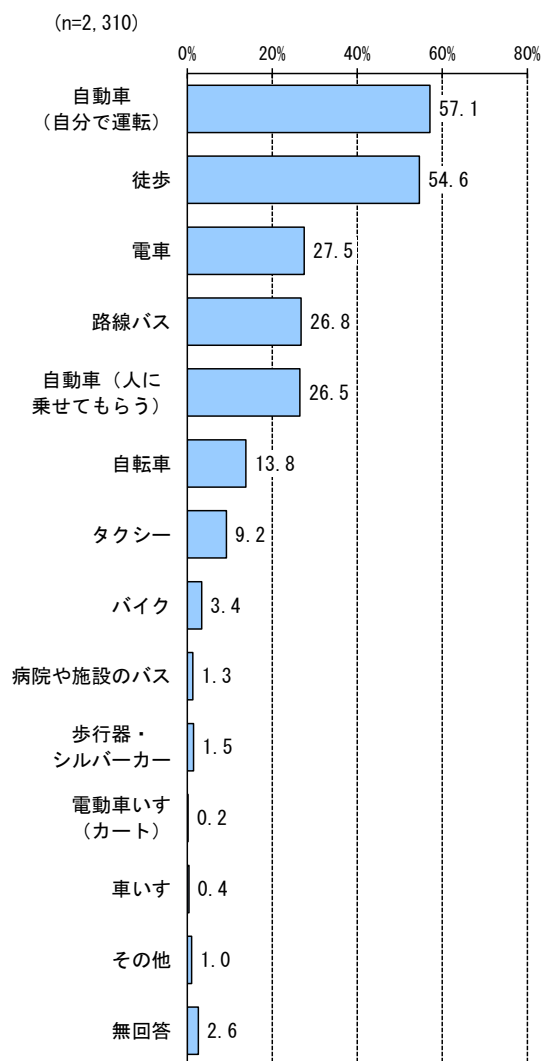
○ 外出する際の移動手段について、「自動車（自分で運転）」が 59.4%で最も多く、次いで「徒歩」が 53.0%、「電車」が 30.2%となっています。

【外出する際の移動手段】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R4 年度）〕



【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「自動車（人に乗せてもらう）」が多くなっています。また、男性の前期高齢者では「自動車（自分で運転）」が84.1%となっています。

【圏域】

- 三田・三輪南、フラワー、ウッディー・カルチャーでは「徒歩」、三輪北・小野・高平、広野・本庄、藍では「自動車（自分で運転）」が最も多くなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者では「自動車（自分で運転）」、総合事業対象者、要支援1・2では「徒歩」が最も多くなっています。

単位：％

		母数	外出する際の移動手段						
			(自動車 自分で運転)	徒歩	電車	路線バス	乗せてもらう (人に)	自転車	タクシー
全体		2,414	59.4	53.0	30.2	27.2	27.0	11.6	9.9
性・年齢	男性 前期高齢者	541	△ 84.1	57.3	33.5	26.2	▼ 10.9	13.5	5.5
	後期高齢者	521	64.3	51.4	25.9	23.4	▼ 16.9	15.5	9.2
	女性 前期高齢者	630	65.9	53.5	34.6	26.8	32.1	10.5	4.3
	後期高齢者	722	▼ 31.9	50.6	26.9	31.0	△ 41.8	8.4	18.4
圏域	三田・三輪南	460	▼ 46.5	△ 64.8	30.4	22.0	27.2	20.2	17.0
	三輪北・小野・高平	393	△ 70.2	▼ 26.5	▼ 14.8	20.9	26.5	2.8	6.6
	広野・本庄	348	67.5	▼ 34.2	▼ 18.1	▼ 5.5	24.4	8.9	8.6
	藍	395	68.1	46.6	34.4	26.3	26.3	6.6	4.1
	フラワー	408	53.2	△ 71.8	38.2	△ 42.6	27.2	12.7	12.5
	ウッディ・カルチャー	410	54.6	△ 68.8	△ 42.7	△ 43.2	29.8	16.6	9.0
当 認 状 定 況 該	一般高齢者	2,019	66.8	52.8	31.7	26.8	23.9	12.4	7.0
	総合事業対象者	99	▼ 16.2	△ 71.7	34.3	△ 46.5	△ 39.4	10.1	△ 26.3
	要支援１・２	296	▼ 24.0	48.3	▼ 17.9	23.3	△ 43.6	6.8	△ 24.0

単位：％

		母数	外出する際の移動手段						
			バイク	病院や施設のバス	歩行器・シルバー	電動車いす (カート)	車いす	その他	無回答
全体		2,414	3.1	1.6	1.2	0.4	0.2	0.5	2.8
性・年齢	男性 前期高齢者	541	5.9	0.4	－	－	0.2	0.2	1.7
	後期高齢者	521	3.1	2.1	1.0	0.6	0.4	0.8	3.6
	女性 前期高齢者	630	1.9	0.5	0.6	－	0.3	0.3	2.2
	後期高齢者	722	1.9	3.0	2.9	0.8	0.1	0.8	3.5
圏域	三田・三輪南	460	4.1	3.0	2.2	0.7	－	0.2	4.1
	三輪北・小野・高平	393	1.5	0.8	0.5	0.3	0.3	0.5	2.3
	広野・本庄	348	3.2	0.9	0.6	0.3	0.3	1.4	2.9
	藍	395	3.0	1.3	1.8	0.3	－	0.5	2.5
	フラワー	408	3.2	1.7	0.2	0.5	1.0	0.2	2.2
	ウッディ・カルチャー	410	3.2	1.5	2.0	0.2	－	0.5	2.4
当認定状況	一般高齢者	2,019	3.5	1.0	0.7	0.2	0.1	0.5	2.5
	総合事業対象者	99	2.0	－	3.0	1.0	－	1.0	2.0
	要支援１・２	296	0.7	5.7	4.1	1.0	1.4	0.3	4.7

3. 食べることについて

(1) 口腔

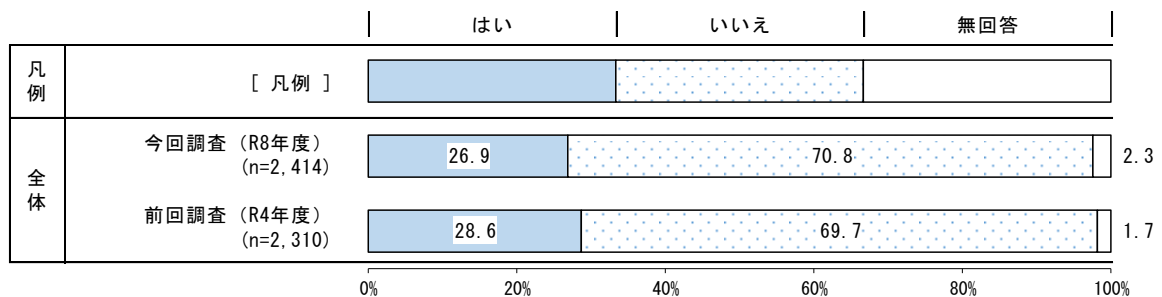
① 口内の健康状態

- 問18 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ)
- 問19 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つだけ)
- 問20 口の渇きが気になりますか。(1つだけ)

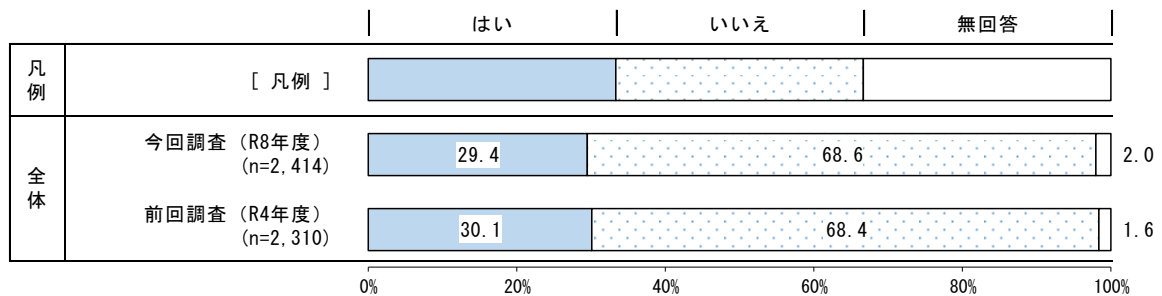
【全体】

- 半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が 26.9%、「いいえ」が 70.8%となっています。
- お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が 29.4%、「いいえ」が 68.6%となっています。
- 口の渇きが気になるかについて、「はい」が 30.7%、「いいえ」が 67.6%となっています。

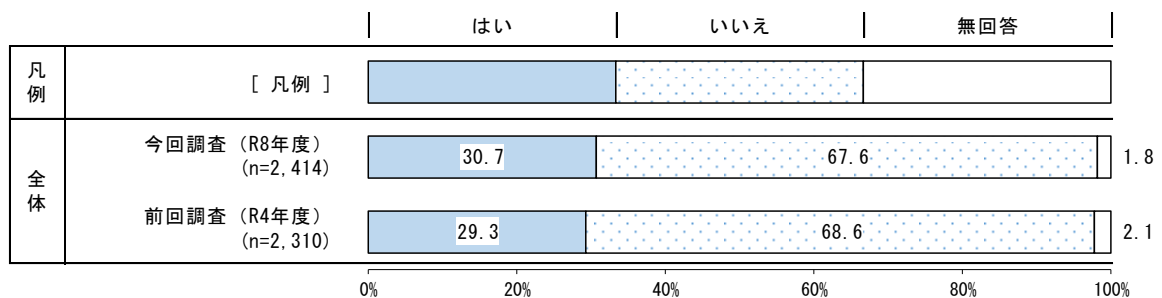
【半年前に比べて固いものが食べにくくなったか】



【お茶や汁物等でむせることがあるか】



【口の渇きが気になるか】



◆口腔機能の低下リスクの判定

●リスク判定方法

3項目のうち2項目以上に該当する場合、「口腔機能が低下している」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
18	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
19	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
20	口の渇きが気になりますか。	1. はい

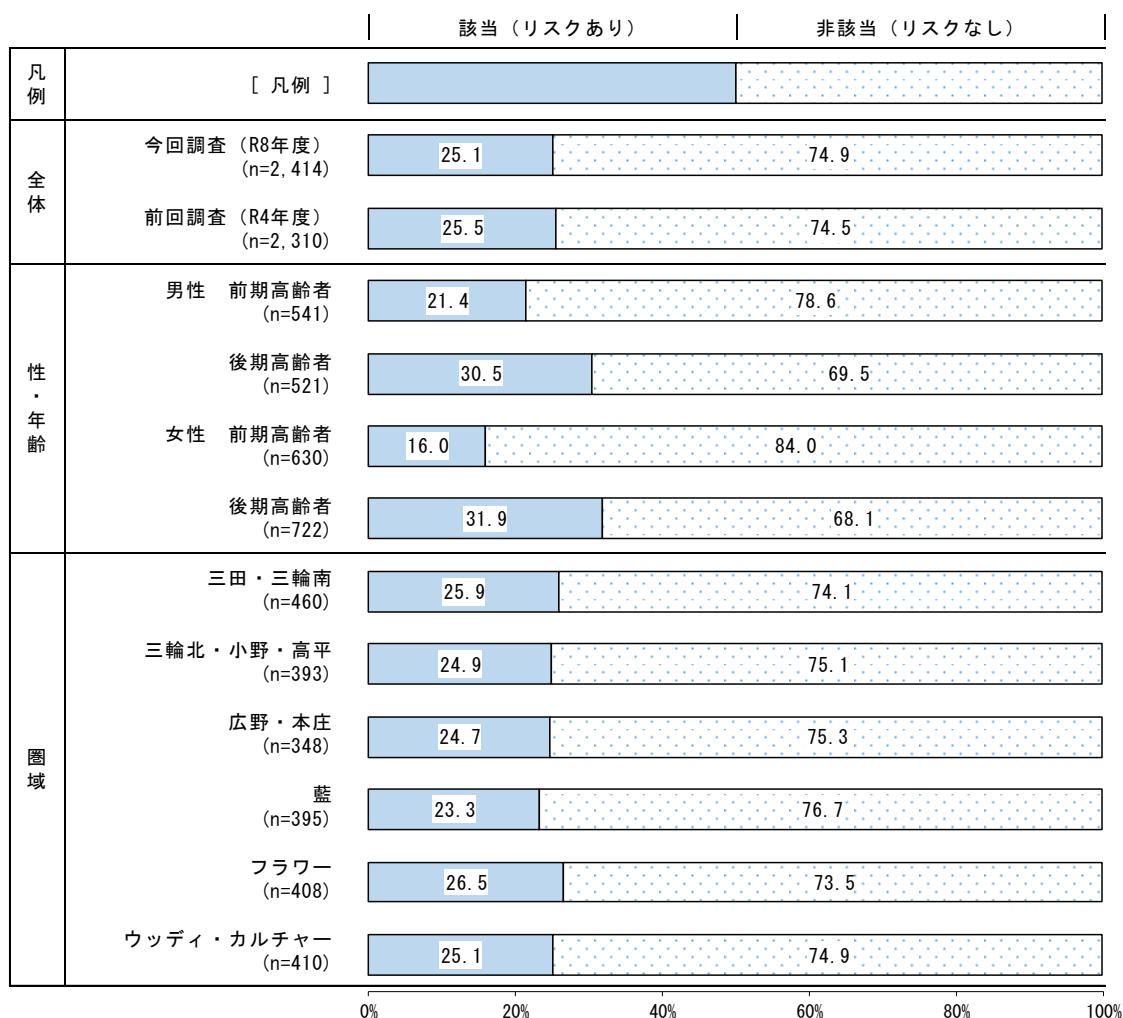
【全体】

- 口腔機能の低下リスクについて、「該当（リスクあり）」が 25.1%、「非該当（リスクなし）」が 74.9%となっています。

【性・年齢】

- 男女とも後期高齢者では「該当（リスクあり）」が約3割となっています。

【口腔機能の低下リスク】



【認定該当状況】

- 要支援１・２は「該当（リスクあり）」が一般高齢者に比べて多くなっています。

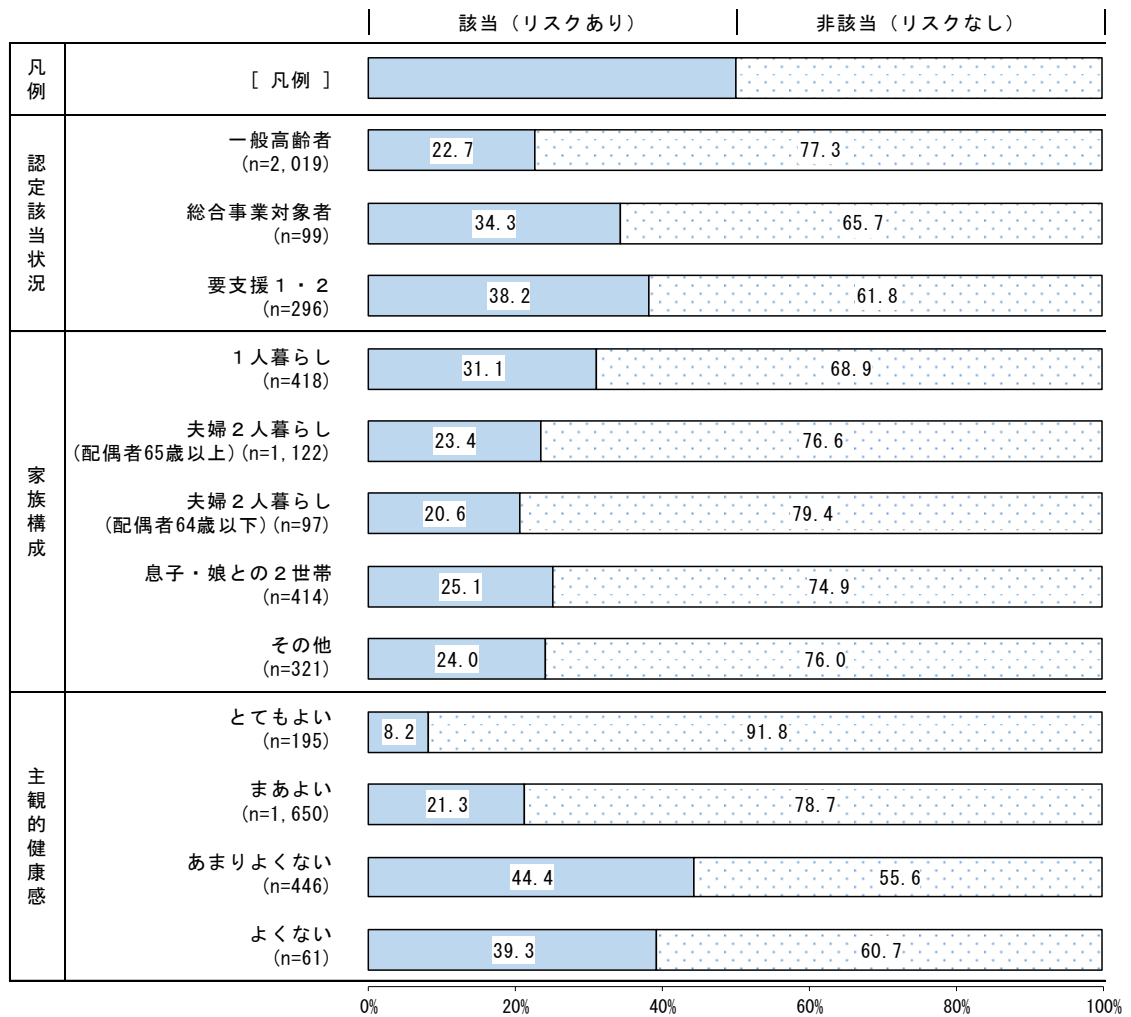
【家族構成】

- １人暮らしは「該当（リスクあり）」が他の家族構成に比べて多くなっています。

【主観的健康感】

- とてもよいは「非該当（リスクなし）」が他の区分に比べて多くなっています。あまりよくない、よくないは「該当（リスクあり）」が他の区分に比べて多くなっています。

【口腔機能の低下リスク】



② 歯の状況

●問21 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つだけ）

【全体】

○ 歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が92.0%、「いいえ」が5.9%となっています。

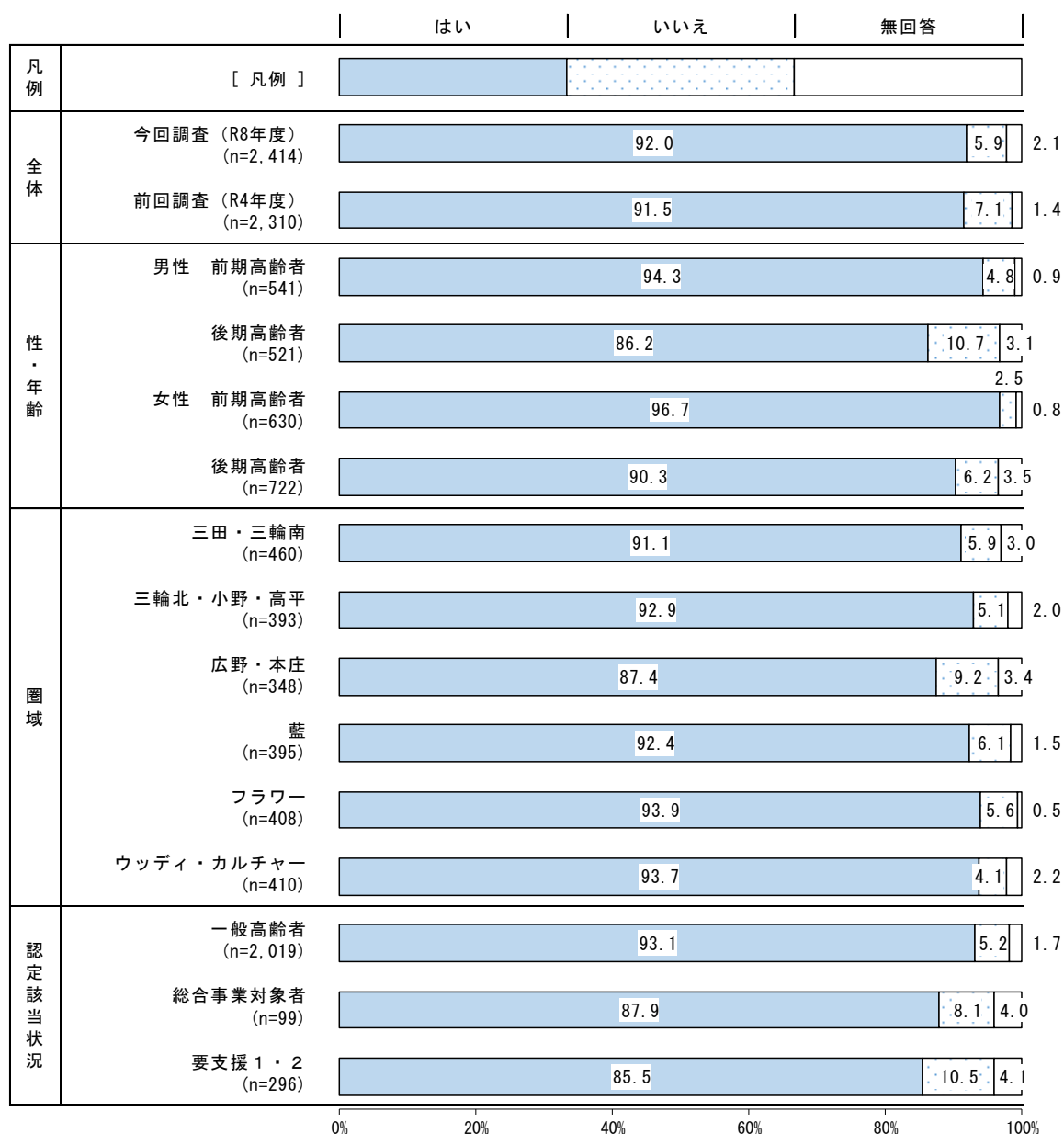
【性・年齢】

○ 男性の後期高齢者は「いいえ」が10.7%となっています。

【認定該当状況】

○ 要支援1・2は「はい」が一般高齢者に比べて少なくなっています。

【歯磨きを毎日しているか】



●問22 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(1つだけ)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)

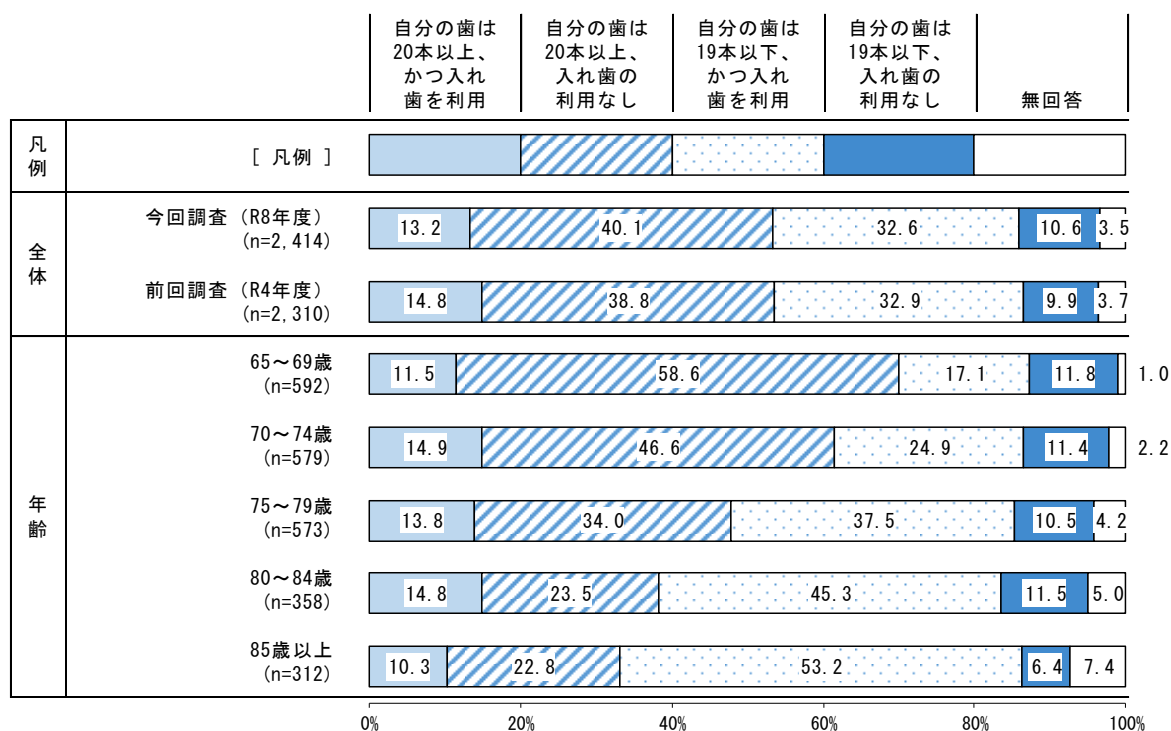
【全体】

- 歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 40.1%で最も多く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 32.6%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 13.2%となっています。

【年齢】

- 65～69 歳は「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が他の年齢に比べて多くなっています。85 歳以上は「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が他の年齢に比べて多くなっています。

【歯の数と入れ歯の利用状況】



【性・年齢】

- 男女ともに前期の高齢者では「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が約 5 割、男女とも後期の高齢者では「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が約 3 割となっています。

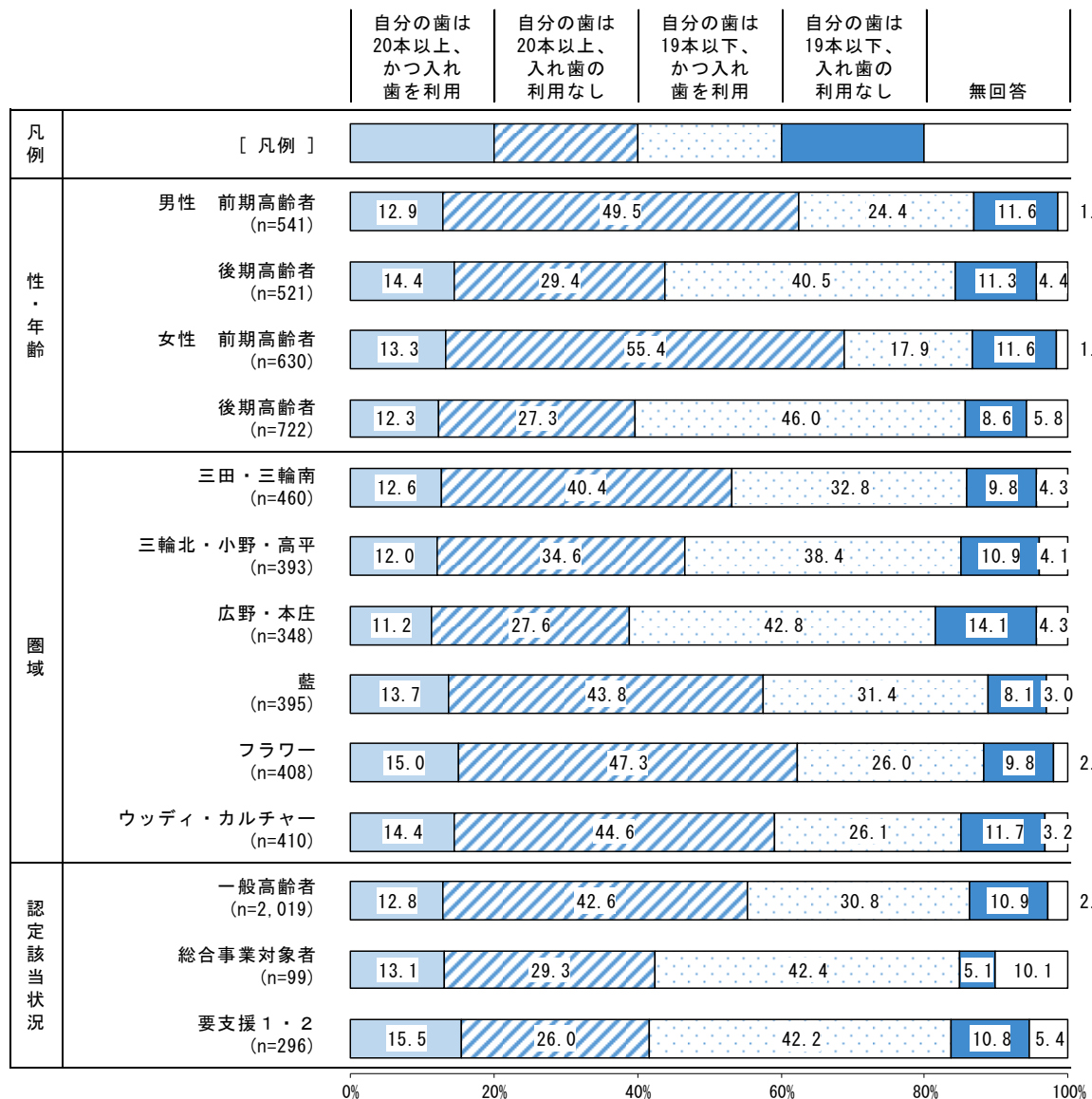
【圏域】

- 広野・本庄は「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援 1・2 は「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【歯の数と入れ歯の利用状況】

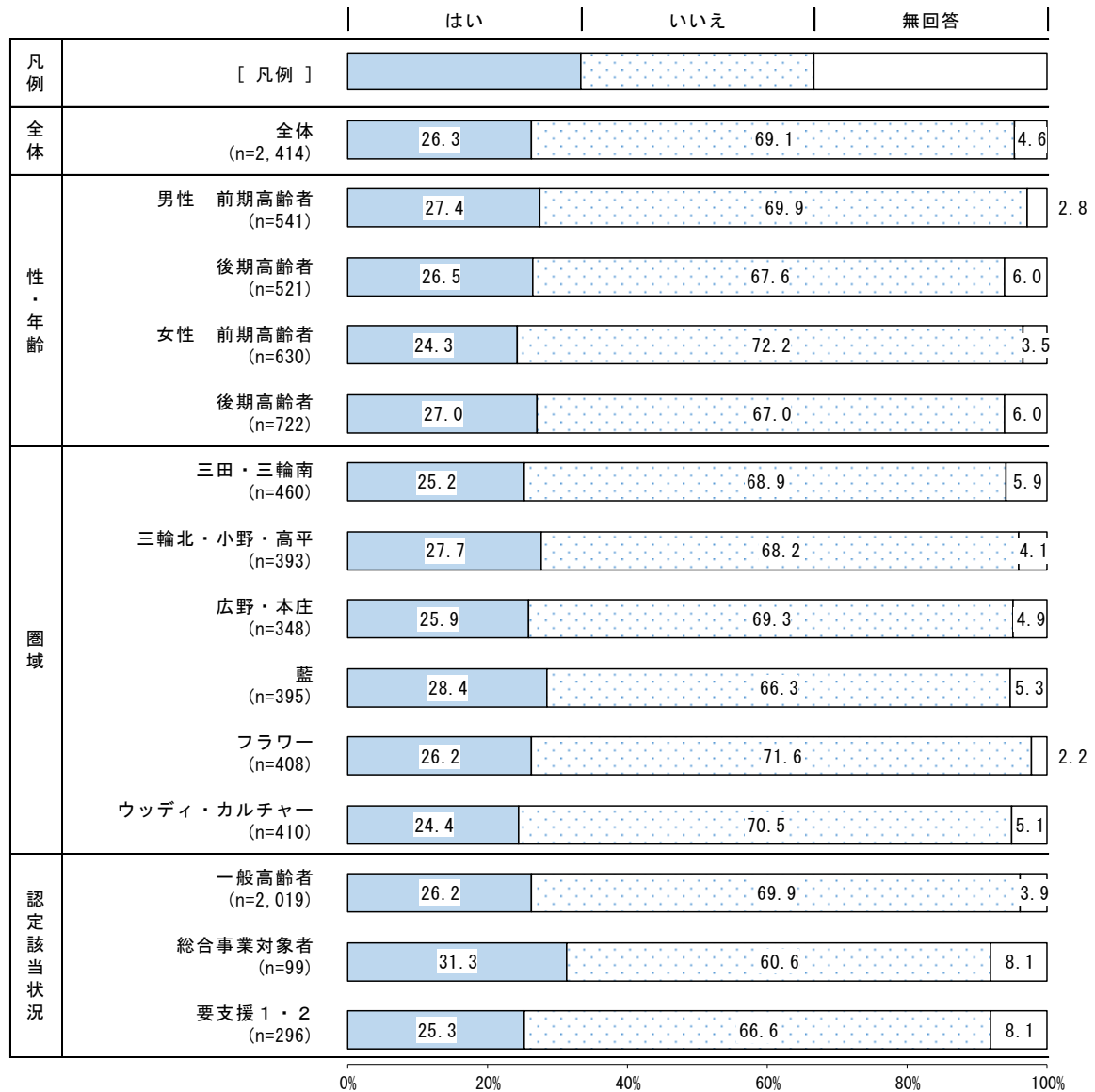


●問23 噛み合わせが悪いと感じていますか。(1つだけ)

【全体】

○ 噛み合わせが悪いと感じているかについて、「はい」が 26.3%、「いいえ」が 69.1%となっています。

【噛み合わせが悪いと感じているか】



●問22で「1」または「3」と答えた方（入れ歯ありの方）のみ、お答えください。

問24 毎日、入れ歯の手入れをしていますか。（1つだけ）

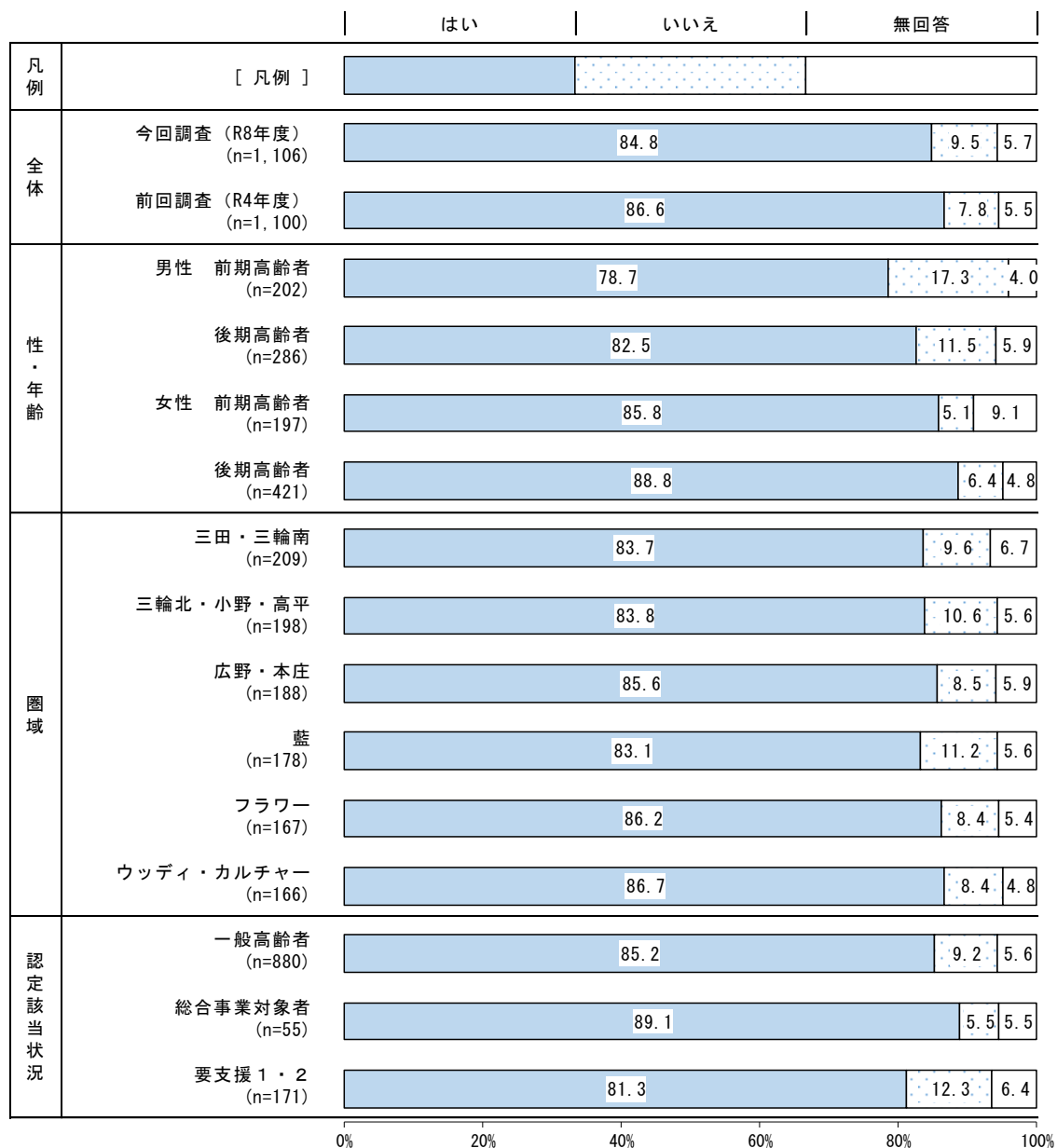
【全体】

○ 毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が 84.8%、「いいえ」が 9.5%となっています。

【性・年齢】

○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「いいえ」が多くなっています。

【毎日入れ歯の手入れをしているか】



(2) 栄養

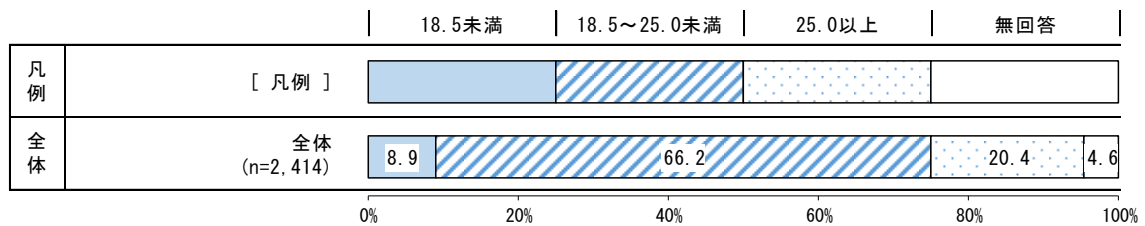
① 体重の状況

●問17 身長・体重を教えてください。

【全体】

- 身長・体重から算出したBMIについて、「18.5～25.0未満」が66.2%で最も多く、次いで「25.0以上」が20.4%、「18.5未満」が8.9%となっています。

【BMI】

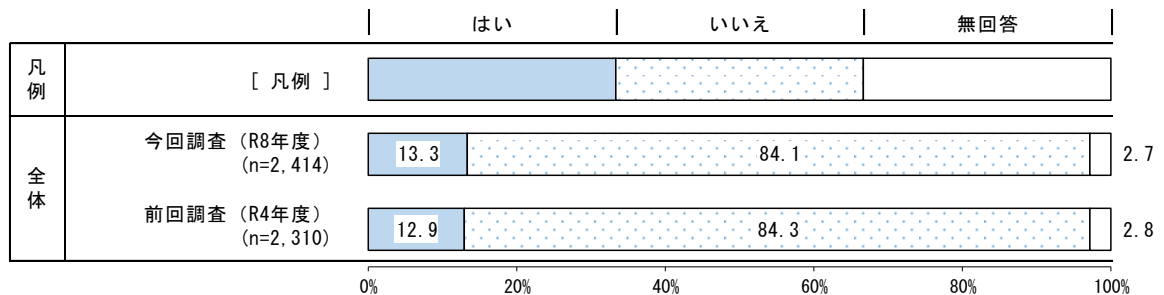


●問25 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つだけ)

【全体】

- 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについて、「はい」が13.3%、「いいえ」が84.1%となっています。

【6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか】



◆低栄養が疑われる高齢者

●判定方法

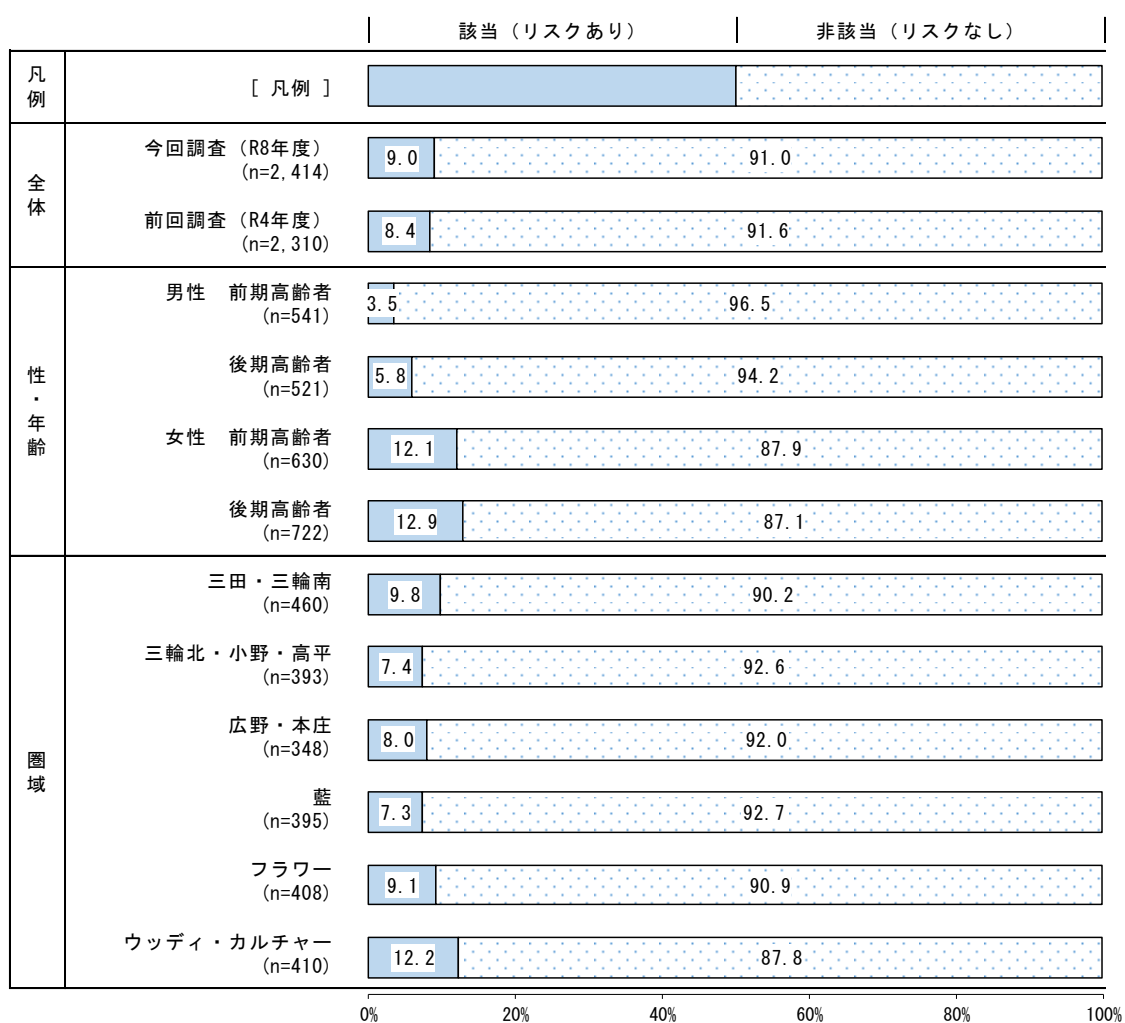
身長と体重から BMI（肥満度を示す体格指数）を算出し、下記に該当する場合、「低栄養が疑われる高齢者」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する場合
17	身長・体重を教えてください。	BMI:体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)} =18.5以下

【全体】

- 栄養改善のリスクについて、「該当（リスクあり）」が 9.0%、「非該当（リスクなし）」が 91.0%となっています。

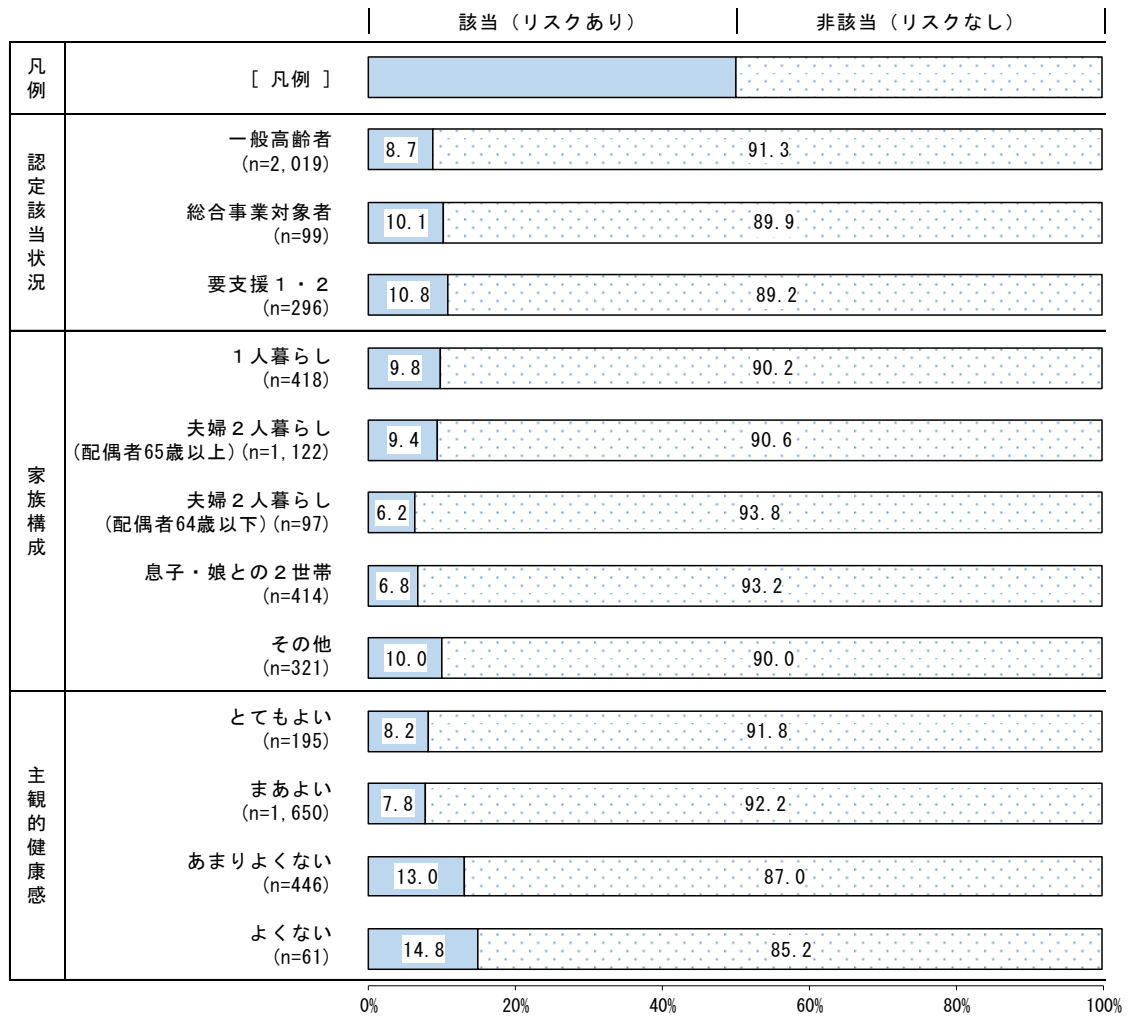
【栄養改善のリスク】



【主観的健康感】

○ よくないほど「該当（リスクあり）」が多くなる傾向がみられます。

【栄養改善のリスク】



◆低栄養のリスクの判定

●判定方法

2項目ともに該当する場合、「低栄養状態にある」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
17	BMI：体重（kg）÷ {身長（m）×身長（m）}	18.5 以下
25	6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか。	1. はい

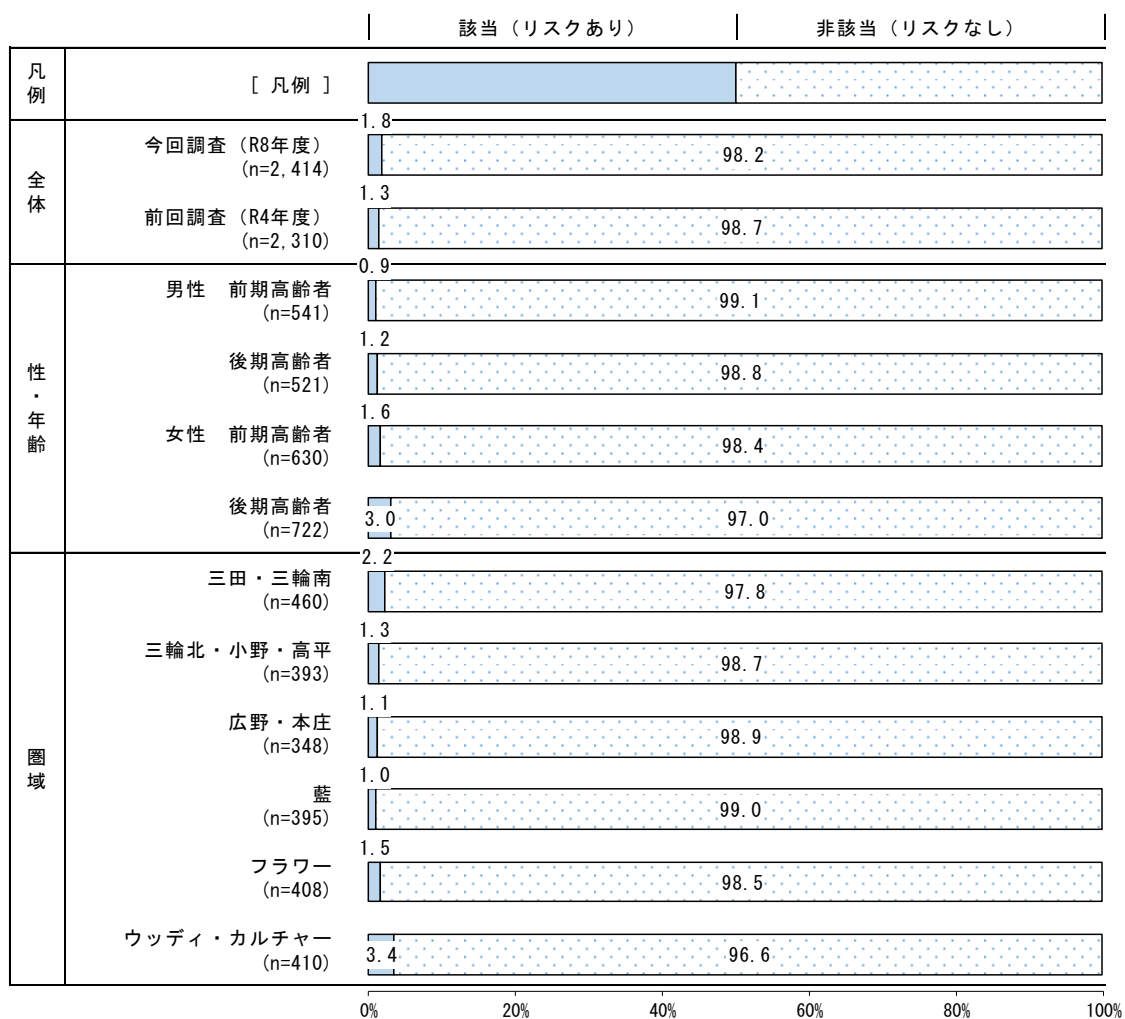
【全体】

- 低栄養のリスクについて、「該当（リスクあり）」が1.8%、「非該当（リスクなし）」が98.2%となっています。

【圏域】

- ウッディー・カルチャーでは、「該当（リスクあり）」が3.4%と他の圏域に比べて多くなっています。

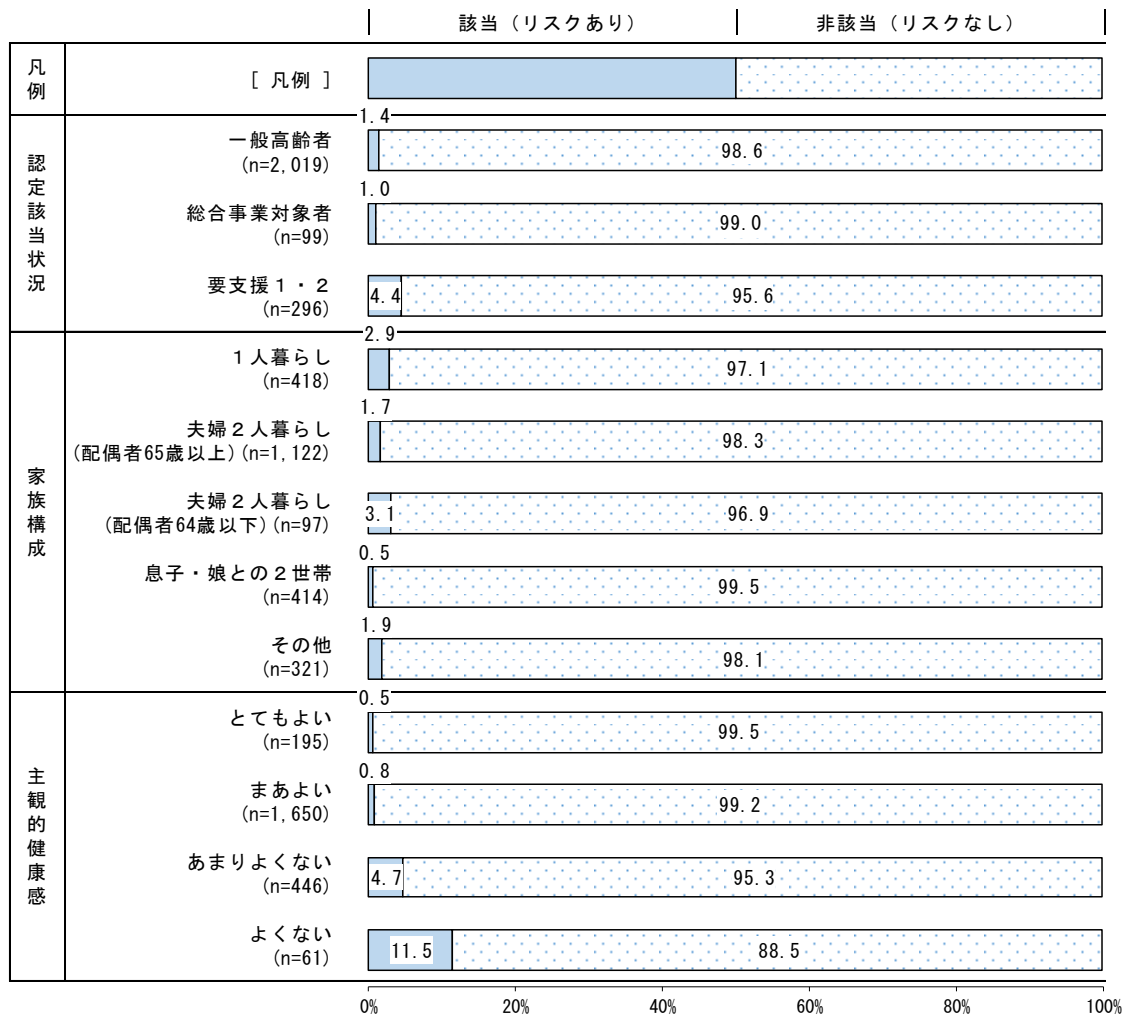
【低栄養のリスク】



【主観的健康感】

○ よくないは「該当（リスクあり）」が 11.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【低栄養のリスク】



② 孤食の状況

●問26 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(1つだけ)

【全体】

- 共食の有無について、「毎日ある」が 61.4%で最も多く、次いで「月に何度かある」が 12.2%、「年に何度かある」が 9.5%となっています。「年に何度かある」「ほとんどない」を合わせた“孤食傾向の方”は 16.0%となっています。

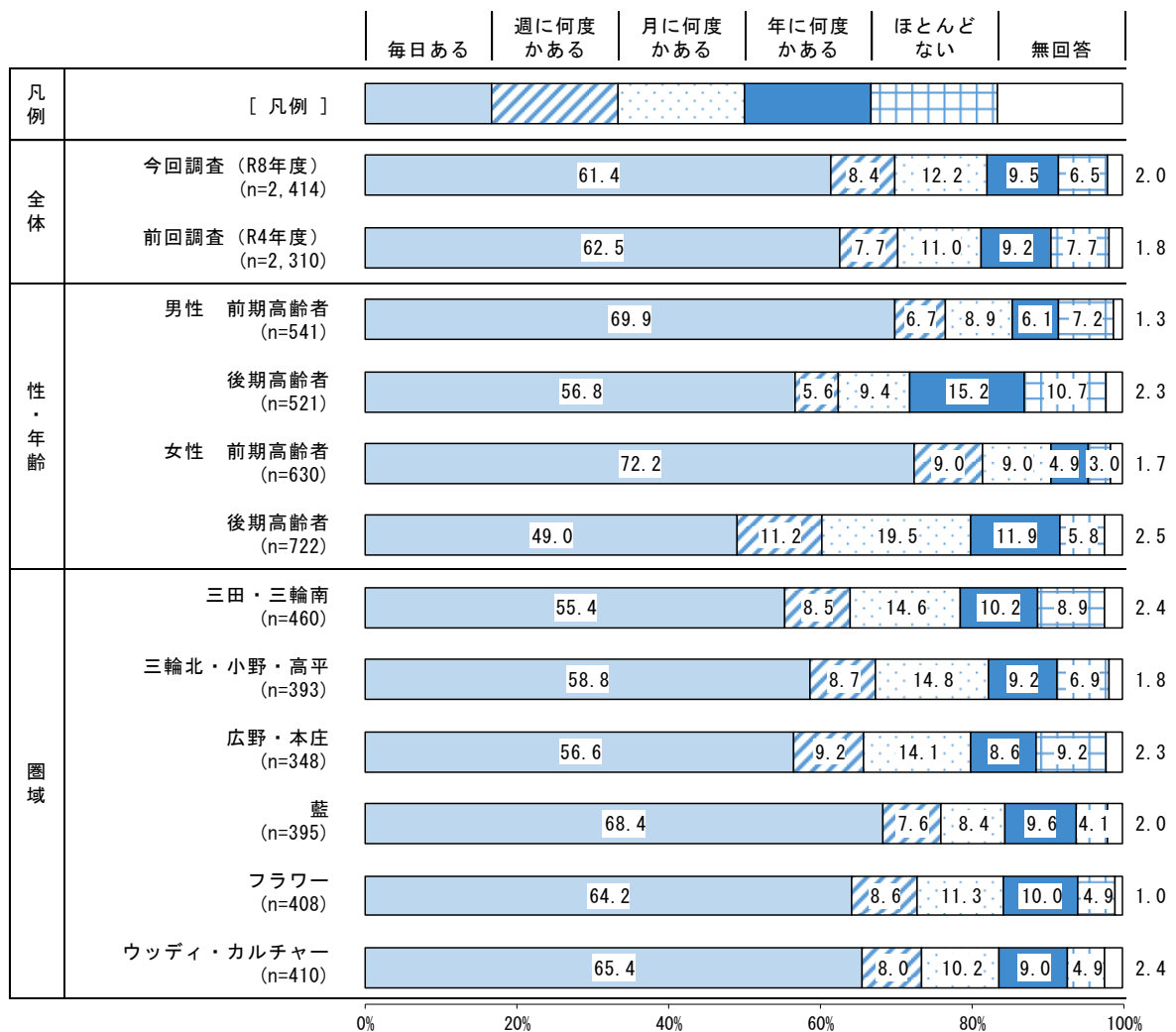
【性・年齢】

- 女性の前期高齢者は「毎日ある」が 72.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 藍は「毎日ある」が他の圏域に比べて多くなっています。

【共食の有無】



【認定該当状況】

- 総合事業対象者は「週に何度かある」が一般高齢者に比べて多くなっています。一方で「毎日ある」は一般高齢者に比べて少なくなっています。

【家族構成】

- 1人暮らしは「毎日ある」が他の区分と比べて少なく、「ほとんどない」は他の区分と比べて多くなっています。

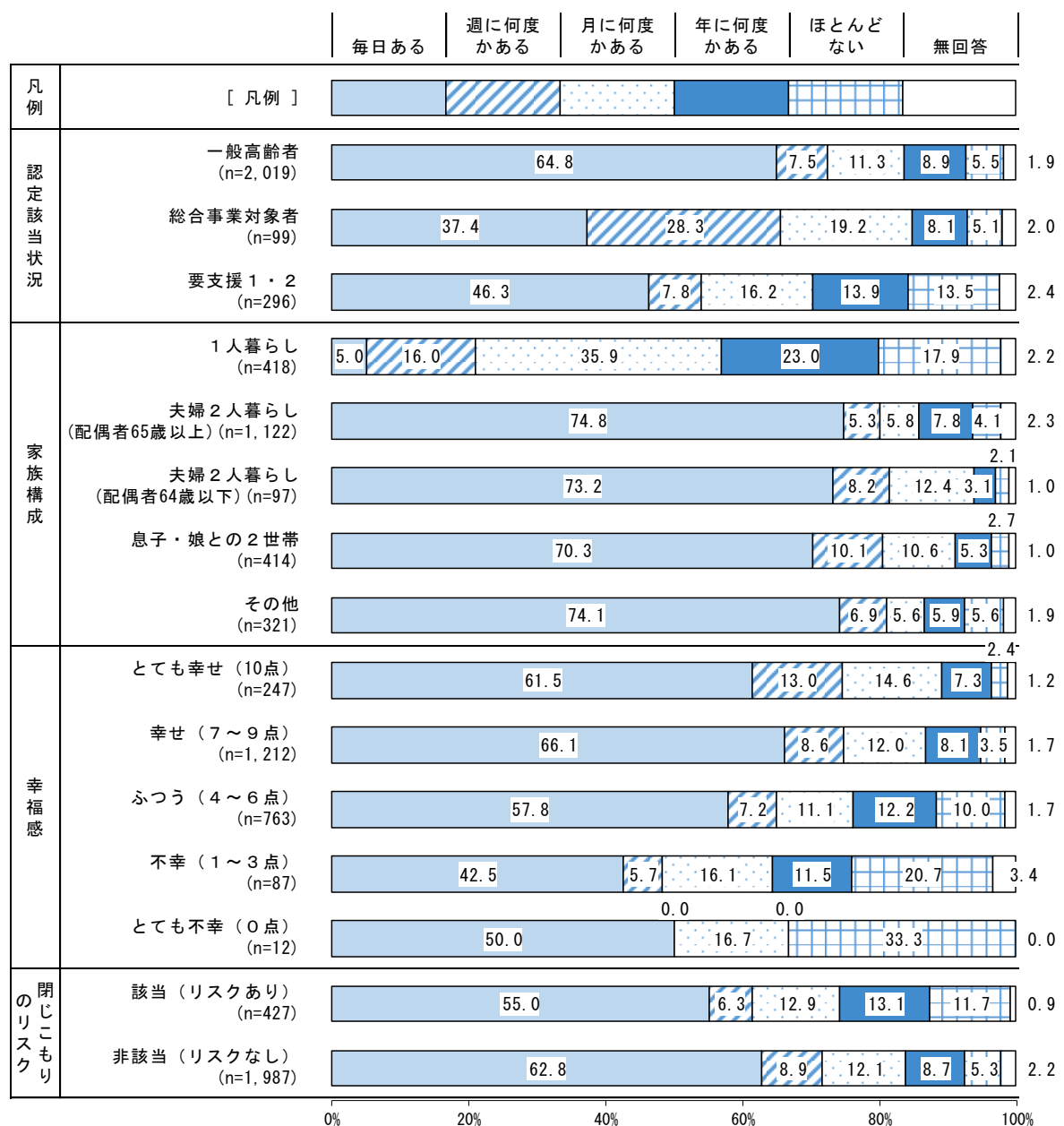
【幸福感】

- 不幸（1～3点）、とても不幸（0点）は「毎日ある」が他の区分に比べて少なくなっています。

【閉じこもりのリスク】

- 該当（リスクあり）は「ほとんどない」が非該当（リスクなし）より多い傾向がみられます。

【共食の有無】



4. 毎日の生活について

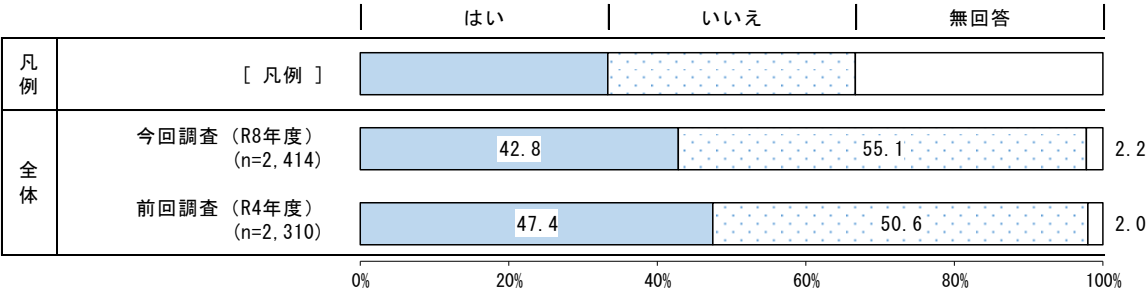
(1) 物忘れ

●問27 物忘れが多いと感じますか。(1つだけ)

【全体】

○ 物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が42.8%、「いいえ」が55.1%となっています。

【物忘れが多いと感じるか】



◆認知機能の低下リスクの判定

●リスク判定方法

下記に該当する場合、「認知機能が低下している」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
27	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

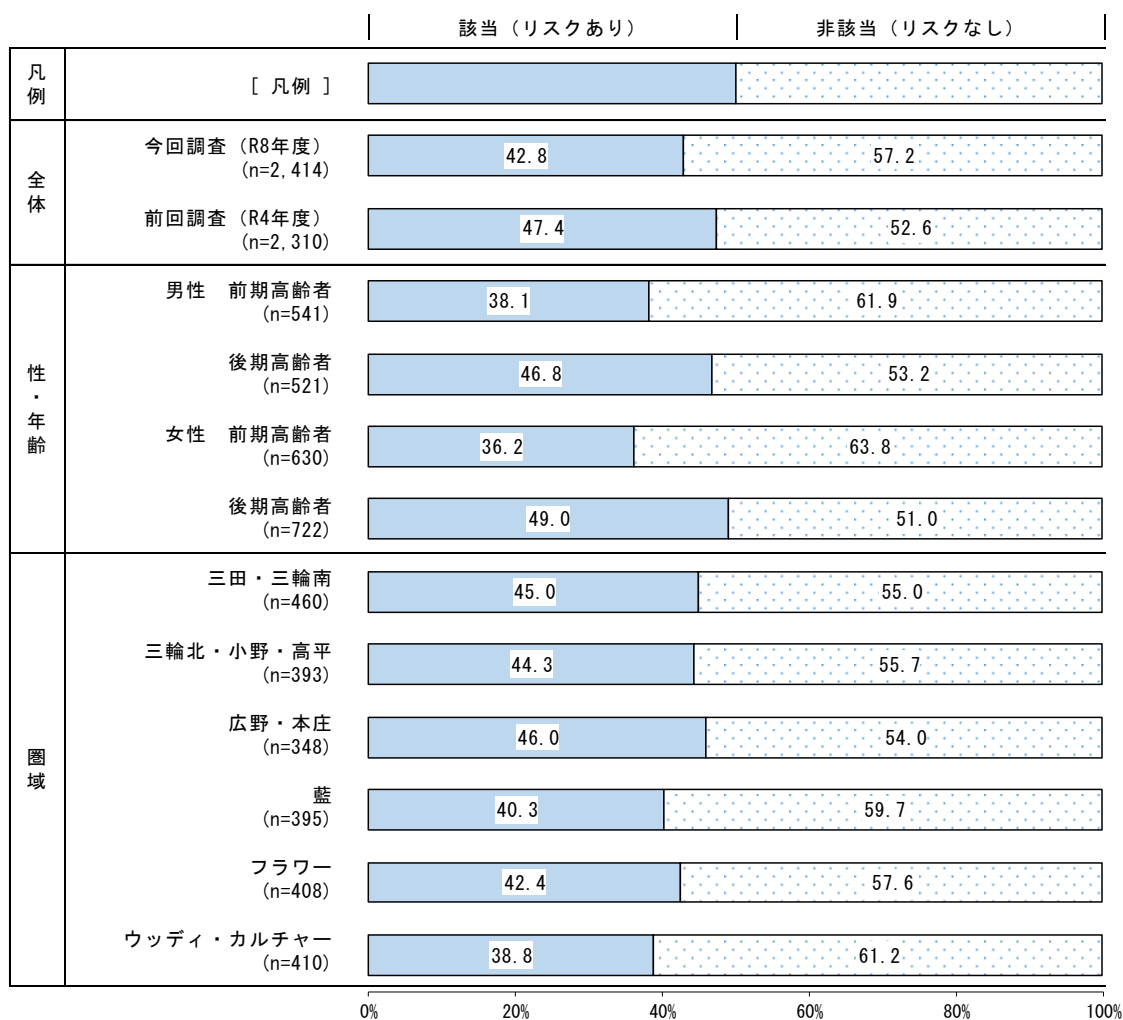
【全体】

- 認知機能の低下リスクについて、「該当（リスクあり）」が 42.8%、「非該当（リスクなし）」が 57.2%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当（リスクあり）」が多く、特に女性では 36.2%となっています。

【認知機能の低下リスク】



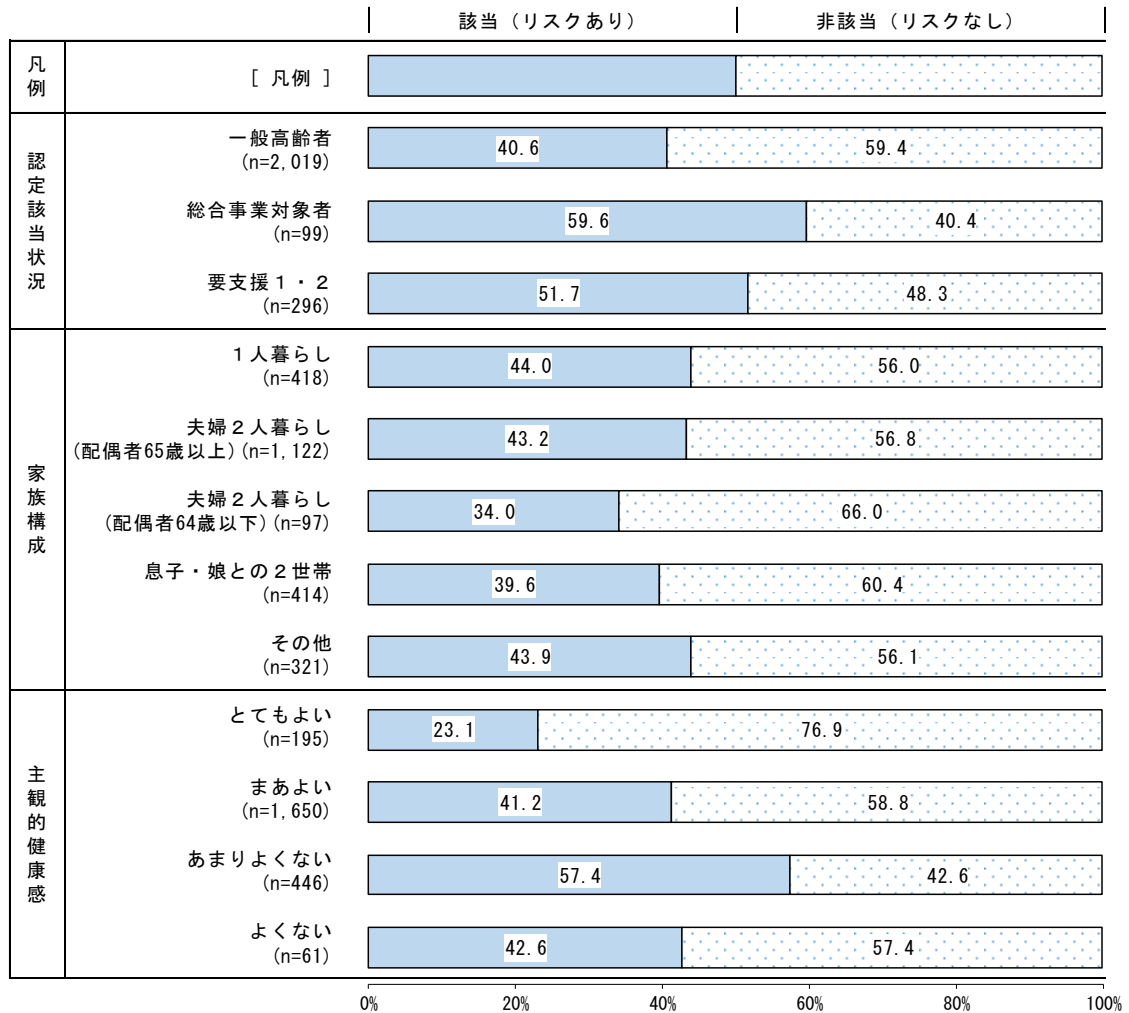
【認定該当状況】

- 総合事業対象者は「該当（リスクあり）」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【主観的健康感】

- とてもよいは「非該当（リスクなし）」が他の区分に比べて多くなっています。あまりよくないは「該当（リスクあり）」が他の区分に比べて多くなっています。

【認知機能の低下リスク】



●問28 普段の会話で、言葉をはっきりと発音できないことがありますか。(1つだけ)

【全体】

- 普段の会話で言葉をはっきりと発音できないことがあるかについて、「はい」が 18.5%、「いいえ」が 80.0%となっています。

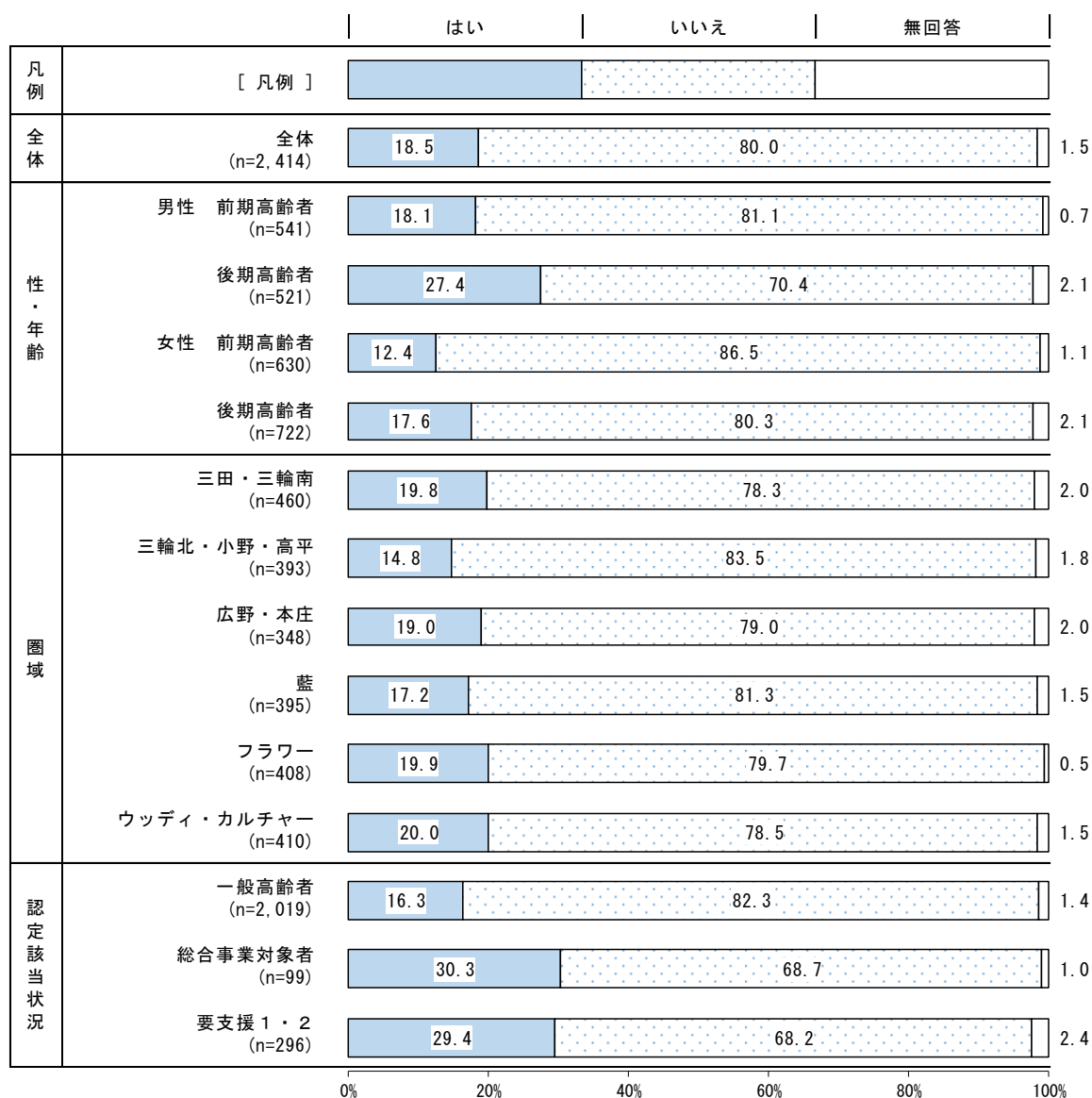
【性・年齢】

- 男性の後期高齢者は「はい」が他の区分に比べて多くなっています。女性の前期高齢者は「いいえ」が他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者、要支援1・2は「はい」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【普段の会話で言葉をはっきりと発音できないことがあるか】



●問29 今日が何月何日か、わからない時がありますか。(1つだけ)

【全体】

- 今日が何月何日かわからない時があるかについて、「はい」が23.4%、「いいえ」が75.1%となっています。

【性・年齢】

- 男性の前期高齢者は「いいえ」が他の区分に比べて多くなっています。

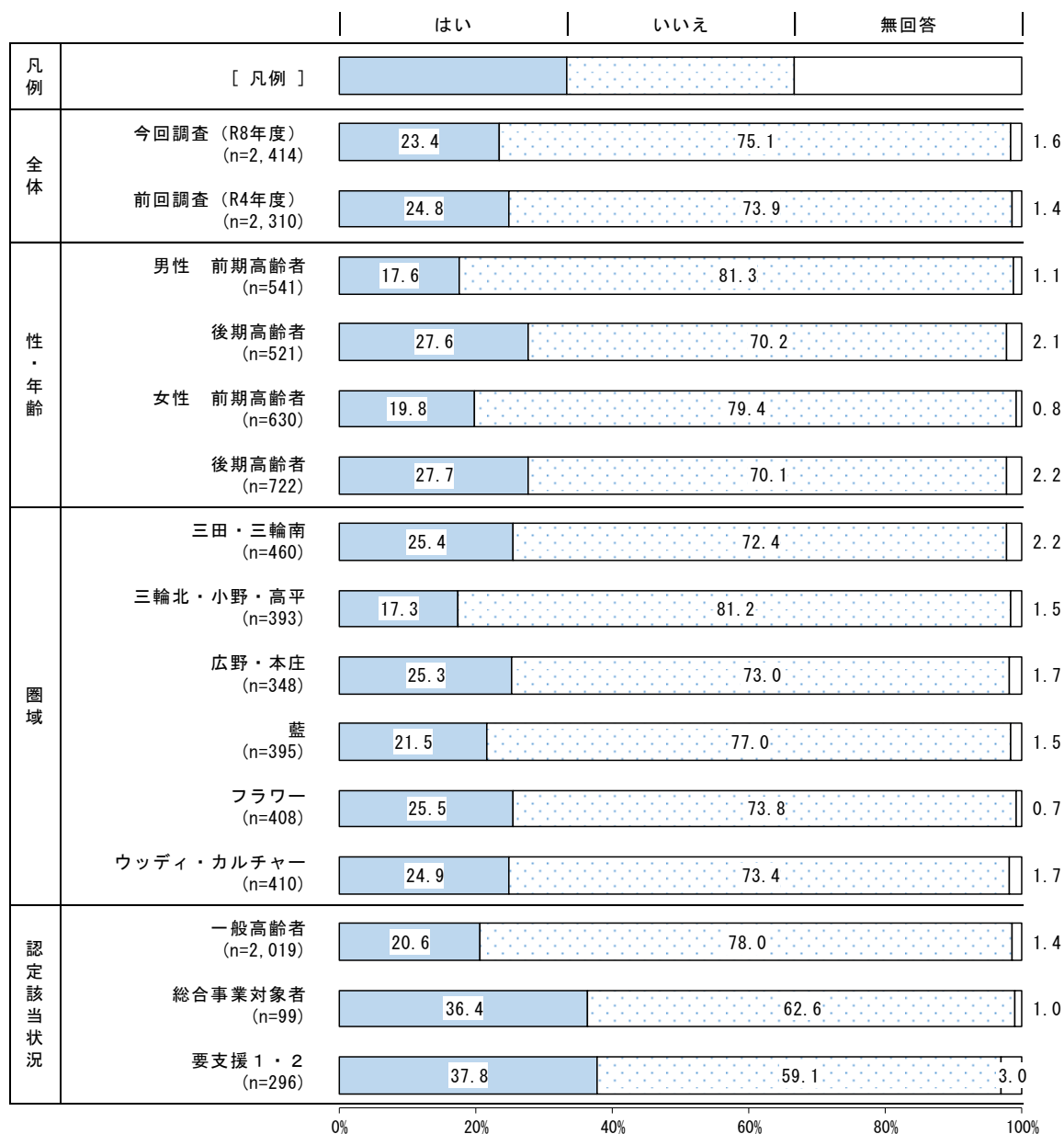
【圏域】

- 三輪北・小野・高平は「いいえ」が他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者、要支援1・2は「はい」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【今日が何月何日かわからない時があるか】



(2) IADLの状況

●問30 バスや電車を使って一人で外出していますか（自家用車でも可）。（1つだけ）

【全体】

- バスや電車を使った1人での外出について、「できるし、している」が78.5%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.2%、「できない」が6.5%となっています。

【性・年齢】

- 男性の前期高齢者は「できるし、している」が他の区分に比べて多くなっています。

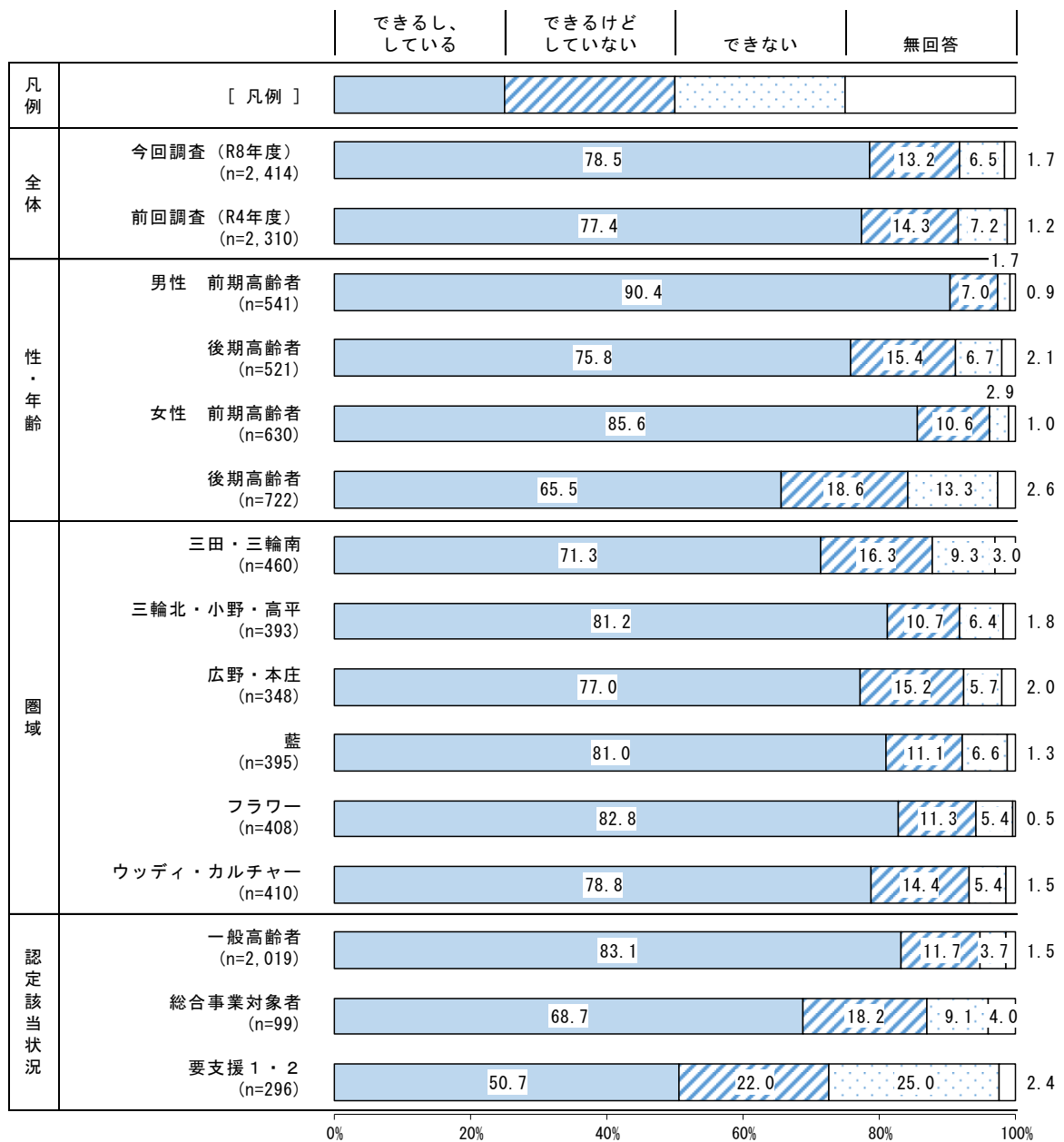
【圏域】

- 三田・三輪南は「できるし、している」が他の圏域に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2は「できない」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【バスや電車を使った1人での外出】



●問31 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つだけ)

【全体】

- 食品・日用品の買物について、「できるし、している」が82.6%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.8%、「できない」が4.0%となっています。

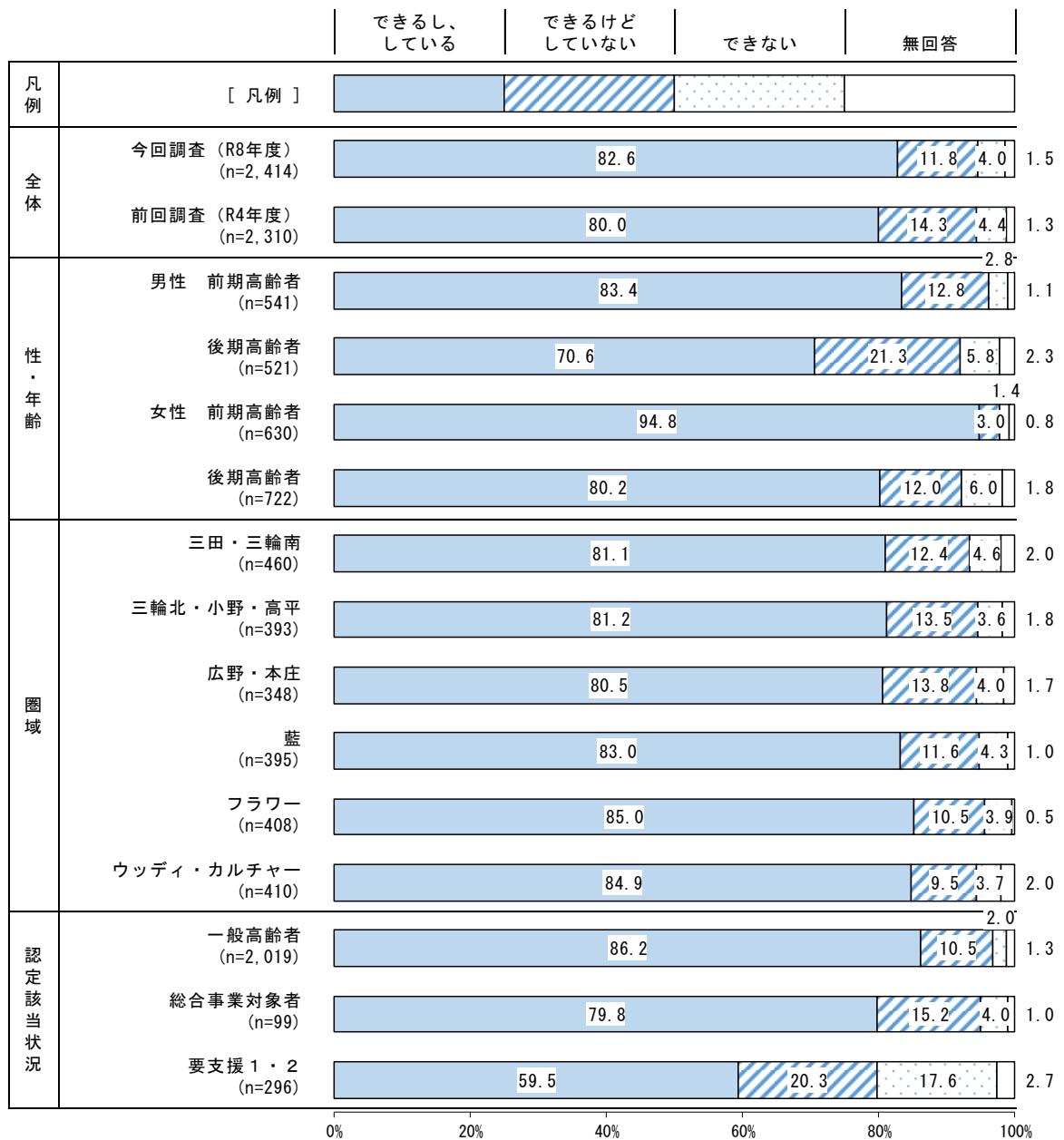
【性・年齢】

- 女性の前期高齢者は「できるし、している」が他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2は「できない」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【食品・日用品の買物】



●問32 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ)

【全体】

- 食事の用意について、「できるし、している」が70.8%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が21.2%、「できない」が6.6%となっています。

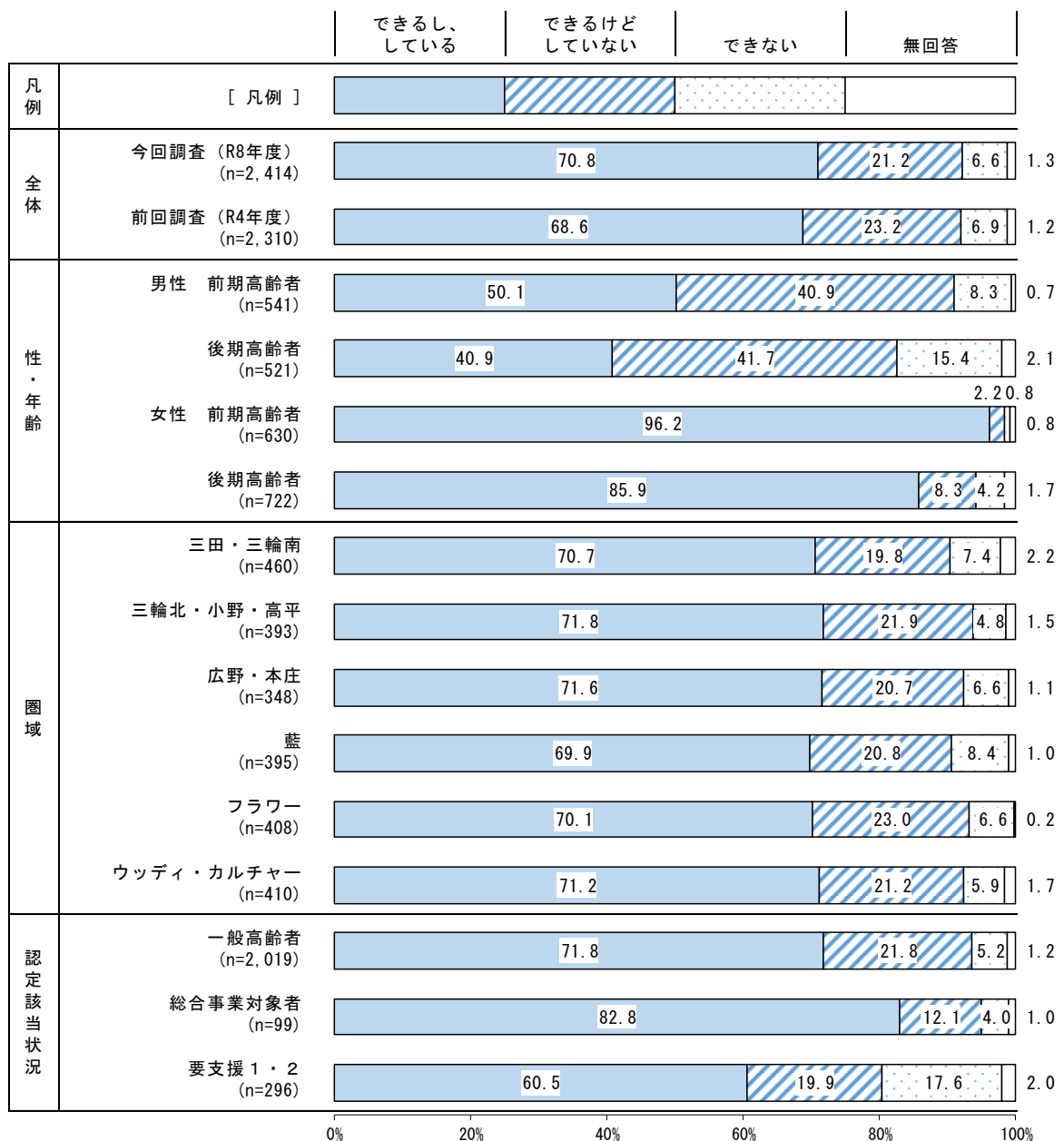
【性・年齢】

- 男性の前期高齢者、後期高齢者は「できるけどしていない」が他の区分に比べて多くなっています。女性の前期高齢者、後期高齢者は「できるし、している」が他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者は「できるし、している」が要支援1・2に比べて多くなっています。要支援1・2は「できない」が総合事業対象者に比べて多くなっています。

【食事の用意】



●問33 自分でごみ出しをしていますか。(1つだけ)

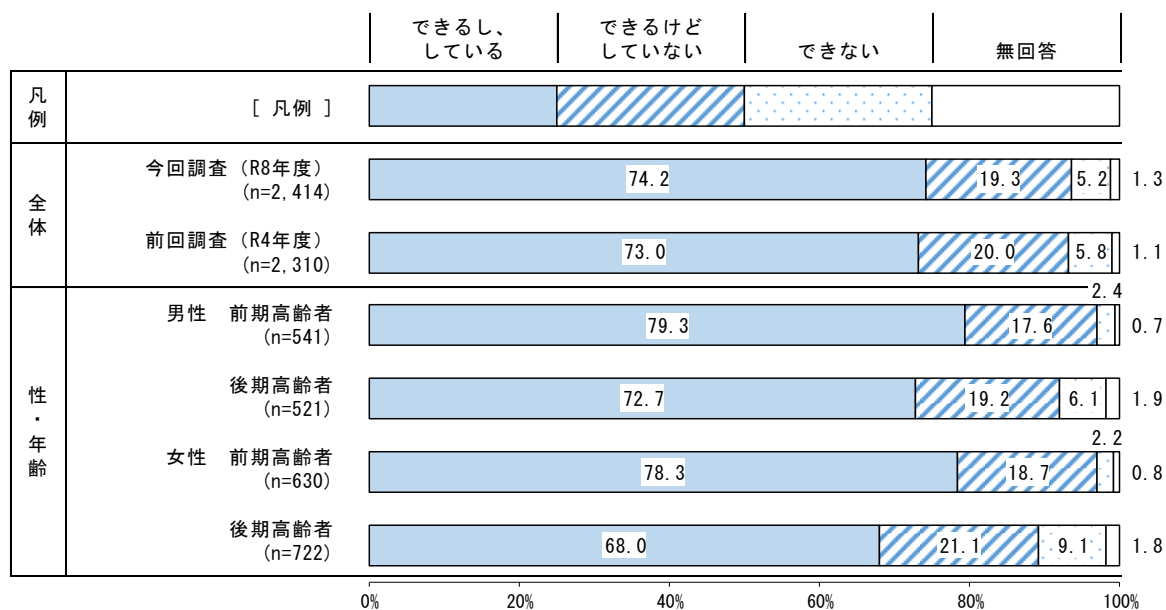
【全体】

- ごみ出しについて、「できるし、している」が74.2%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が19.3%、「できない」が5.2%となっています。

【性・年齢】

- 男性の前期高齢者は「できるし、している」が他の区分に比べて多くなっています。

【ごみ出し】

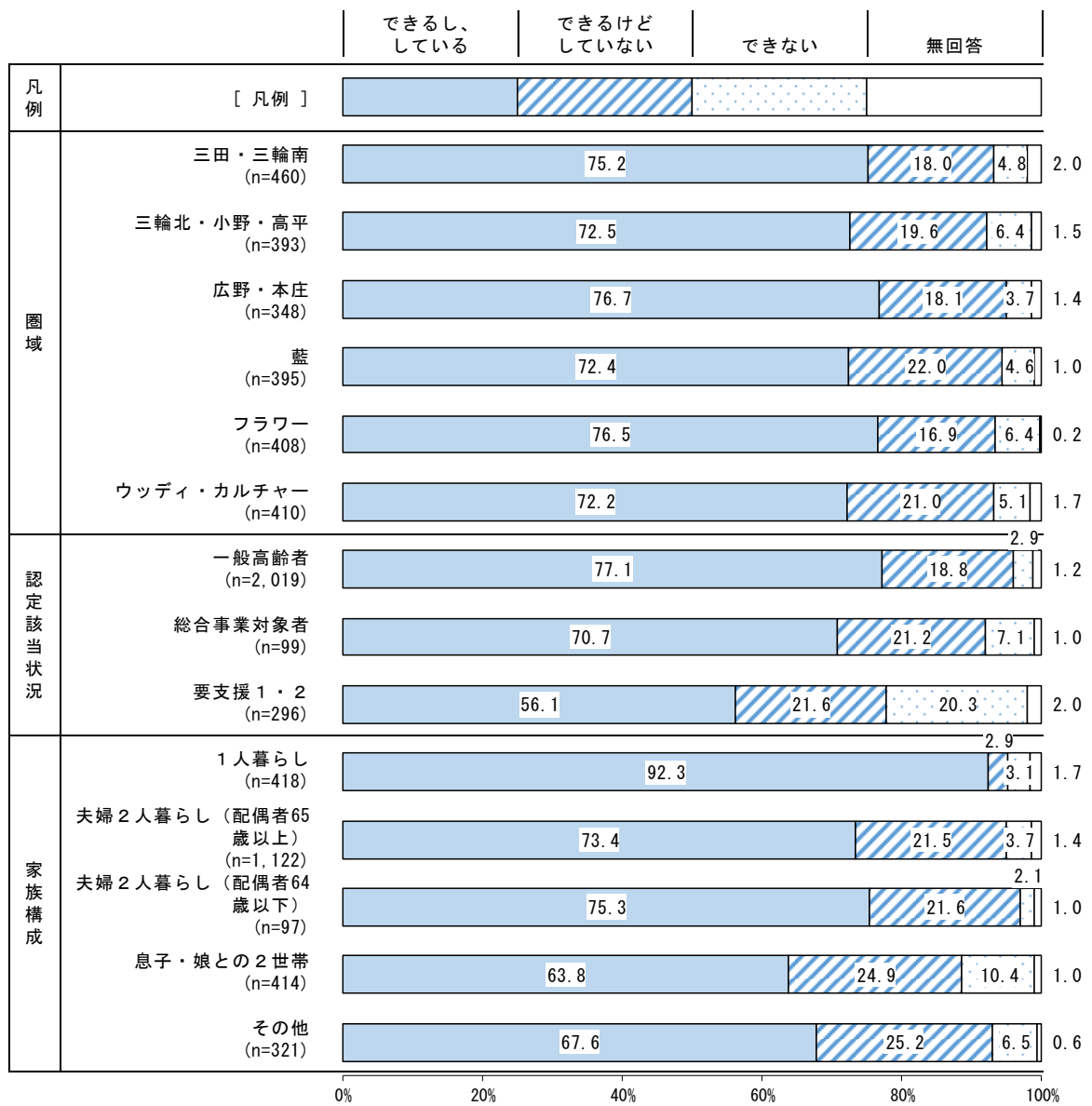


【認定該当状況】

- 要支援1・2は「できない」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【家族構成】

- 1人暮らしは「できるし、している」が他の区分に比べて多くなっています。



●問34 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つだけ)

【全体】

- 請求書の支払いについて、「できるし、している」が80.6%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.8%、「できない」が3.2%となっています。

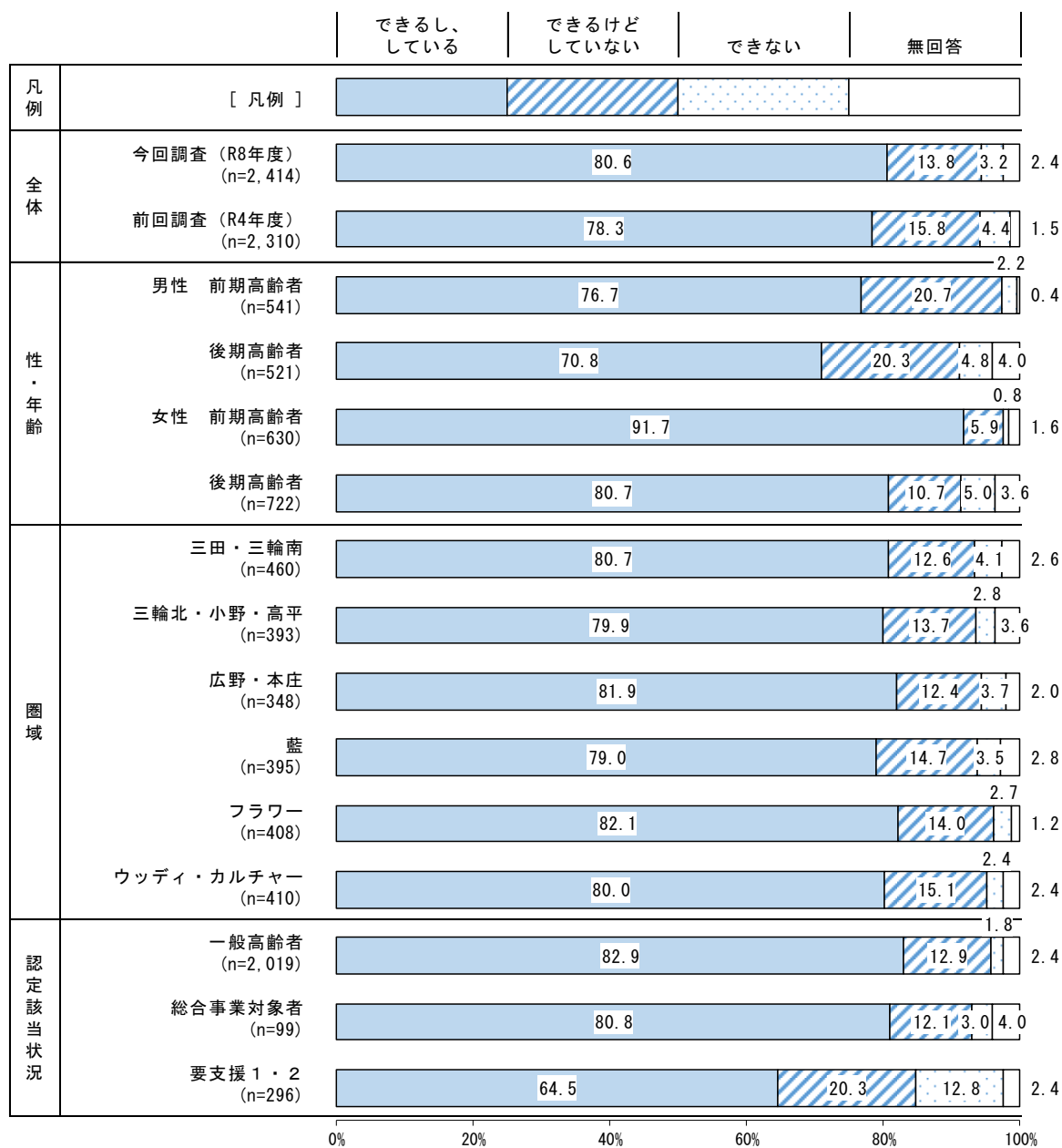
【性・年齢】

- 女性の前期高齢者は「できるし、している」が他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2は「できるけどしていない」「できない」が他の区分に比べて多くなっています。

【請求書の支払い】



●問35 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけ)

【全体】

- 預貯金の出し入れについて、「できるし、している」が83.3%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.3%、「できない」が3.7%となっています。

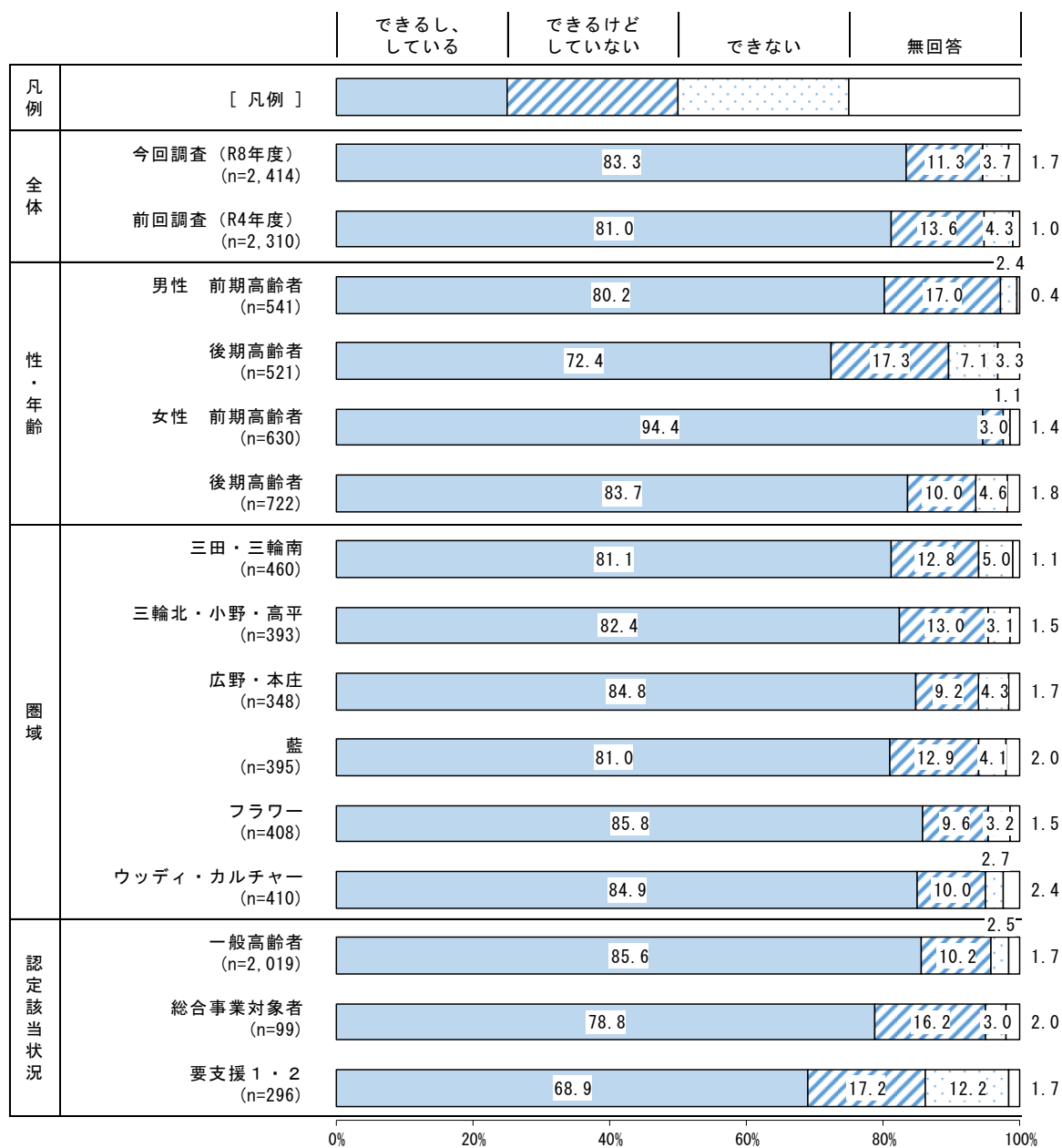
【性・年齢】

- 女性の前期高齢者は「できるし、している」が他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2は「できるけどしていない」「できない」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【預貯金の出し入れ】



◆ I A D L

● 算出方法

5項目それぞれ下記に該当する場合を1点とし、5項目の合計を算出しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
30	バスや電車を使って一人で外出していますか (自家用車でも可)。	1. できるし、している 2. できるけどしていない
31	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない
32	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない
34	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない
35	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない

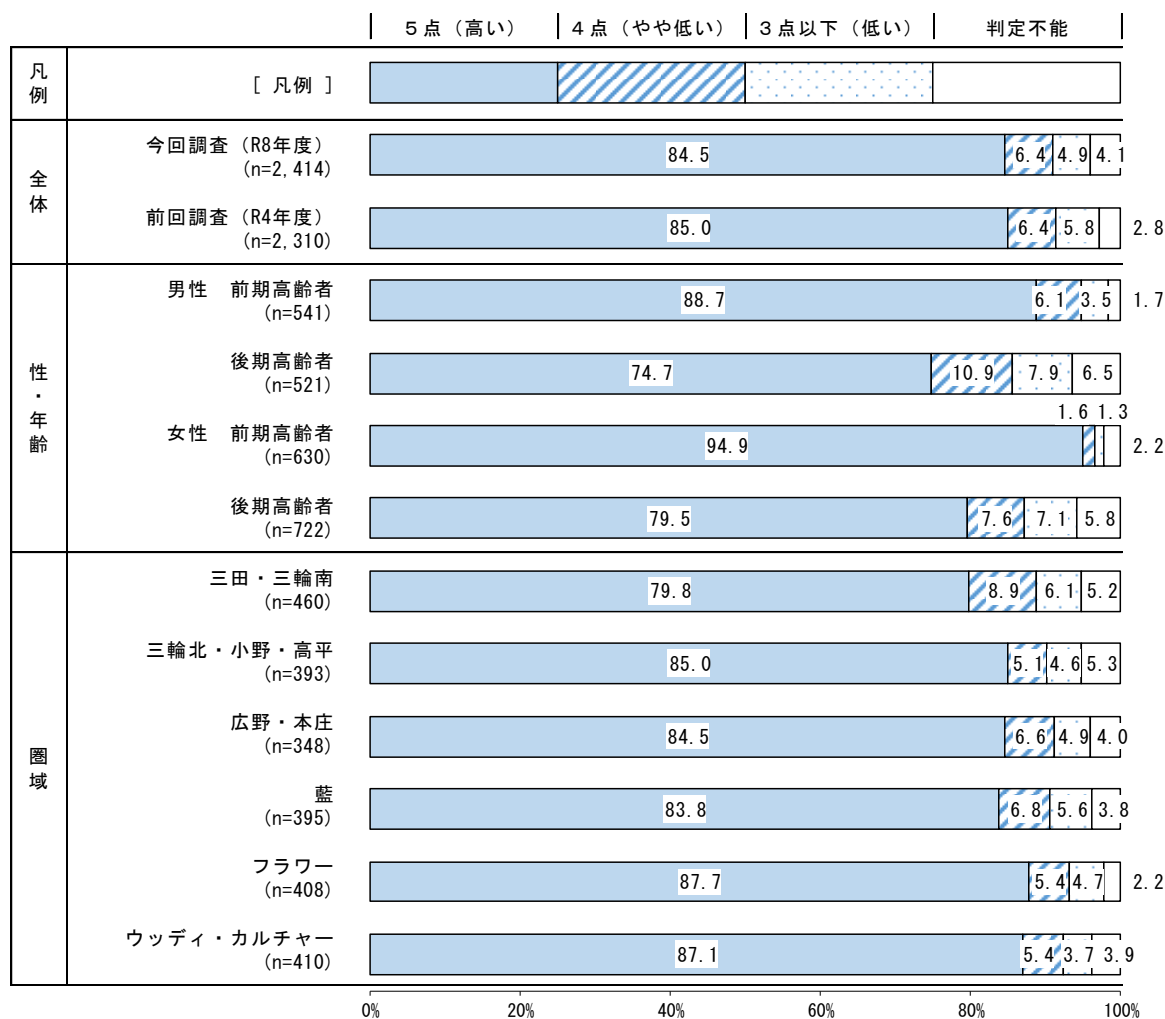
【全体】

- I A D Lについて、「5点（高い）」が84.5%で最も多く、次いで「4点（やや低い）」が6.4%、「3点以下（低い）」が4.9%となっています。

【性・年齢】

- 女性の前期高齢者は「5点（高い）」が他の区分に比べて多くなっています。

【I A D L】



【認定該当状況】

- 要支援1・2は「3点以下（低い）」が一般高齢者に比べて多くなっています。

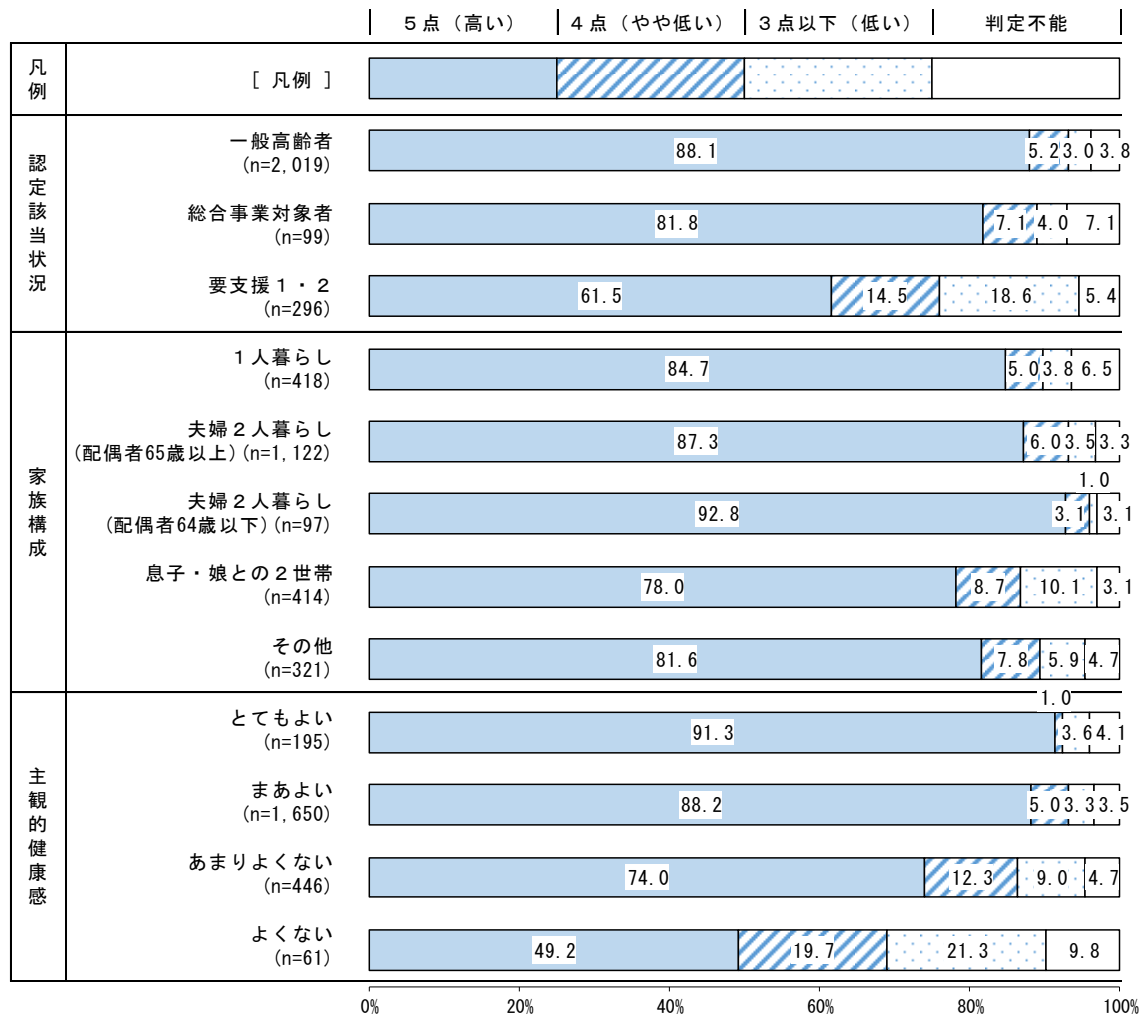
【家族構成】

- 夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）は「5点（高い）」が他の区分に比べて多くなっています。息子・娘との2世帯は「3点以下（低い）」が他の区分に比べて多くなっています。

【主観的健康感】

- とてもよいは「5点（高い）」が他の区分に比べて多くなっています。よくないは「4点（やや低い）」「3点以下（低い）」「判定不能」が他の区分に比べて多くなっています。

【IADL】



(3) 社会との関わり

●問36 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（1つだけ）

【全体】

○ 年金などの書類が書けるかについて、「はい」が90.1%、「いいえ」が7.7%となっています。

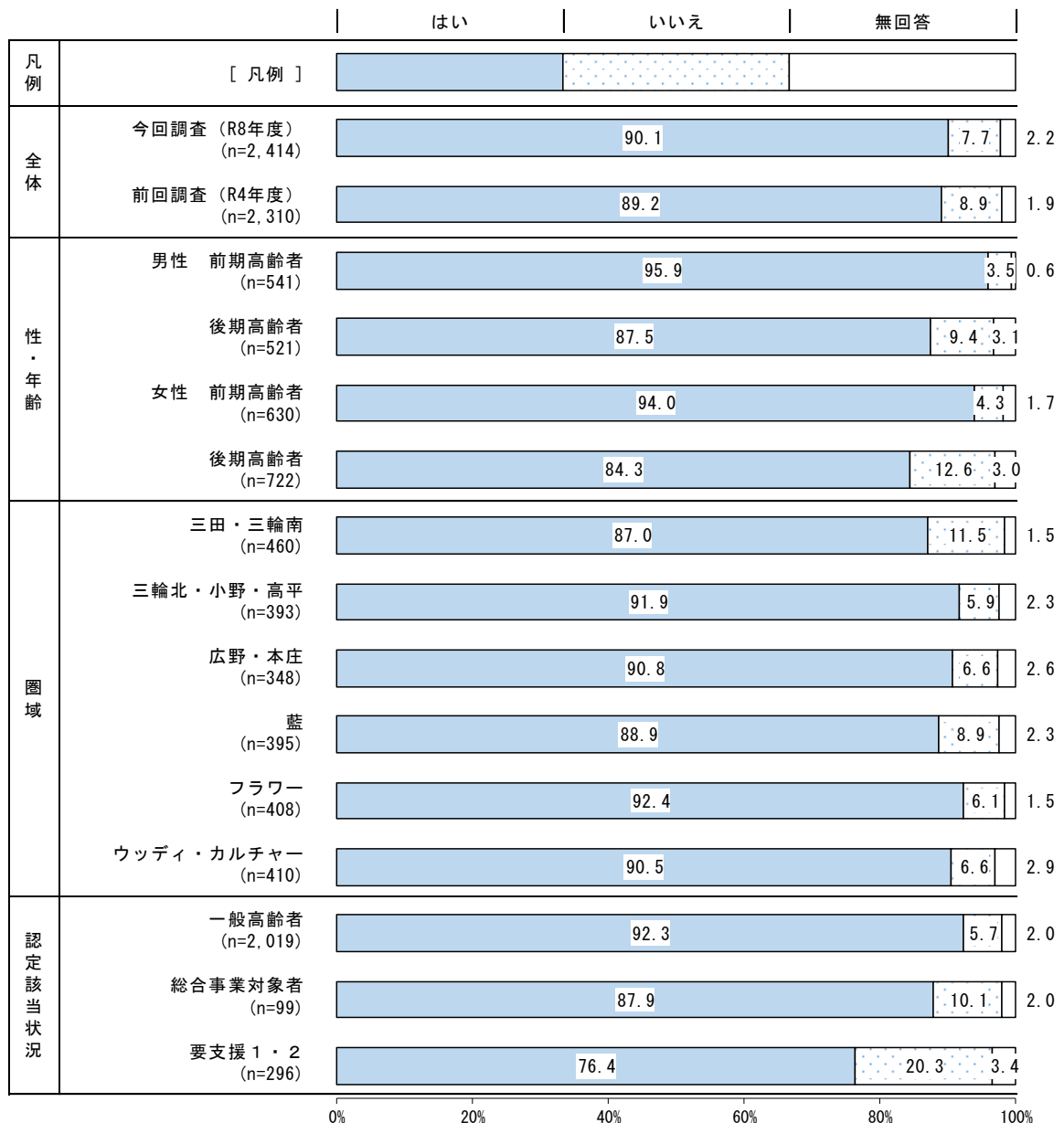
【性・年齢】

○ 男性の前期高齢者は「はい」が他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 要支援1・2は「いいえ」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【年金などの書類が書けるか】



●問37 新聞や本・雑誌を読んでいますか。(1つだけ)

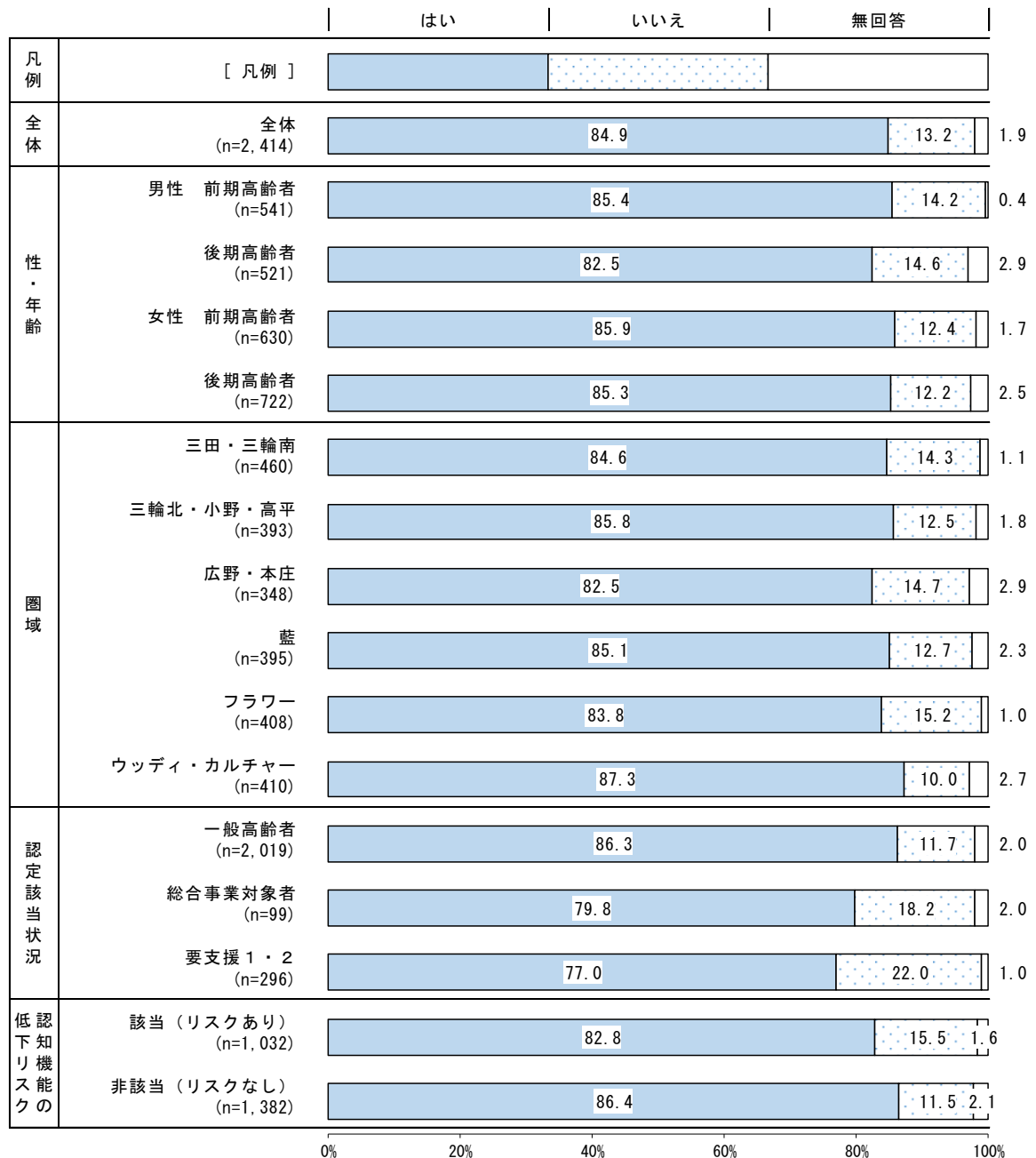
【全体】

- 新聞や本・雑誌を読んでいるかについて、「はい」が84.9%、「いいえ」が13.2%となっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2は「いいえ」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【新聞や本・雑誌を読んでいるか】



●問38 友人の家を訪ねていますか。(1つだけ)

【全体】

- 友人の家を訪ねているかについて、「はい」が41.0%、「いいえ」が56.8%となっています。

【性・年齢】

- 男性の前期高齢者は「いいえ」が他の区分に比べて多くなっています。女性の前期高齢者は「はい」が他の区分に比べて多くなっています。

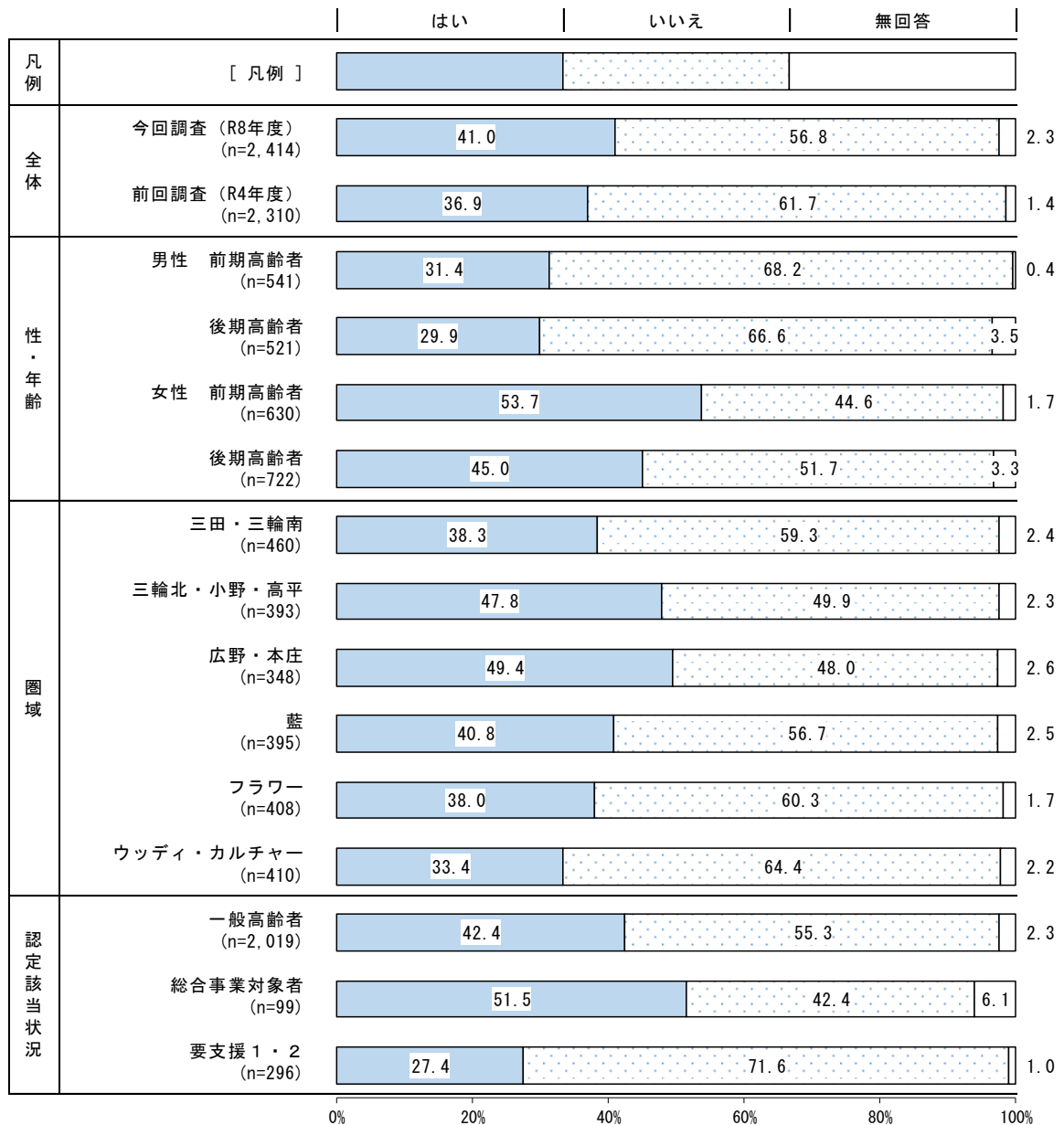
【圏域】

- 三輪北・小野・高平、広野・本庄は「はい」が他の圏域に比べて多くなっています。ウッディ・カルチャーは「いいえ」が他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者は「はい」が要支援1・2に比べて多くなっています。要支援1・2は「いいえ」が総合事業対象者に比べて多くなっています。

【友人の家を訪ねているか】



●問39 家族や友人の相談にのっていますか。(1つだけ)

【全体】

○ 家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が73.3%、「いいえ」が23.7%となっています。

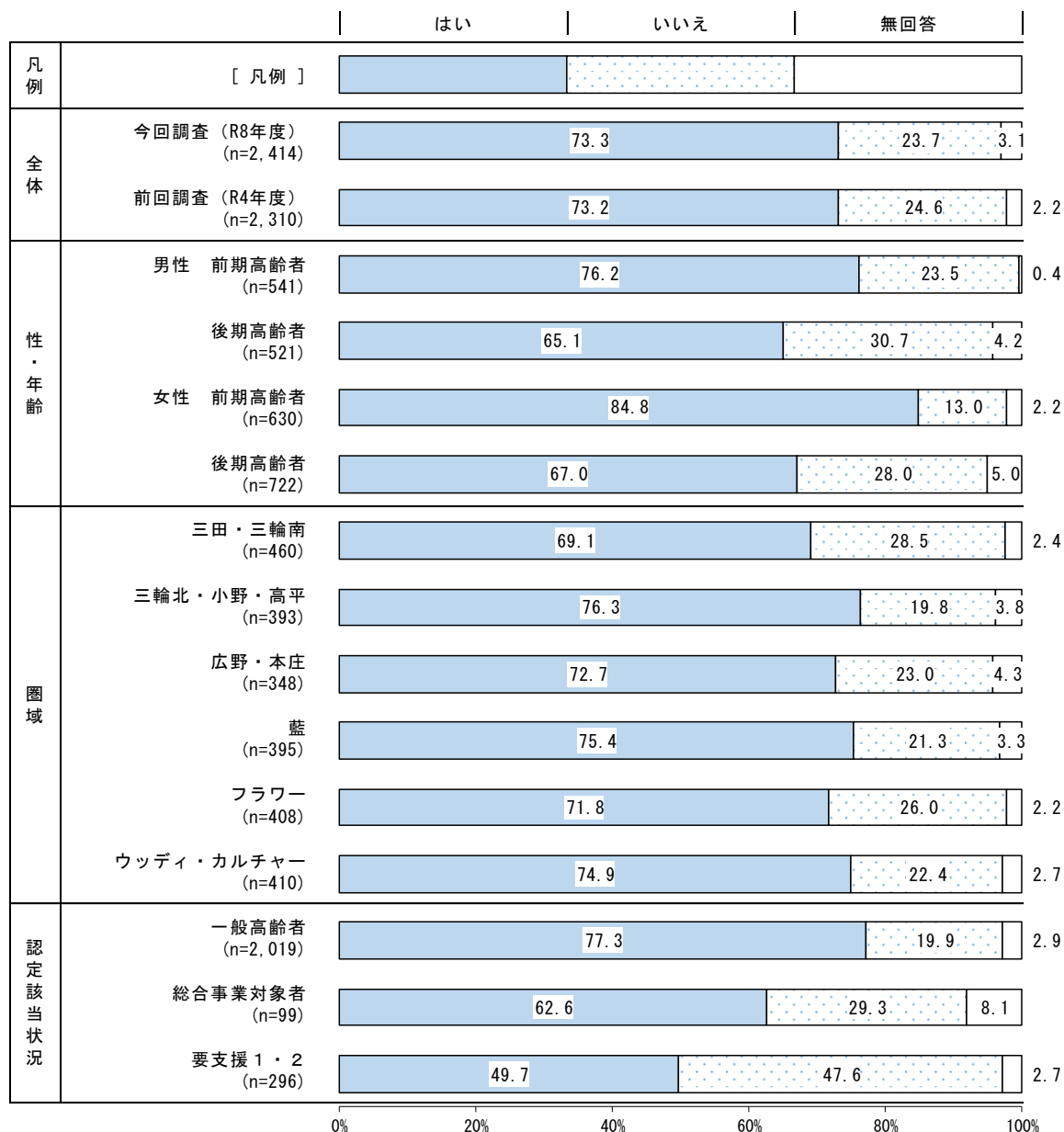
【性・年齢】

○ 女性の前期高齢者は「はい」が他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 一般高齢者では、「はい」が77.3%であるのに対し、要支援1・2では49.7%となっています。

【家族や友人の相談にのっているか】



(4) 趣味・生きがい

●問40 趣味はありますか。(1つだけ)

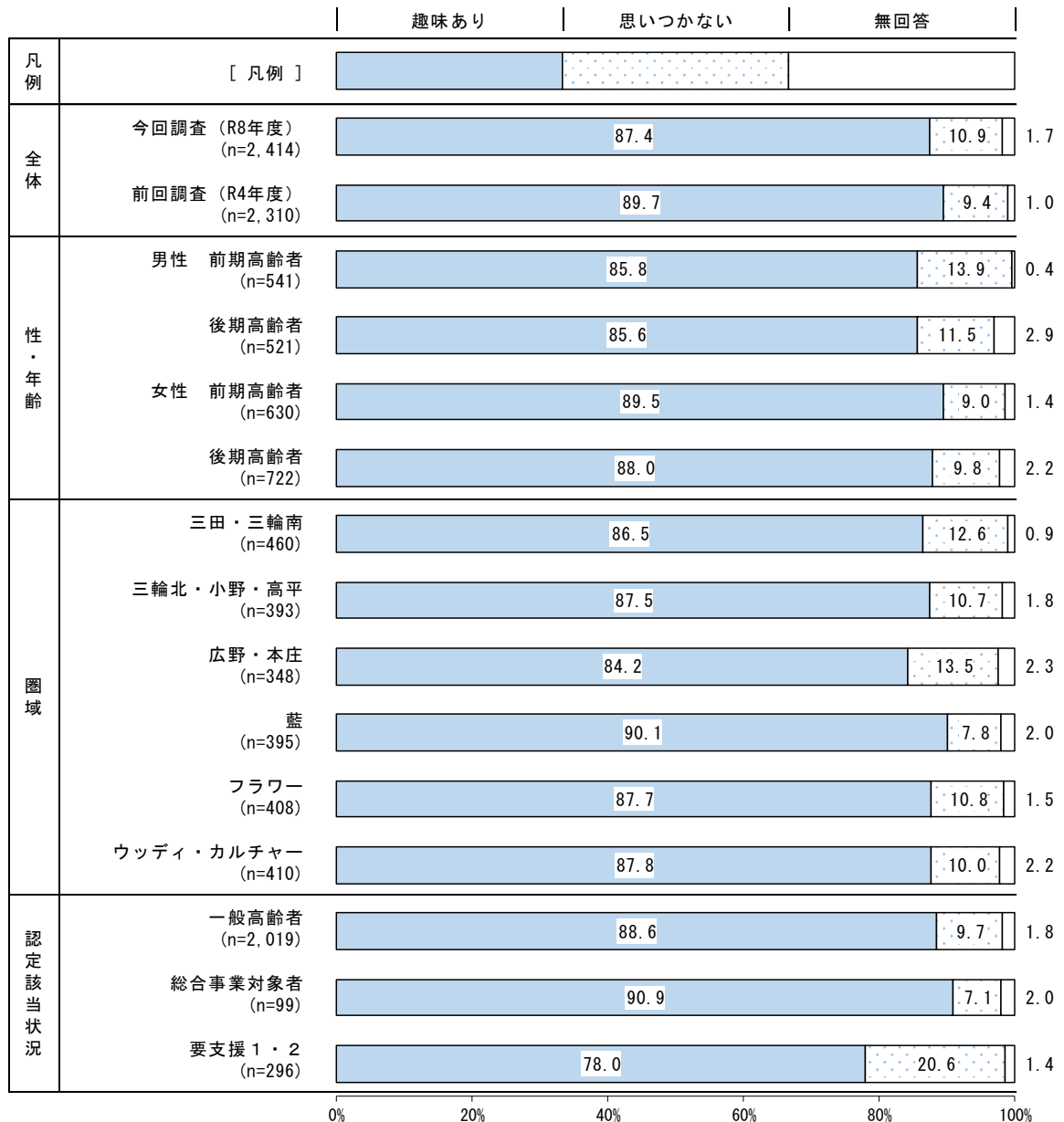
【全体】

○ 趣味の有無について、「趣味あり」が87.4%、「思いつかない」が10.9%となっています。

【認定該当状況】

○ 要支援1・2は「思いつかない」が総合事業対象者に比べて多くなっています。

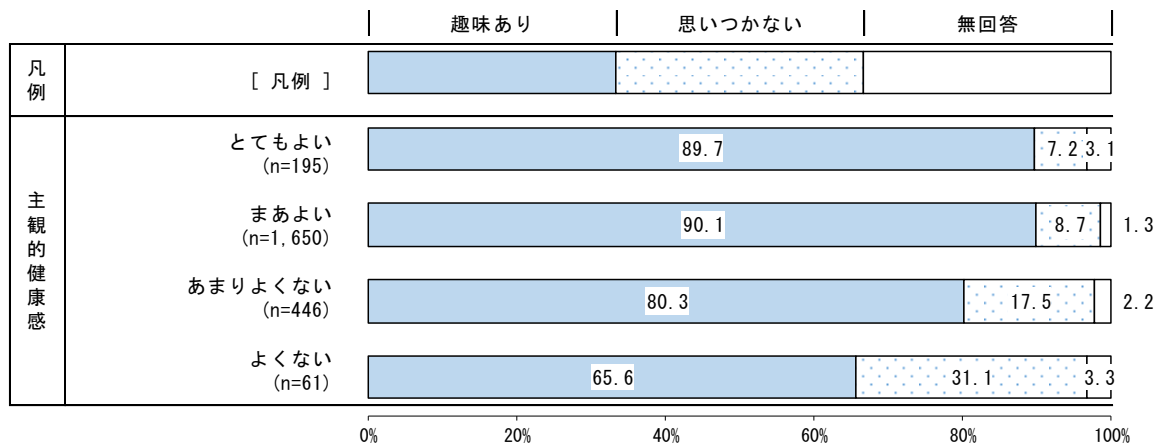
【趣味の有無】



【主観的健康感】

○ 健康感がよい人ほど、「趣味あり」が約9割と多くなる傾向がみられます。

【趣味の有無】



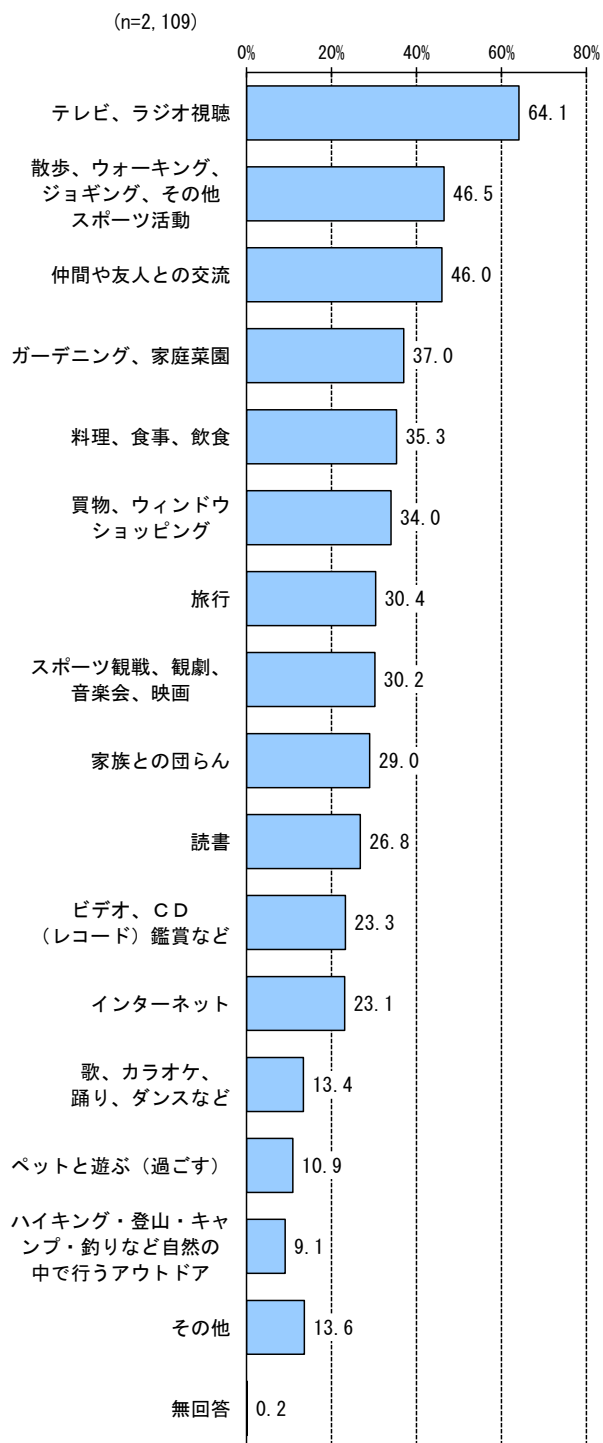
※趣味ありの方は、内容にも○をつけてください。(いくつでも)

【全体】

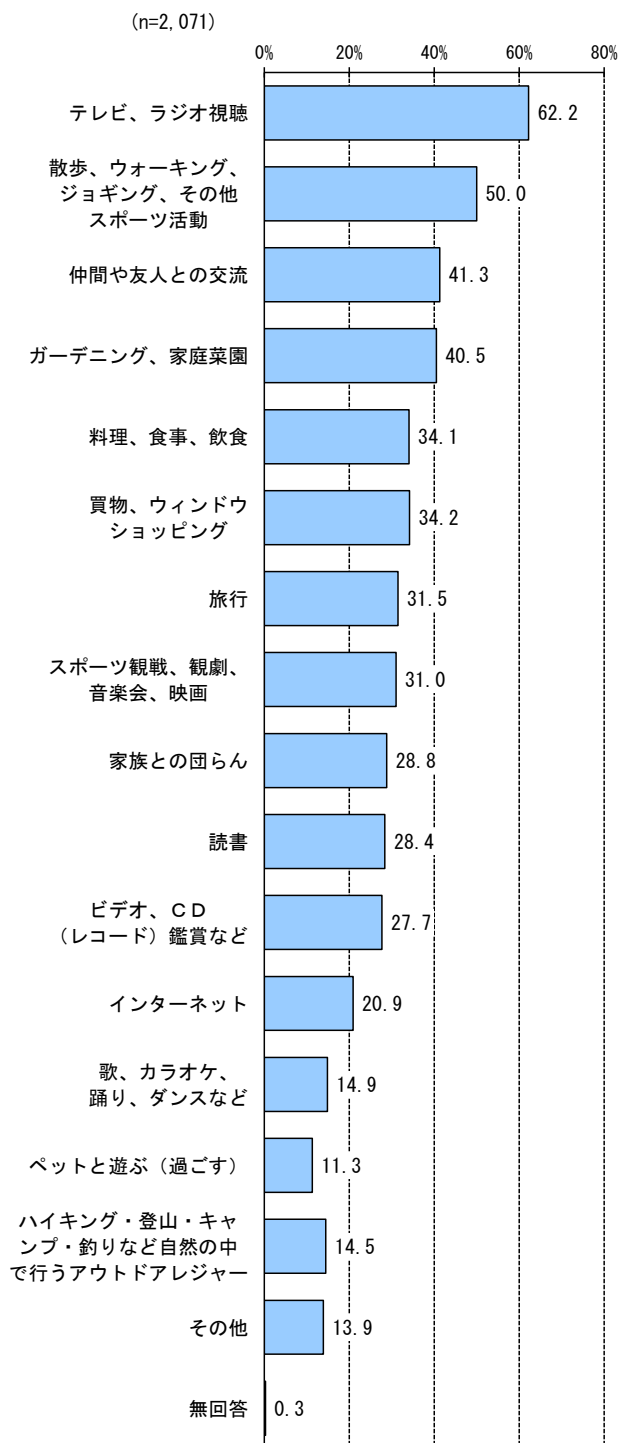
- 趣味の内容について、「テレビ、ラジオ視聴」が 64.1%で最も多く、次いで「散歩、ウォーキング、ジョギング、その他スポーツ活動」が 46.5%、「仲間や友人との交流」が 46.0%となっています。
- 前回調査と比べて、「ハイキング・登山・キャンプ・釣りなど自然の中で行うアウトドア」が 5.4 ポイント少なくなっています。

【趣味の内容】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R4 年度）〕



●問41 生きがいがありますか。(1つだけ)

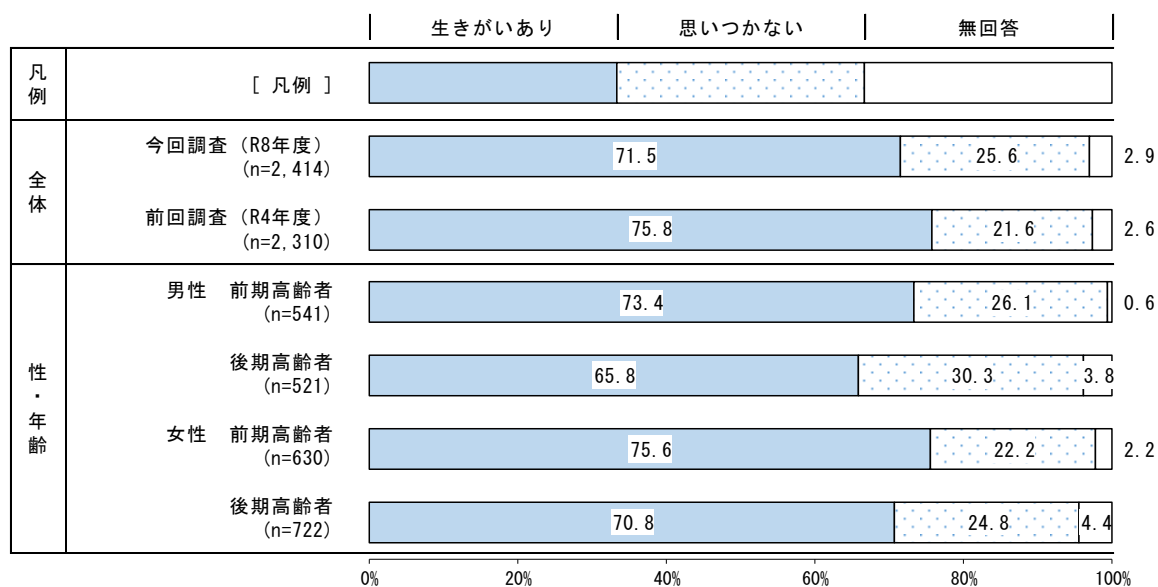
【全体】

- 生きがいの有無について、「生きがいあり」が 71.5%、「思いつかない」が 25.6%となっています。

【性・年齢】

- 男性の後期高齢者は「生きがいあり」が他の区分に比べて少なくなっています。

【生きがいの有無】



【圏域】

○ 三輪北・小野・高平は「生きがいあり」が他の圏域に比べて多くなっています。

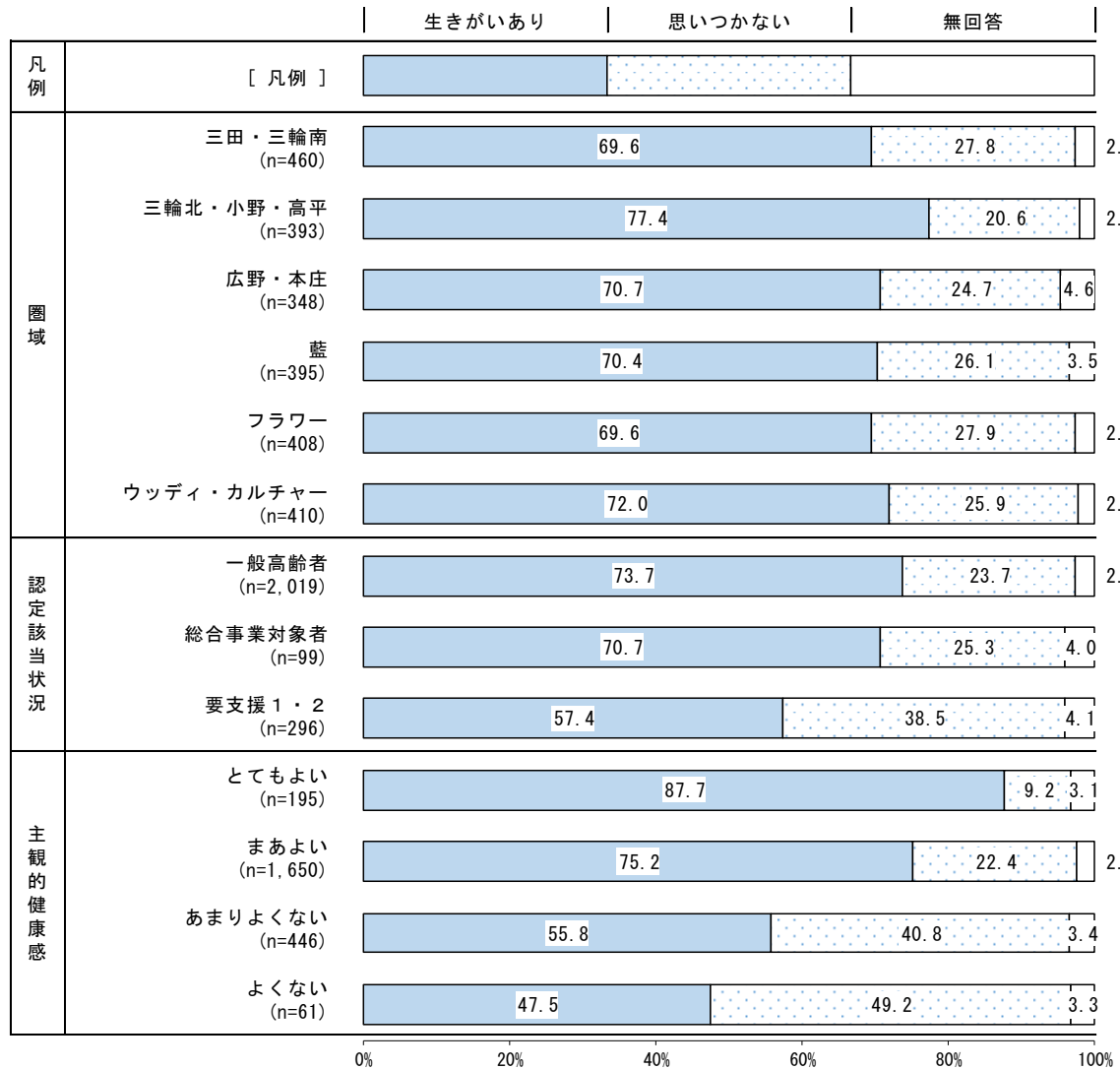
【認定該当状況】

○ 要支援１・２は「思いつかない」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【主観的健康感】

○ 健康感がよい人ほど「生きがいあり」が多くなる傾向がみられます。

【生きがいの有無】



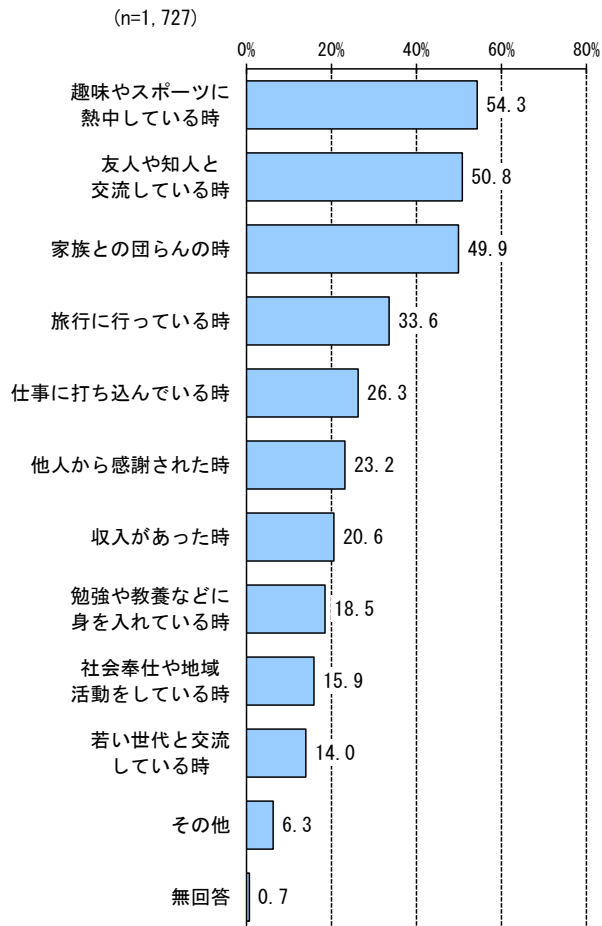
※生きがいありの方は、内容にも○をつけてください。(いくつでも)

【全体】

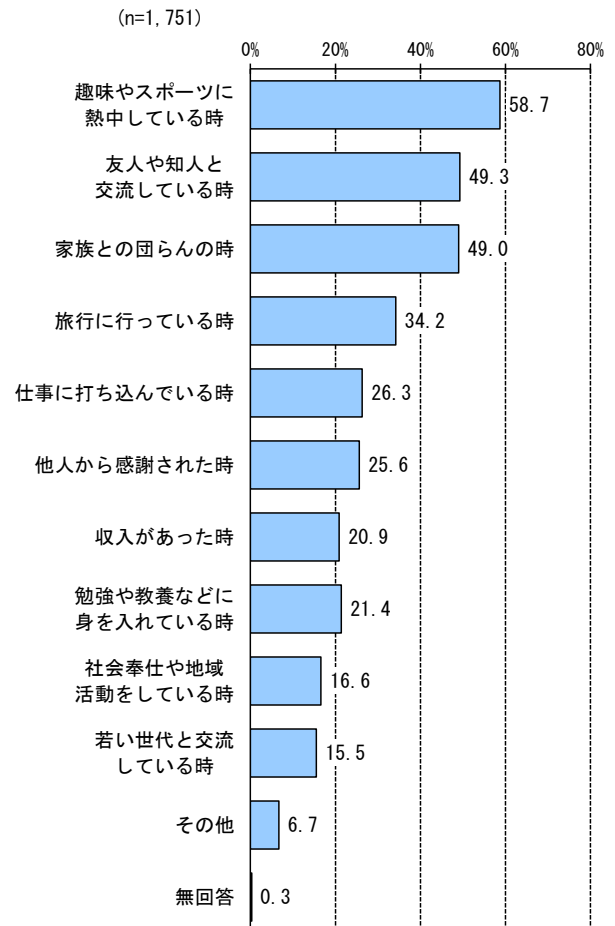
- 生きがいの内容について、「趣味やスポーツに熱中している時」が 54.3%で最も多く、次いで「友人や知人と交流している時」が 50.8%、「家族との団らんの時」が 49.9%となっています。

【生きがいの内容】

〔今回調査（R8 年度）〕



〔前回調査（R4 年度）〕



5. 地域での活動について

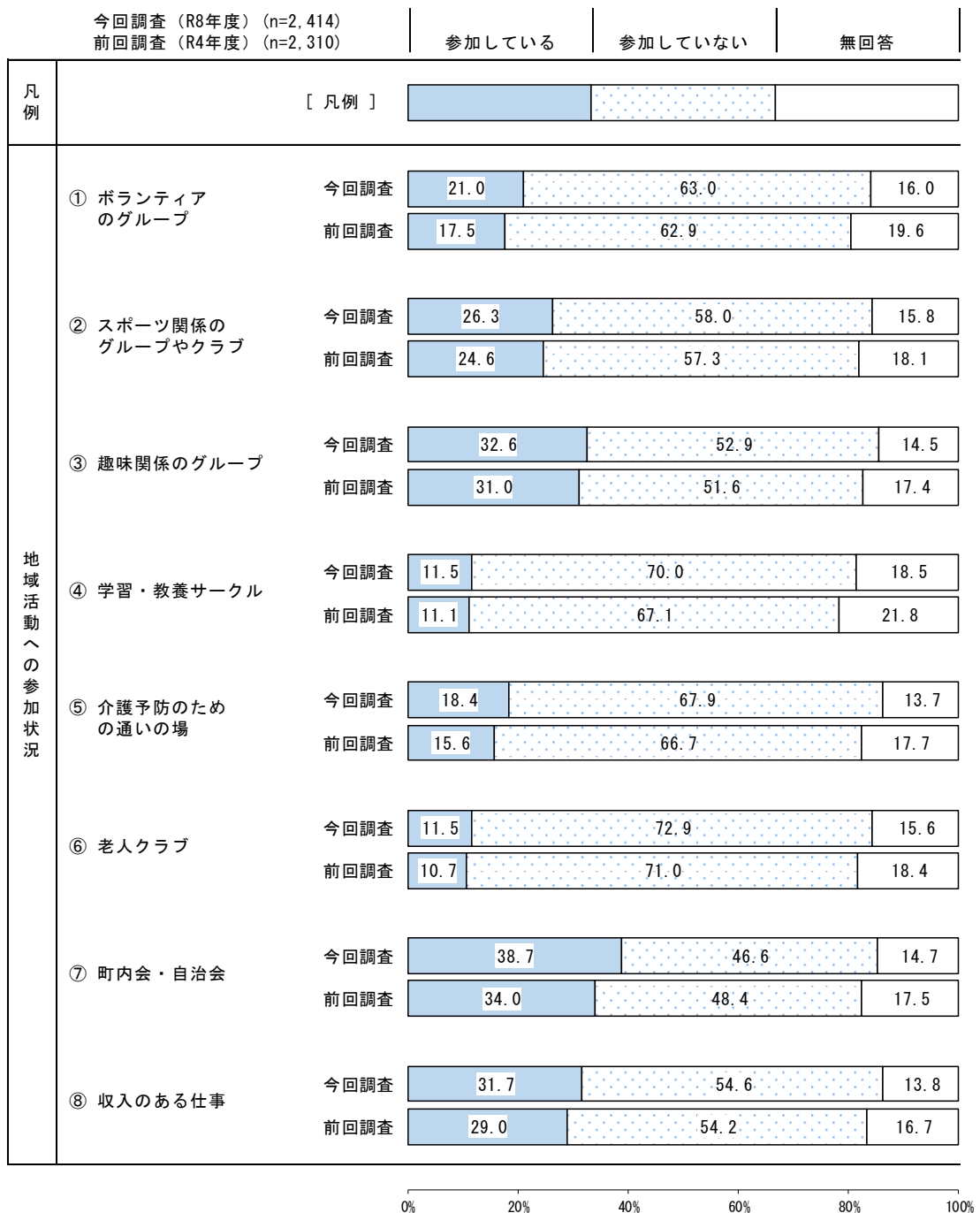
(1) 地域活動への参加状況

- 問42 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。
(①～⑧それぞれ1つ)

【全体】

- 地域活動への参加状況について、「参加している」が最も多い項目は「⑦ 町内会・自治会」で 38.7%、最も低い項目は「④ 学習・教養サークル」「⑥ 老人クラブ」で 11.5%となっています。「参加している」が3割を超えている項目は他に「③ 趣味関係のグループ」「⑧ 収入のある仕事」となっています。

【地域活動への参加状況】



【性・年齢】

- 男性の前期高齢者は「⑧ 収入のある仕事」が他の区分に比べて多くなっています。女性の後期高齢者は「⑤ 介護予防のための通いの場」が他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 三輪北・小野・高平は「① ボランティアのグループ」が他の圏域に比べて多くなっています。広野・本庄は「⑥ 老人クラブ」「⑦ 町内会・自治会」が他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者は「⑦町内会・自治会」が要支援１・２に比べて多くなっています。
- 総合事業対象者は「⑤ 介護予防のための通いの場」が一般高齢者に比べて多く、「⑧ 収入のある仕事」が少なくなっています。要支援１・２は「④学習・教養サークル」が総合事業対象者に比べてが少なくなっています。

単位：％

		母数	地域活動への参加状況							
			① ボランティアのグ ループ	② スポーツやク ラブ関係のグ ループ	③ 趣味 関係のグ ループ	④ 学習・ 教養サ ークル	⑤ 介護 予防の ための通 い場	⑥ 老人ク ラブ	⑦ 町内会・自治 会	⑧ 収入のある 仕事
全体		2,414	21.0	26.3	32.6	11.5	18.4	11.5	38.7	31.7
性・ 年 齢	男性 前期高齢者	541	23.5	27.9	31.6	10.2	▼ 5.4	7.4	48.1	△ 56.7
	後期高齢者	521	23.6	22.8	31.3	9.2	15.7	13.8	39.9	25.0
	女性 前期高齢者	630	19.0	27.9	34.1	13.5	13.7	4.4	38.1	41.1
	後期高齢者	722	19.0	26.0	33.1	12.5	△ 34.3	19.0	31.3	▼ 9.6
圏 域	三田・三輪南	460	20.2	21.7	31.3	9.8	19.3	10.2	40.9	28.5
	三輪北・小野・高平	393	△ 31.6	24.4	29.5	13.2	24.7	18.6	48.6	35.9
	広野・本庄	348	20.4	20.7	28.7	10.3	21.8	△ 21.6	△ 53.7	34.5
	藍	395	22.8	28.4	34.9	10.9	14.7	9.4	39.5	34.7
	フラワー	408	17.9	29.4	35.3	13.7	17.9	5.9	▼ 27.5	28.4
	ウッディ・カルチャー	410	13.7	32.7	35.6	11.2	12.7	5.1	▼ 24.4	29.3
当 認 状 況 該	一般高齢者	2,019	22.1	28.0	33.3	12.0	14.2	10.0	41.5	36.6
	総合事業対象者	99	24.2	22.2	39.4	18.2	△ 73.7	△ 29.3	35.4	▼ 4.0
	要支援１・２	296	12.5	▼ 15.9	26.0	5.7	△ 29.1	15.9	▼ 20.9	▼ 7.8

(2) 地域づくりへの参加意向

- 問43 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ)

【全体】

- 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が51.0%で最も多く、次いで「参加したくない」が32.1%、「既に参加している」が6.5%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は56.4%となっています。

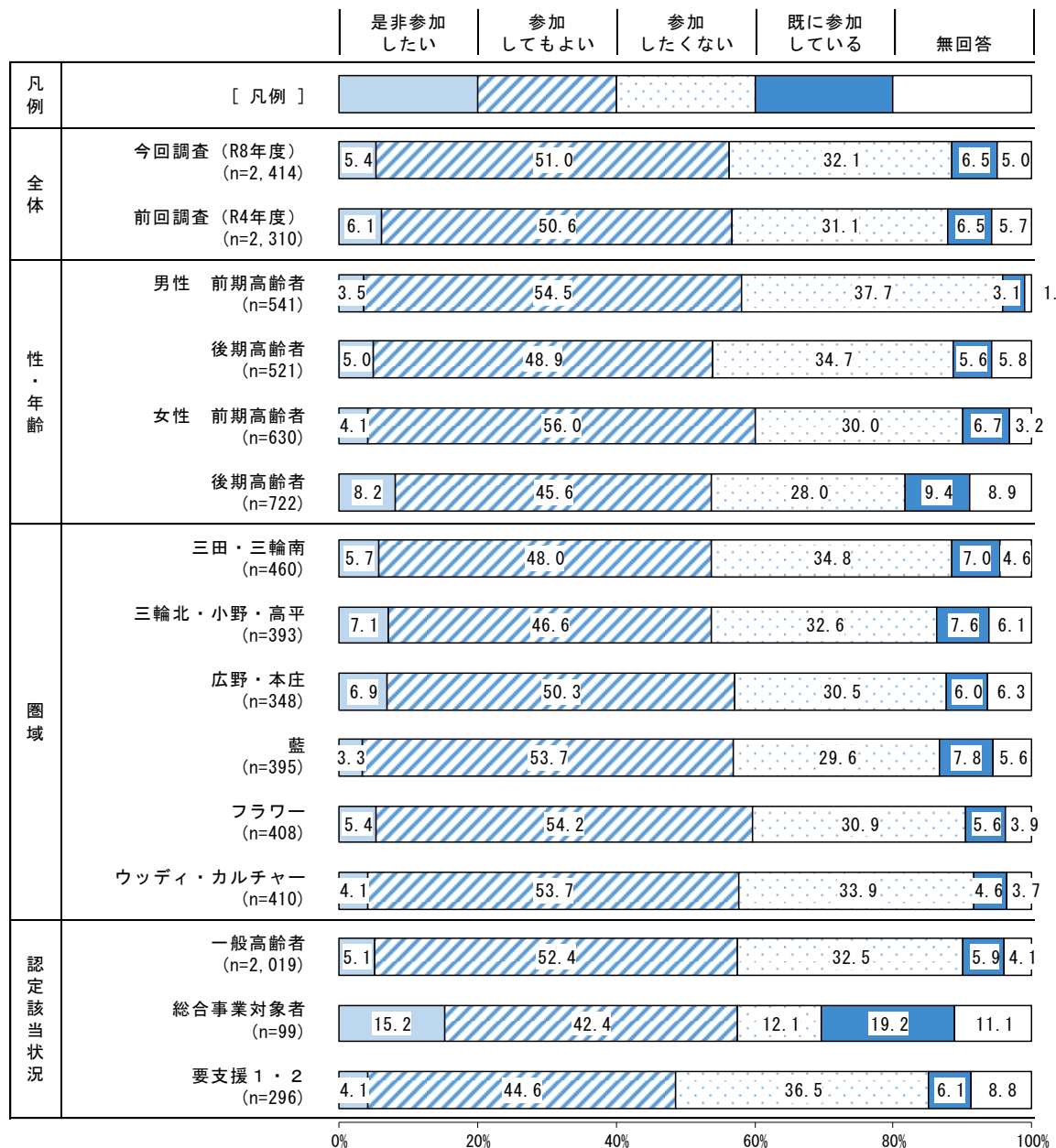
【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では“参加意向がある方”が約6割、後期高齢者では約5割となっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者は「既に参加している」が19.2%と一般高齢者に比べて多くなっています。

【地域づくり活動に対する参加者としての参加意向】



- 問44 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つだけ）

【全体】

- 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が58.4%で最も多く、次いで「参加してもよい」が30.2%、「既に参加している」が3.9%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は31.9%となっています。

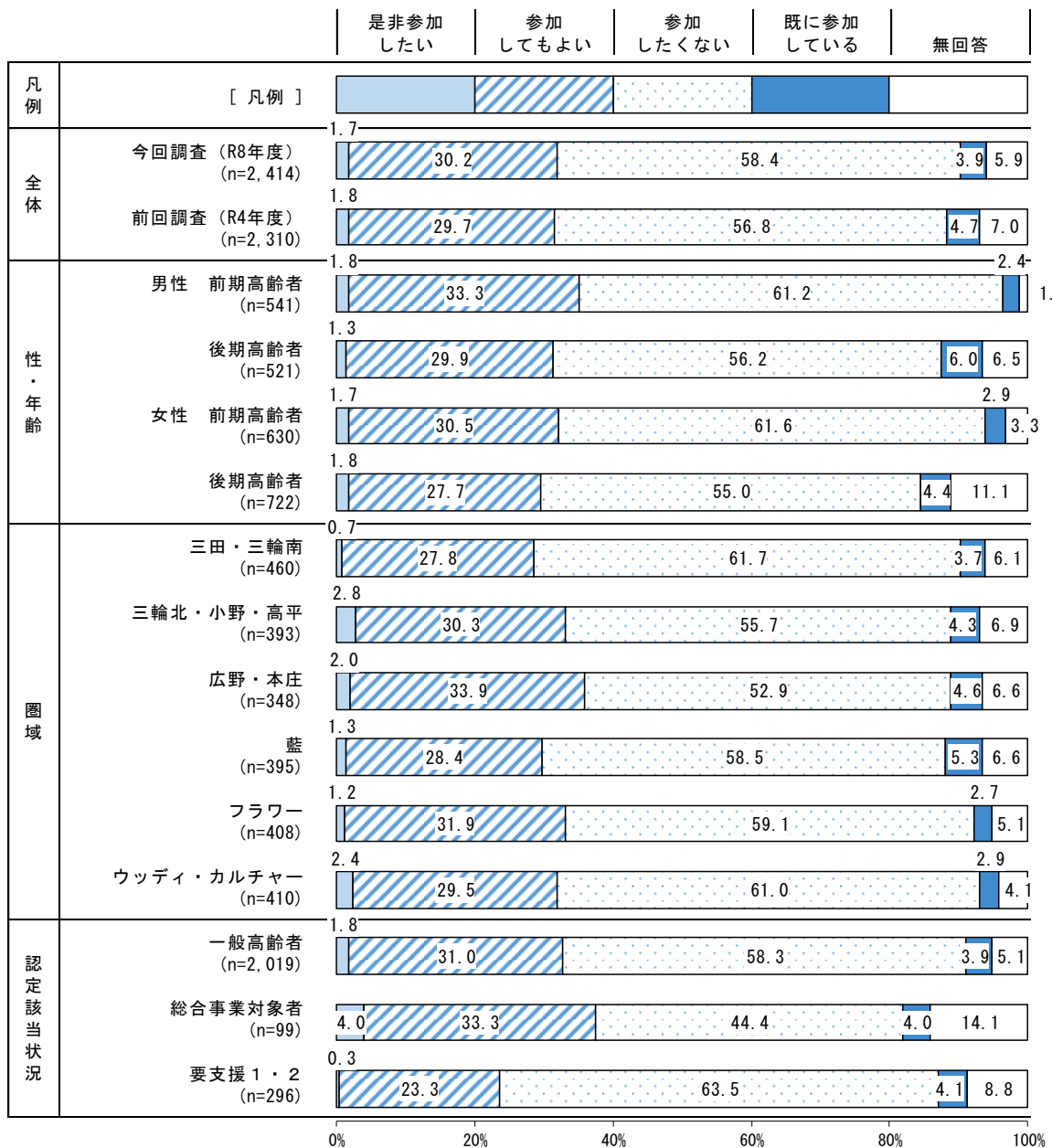
【圏域】

- 広野・本庄は「参加したくない」が他の圏域に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2は「参加したくない」が総合事業対象者に比べて多くなっています。

【地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向】



(3) 就労状態

●問45 現在のあなたの就労状態はどれですか。(いくつでも)

【全体】

- 就労状態について、「引退した」が47.6%で最も多く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が17.9%、「その他」が9.4%となっています。

【性・年齢】

- 男性の前期高齢者は「常勤（フルタイム）」が他の区分に比べて多くなっています。男性の後期高齢者は「引退した」が他の区分に比べて多くなっています。女性の前期高齢者は「非常勤（パート・アルバイト等）」が他の区分に比べて多くなっています。

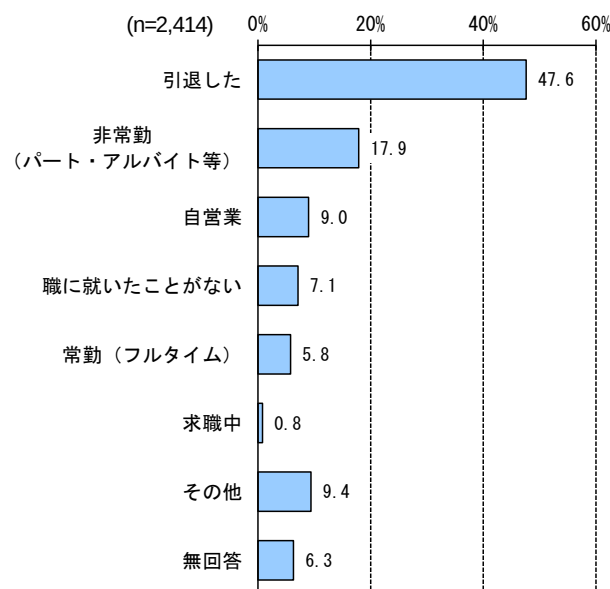
【圏域】

- 三輪北・小野・高平、広野・本庄は「自営業」が他の圏域に比べて多くなっています。藍は「非常勤（パート・アルバイト等）」が他の圏域に比べて多くなっています。フラワーは「引退した」が他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者、要支援1・2は「引退した」が一般高齢者に比べて多く、「非常勤（パート・アルバイト等）」が少なくなっています。

【就労状態】



単位：％										
		母数	就労状態							
			引退した	（非常勤パート・アルバイト等）	自営業	職に就かない	常勤（フルタイム）	求職中	その他	無回答
全体		2,414	47.6	17.9	9.0	7.1	5.8	0.8	9.4	6.3
性・年齢	男性 前期高齢者	541	41.4	△ 29.4	10.5	1.5	△ 16.8	1.5	3.5	0.7
	後期高齢者	521	△ 58.0	10.2	12.7	5.8	2.9	0.4	7.9	5.8
	女性 前期高齢者	630	42.9	△ 29.8	7.3	4.1	4.4	1.3	12.4	2.4
	後期高齢者	722	49.0	▼ 4.3	6.8	14.8	0.8	0.3	12.5	14.1
圏域	三田・三輪南	460	50.4	15.0	11.1	7.6	5.0	1.1	7.4	6.5
	三輪北・小野・高平	393	41.7	17.3	15.0	6.9	6.4	0.5	10.4	8.1
	広野・本庄	348	44.3	17.8	14.4	6.0	4.9	1.1	11.8	5.5
	藍	395	44.8	24.8	5.8	5.6	5.1	0.8	7.6	7.3
	フラワー	408	53.9	15.0	3.9	8.1	7.8	0.7	7.4	5.4
	ウッディ・カルチャー	410	49.5	17.8	4.6	8.0	5.6	0.7	12.7	4.6
当認定状況該	一般高齢者	2,019	45.2	21.1	10.0	6.4	6.8	0.9	9.0	5.0
	総合事業対象者	99	△ 57.6	▼ 1.0	1.0	9.1	－	－	12.1	21.2
	要支援１・２	296	△ 60.8	▼ 1.7	5.1	11.1	1.0	0.7	11.8	10.1

6. たすけあいについて

(1) 周囲との相互の関係

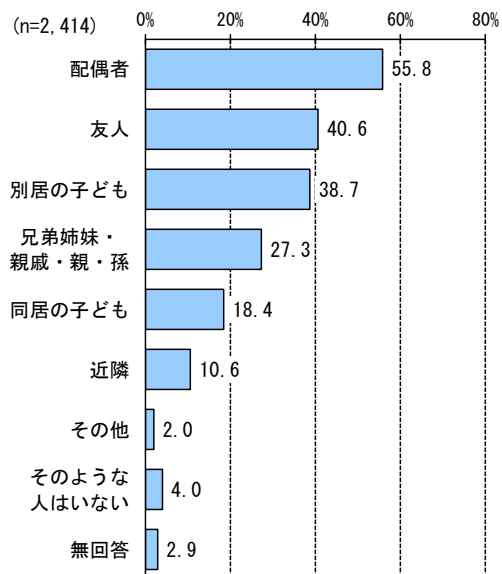
●問46 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人。(いくつでも)

【全体】

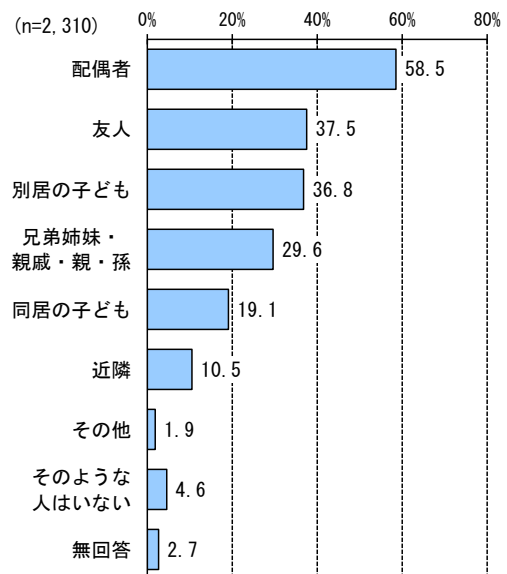
- 心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が55.8%で最も多く、次いで「友人」が40.6%、「別居の子ども」が38.7%となっています。

【心配事や愚痴を聞いてくれる人】

〔今回調査（R8年度）〕



〔前回調査（R4年度）〕



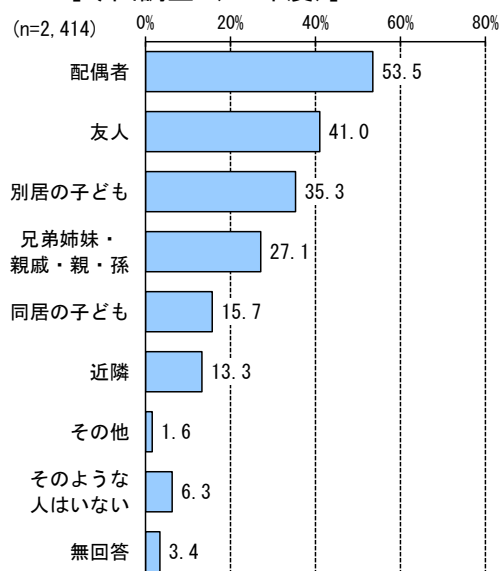
●問47 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人。(いくつでも)

【全体】

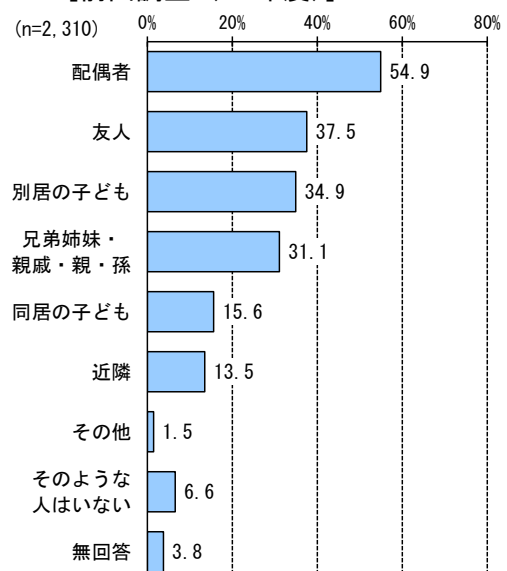
- 心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が53.5%で最も多く、次いで「友人」が41.0%、「別居の子ども」が35.3%となっています。

【心配事や愚痴を聞いてあげる人】

〔今回調査（R8年度）〕



〔前回調査（R4年度）〕



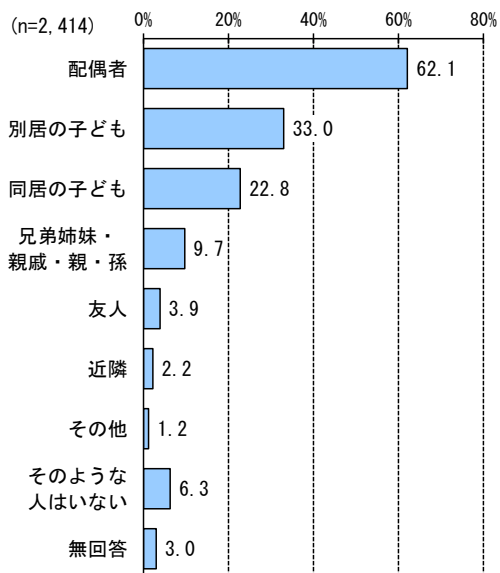
●問48 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(いくつでも)

【全体】

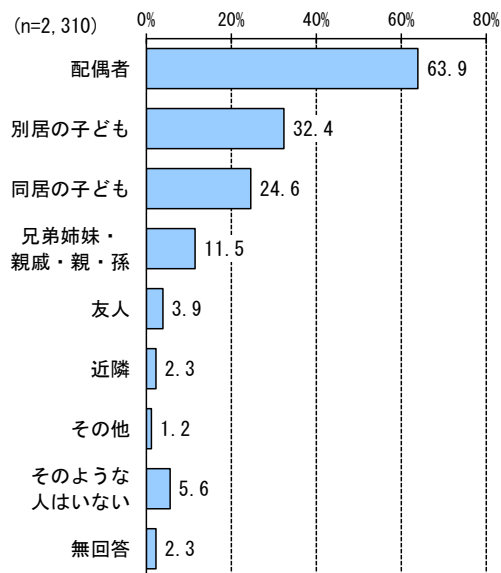
- 看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が 62.1%で最も多く、次いで「別居の子ども」が 33.0%、「同居の子ども」が 22.8%となっています。

【看病や世話をしてくれる人】

〔今回調査 (R8 年度)〕



〔前回調査 (R4 年度)〕



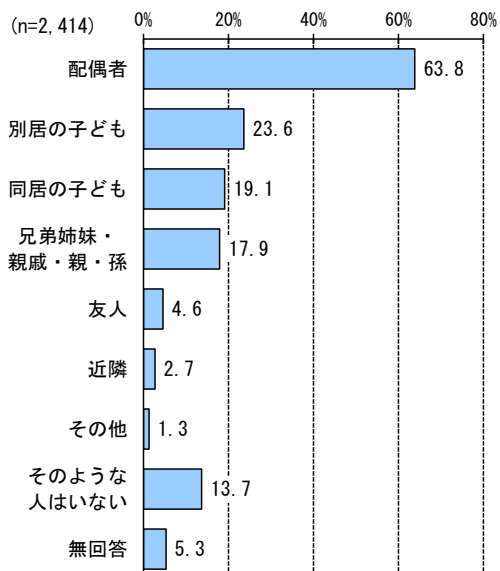
●問49 反対に、看病や世話をしてあげる人。(いくつでも)

【全体】

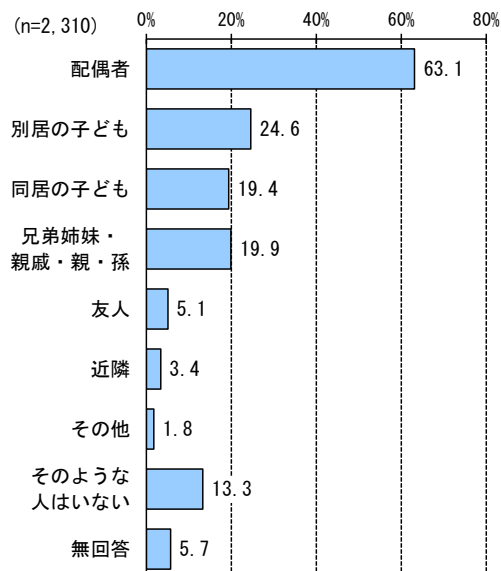
- 看病や世話をしてあげる人について、「配偶者」が 63.8%で最も多く、次いで「別居の子ども」が 23.6%、「同居の子ども」が 19.1%となっています。

【看病や世話をしてあげる人】

〔今回調査 (R8 年度)〕



〔前回調査 (R4 年度)〕



◆たすけあいについて

●算出方法

4項目それぞれ下記に該当する場合を1点とし、4項目の合計を算出しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
46	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人。	8. そのような人はいない 以外
47	反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人。	8. そのような人はいない 以外
48	あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人。	8. そのような人はいない 以外
49	反対に、看病や世話をしてあげる人。	8. そのような人はいない 以外

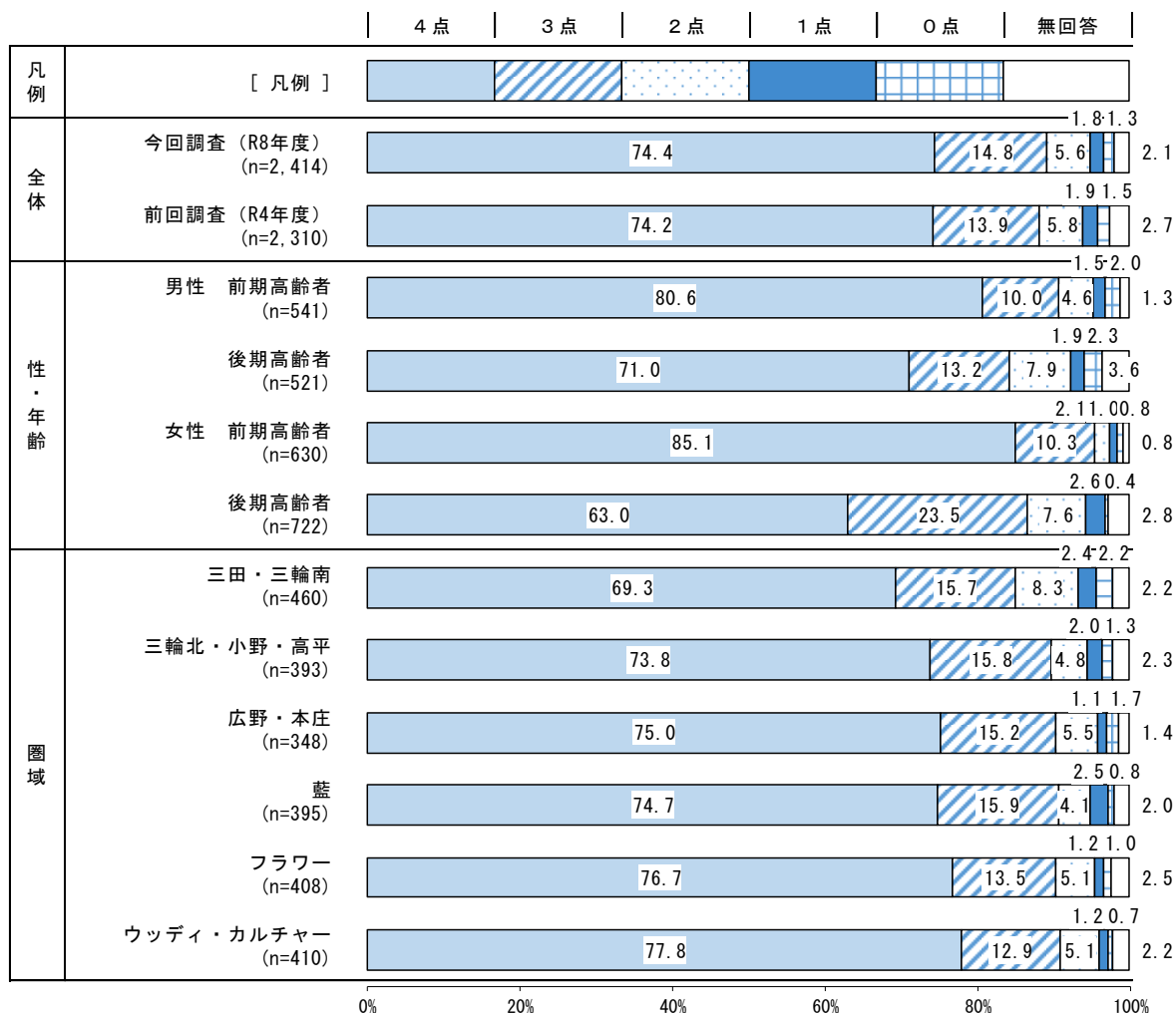
【全体】

- たすけあいの合計点について、「4点」が74.4%で最も多く、次いで「3点」が14.8%、「2点」が5.6%となっています。

【性・年齢】

- 女性の前期高齢者は「4点」が他の区分に比べて多くなっています。

【たすけあいの合計点】



【認定該当状況】

- 一般高齢者は、「4点」が78.3%であるのに対し、要支援1・2では54.7%となっています。

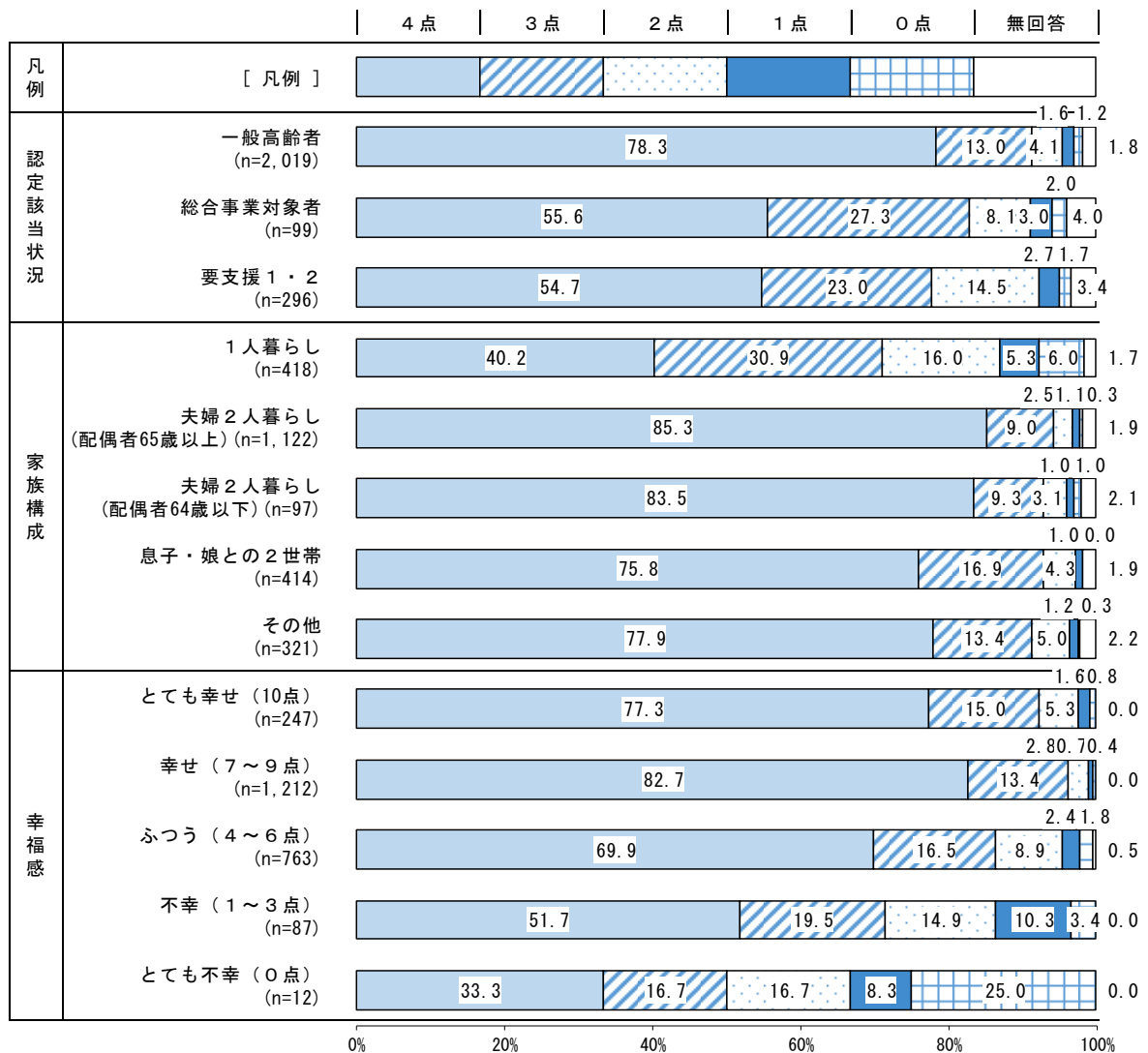
【家族構成】

- 1人暮らしは「3点」「2点」が他の家族構成に比べて多くなっています。夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）は「4点」が他の家族構成に比べて多くなっています。

【幸福感】

- とても幸せ（10点）、幸せ（7～9点）と感じている方では、「4点」が約8割と他の区分に比べて多くなっています。

【たすけあいの合計点】



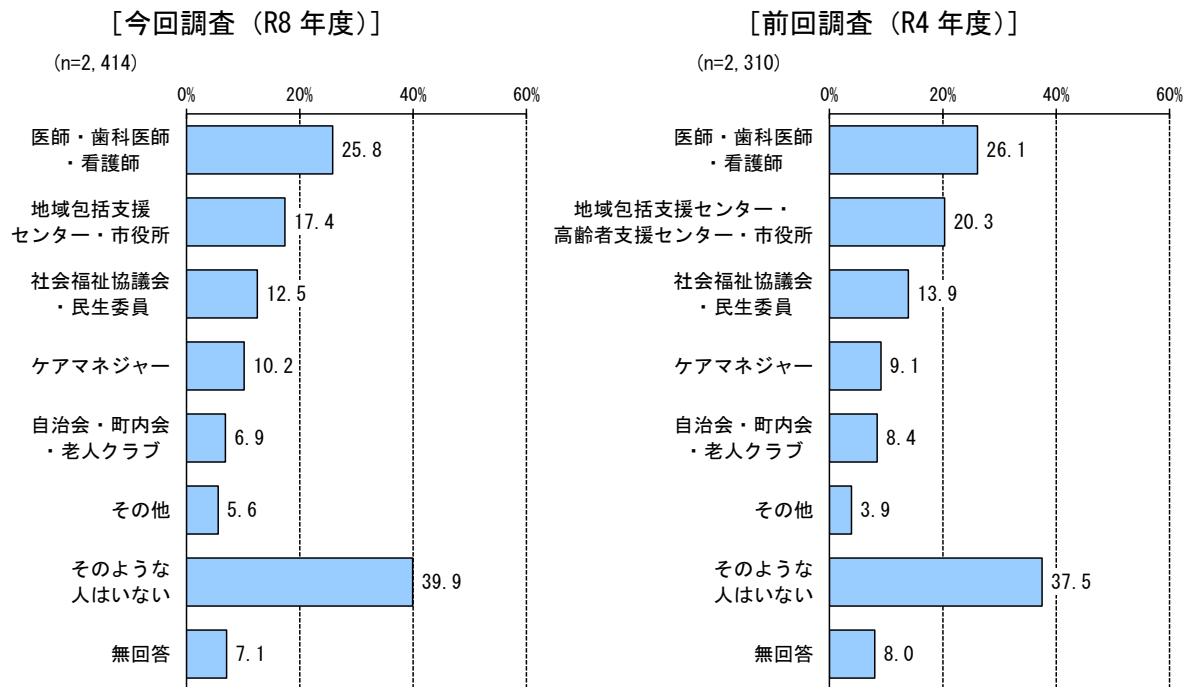
(2) 家族や友人・知人以外の相談相手

- 問50 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(いくつでも)

【全体】

- 何かあったときの相談相手について、「そのような人はいない」が 39.9%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 25.8%、「地域包括支援センター・市役所」が 17.4%となっています。

【何かあったときの相談相手】



【性・年齢】

- 男性の前期高齢者は「そのような人はいない」が他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 三輪北・小野・高平は「社会福祉協議会・民生委員」が他の圏域に比べて多くなっています。ウッディ・カルチャーは「自治会・町内会・老人クラブ」が他の圏域に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者は「社会福祉協議会・民生委員」「地域包括支援センター・市役所」が一般高齢者に比べて多く、「そのような人はいない」が少なくなっています。要支援１・２は「ケアマネジャー」が一般高齢者に比べて多くなっています。

単位：％

		母数	何かあったときの相談相手							
			師 医 師・ 歯科 医師・ 看護	地 域 ！ 包 ・ 括 市 役 所 支 援 セ ン	委 員 社 会 福 祉 協 議 会 ・ 民 生	ケ ア マ ネ ジ ャ ー	ク 自 ラ 治 プ 会 ・ 町 内 会 ・ 老 人	そ の 他	そ の よ う な 人 は い な い	無 回 答
全体		2,414	25.8	17.4	12.5	10.2	6.9	5.6	39.9	7.1
性・ 年 齢	男性 前期高齢者	541	28.1	11.1	5.0	5.4	8.3	5.2	△ 52.9	2.0
	後期高齢者	521	27.4	16.9	16.9	10.7	10.6	3.6	35.9	8.6
	女性 前期高齢者	630	24.8	15.4	8.3	7.5	3.2	7.1	48.1	4.4
	後期高齢者	722	23.7	24.1	18.7	15.8	6.5	6.1	▼ 25.9	12.2
圏 域	三田・三輪南	460	28.7	20.0	15.9	11.5	8.3	5.2	33.3	8.7
	三輪北・小野・高平	393	21.4	15.3	18.8	9.2	9.7	5.6	37.9	7.6
	広野・本庄	348	27.6	17.8	11.8	8.9	10.1	6.3	36.2	8.9
	藍	395	21.3	14.7	9.4	8.6	6.6	6.1	45.1	6.8
	フラワー	408	27.5	16.9	11.0	11.5	4.4	4.7	44.1	4.2
	ウッディ・カルチャー	410	27.8	19.0	7.8	11.0	2.9	6.1	43.2	6.6
当 認 状 定 況 該	一般高齢者	2,019	26.0	15.0	11.3	6.5	6.9	5.9	43.2	6.7
	総合事業対象者	99	26.3	△ 31.3	△ 34.3	10.1	10.1	9.1	▼ 13.1	13.1
	要支援１・２	296	24.0	△ 28.7	13.5	△ 35.1	5.7	2.4	▼ 26.4	7.8

(3) 友人・知人との関係性

●問51 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ)

【全体】

- 友人・知人と会う頻度について、「月に何度かある」が27.7%で最も多く、次いで「週に何度かある」が25.1%、「年に何度かある」が20.4%となっています。

【性・年齢】

- 男性の前期高齢者は「年に何度かある」が他の区分に比べて多くなっています。男性の後期高齢者は「ほとんどない」が他の区分に比べて多くなっています。女性の後期高齢者は「週に何度かある」が他の区分に比べて多くなっています。

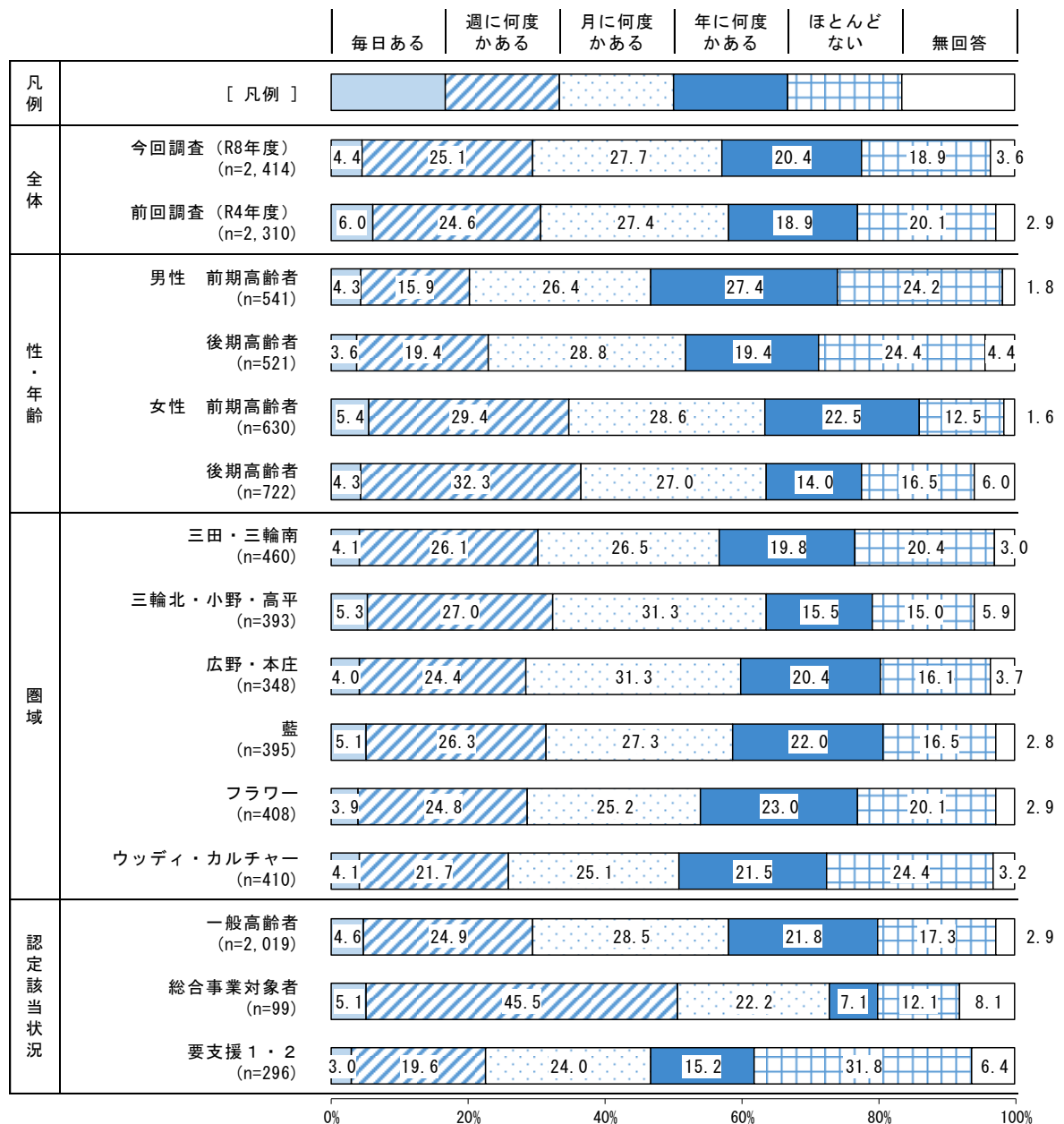
【圏域】

- ウッディ・カルチャーは「ほとんどない」が他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者は「週に何度かある」が要支援1・2に比べて多くなっています。要支援1・2は「ほとんどない」が総合事業対象者に比べて多くなっています。

【友人・知人と会う頻度】



- 問52 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つだけ)

【全体】

- この1か月間で会った友人・知人の数について、「3～5人」が24.6%で最も多く、次いで「1～2人」が24.0%、「10人以上」が20.4%となっています。

【性・年齢】

- 男性の前期高齢者は「0人」が他の区分に比べて多くなっています。

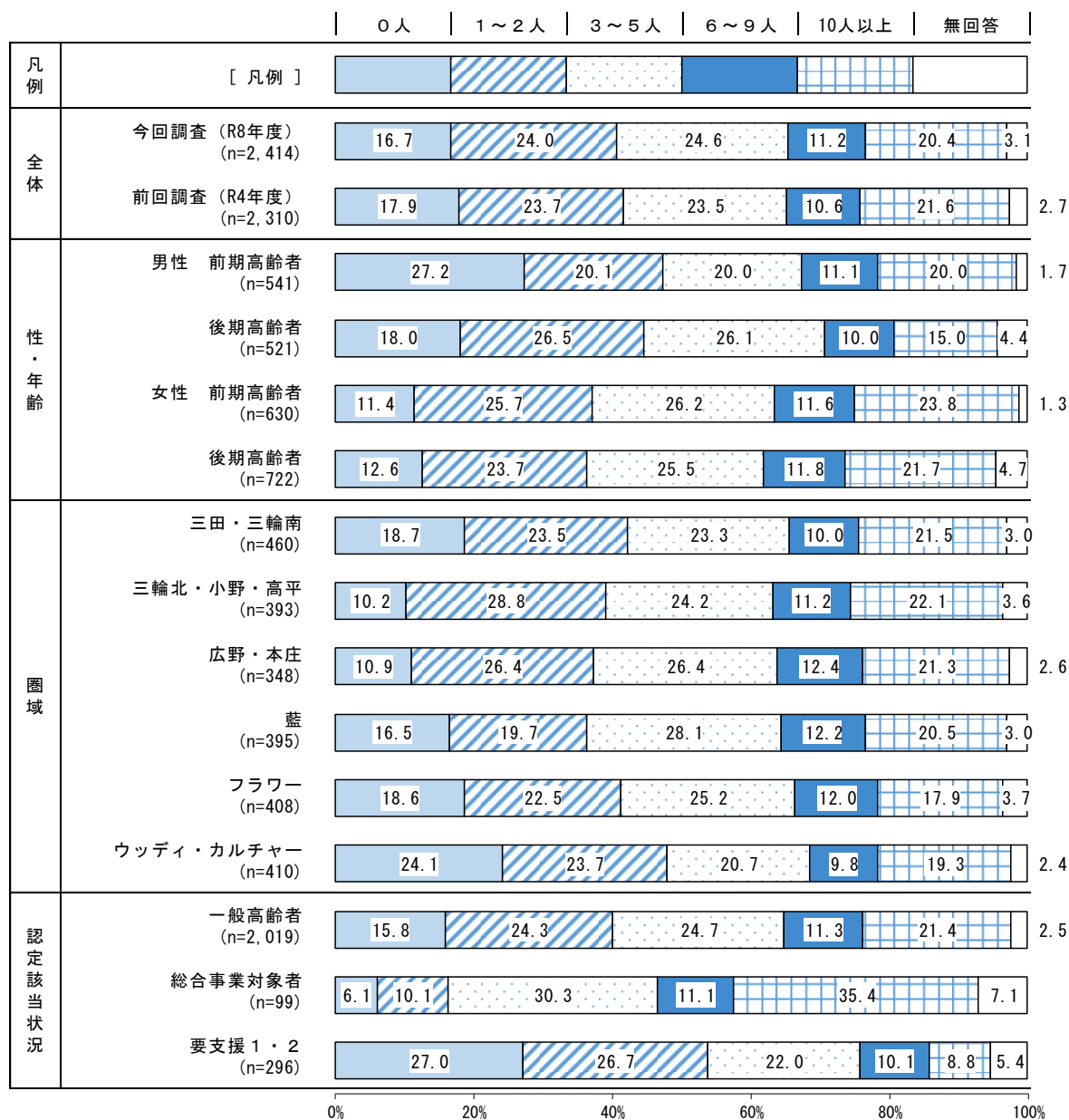
【圏域】

- ウッディ・カルチャーは「0人」が他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者は「10人以上」が要支援1・2に比べて多くなっています。要支援1・2は「0人」が総合事業対象者に比べて多くなっています。

【この1か月間で会った友人・知人の数】



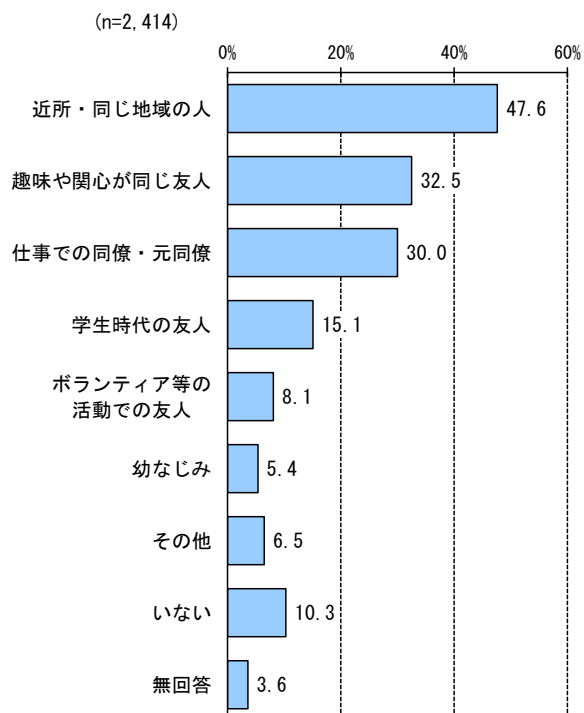
●問53 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

【全体】

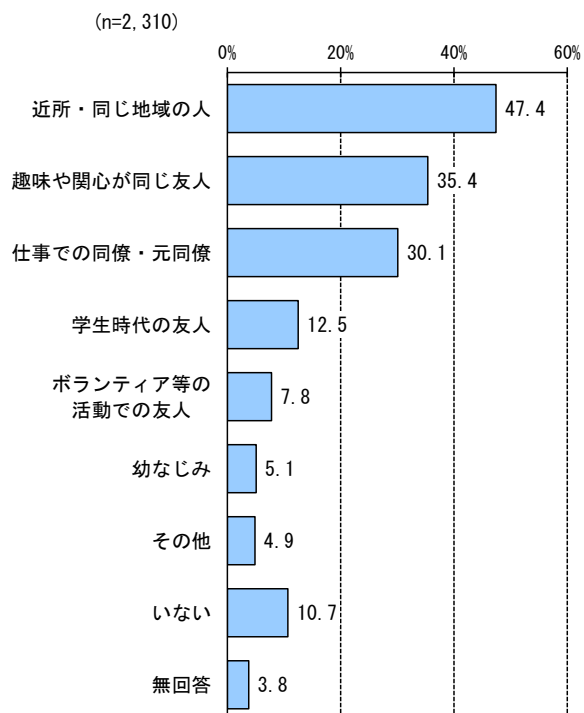
- よく会う友人・知人との関係について、「近所・同じ地域の人」が 47.6%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 32.5%、「仕事での同僚・元同僚」が 30.0%となっています。

【よく会う友人・知人との関係】

[今回調査 (R8 年度)]



[前回調査 (R4 年度)]



【性・年齢】

- 男性の前期高齢者は「仕事での同僚・元同僚」が他の区分に比べて多くなっています。女性の後期高齢者は「近所・同じ地域の人」が他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 三輪北・小野・高平、広野・本庄は「近所・同じ地域の人」が他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者は「近所・同じ地域の人」が一般高齢者に比べて多く、「仕事での同僚・元同僚」が少なくなっています。

単位：％

		母数	よく会う友人・知人との関係								
			近所・同じ地域の 人	人趣味や関心が 同じ友	僚仕事での同僚・元 同	学生時代の友人	動ボランティア等 の活	幼なじみ	その他	いない	無回答
性・年齢	全体	2,414	47.6	32.5	30.0	15.1	8.1	5.4	6.5	10.3	3.6
	男性 前期高齢者	541	▼ 29.0	25.3	△ 46.6	22.7	5.2	6.5	4.8	15.9	1.8
	後期高齢者	521	44.7	27.8	26.5	11.3	7.5	5.4	5.2	13.4	5.4
	女性 前期高齢者	630	50.6	37.8	39.2	20.6	9.4	4.8	6.7	5.9	1.3
	後期高齢者	722	△ 61.1	36.6	▼ 12.0	7.3	9.7	5.1	8.4	7.8	5.8
圏域	三田・三輪南	460	47.0	33.3	24.8	13.3	8.9	5.9	7.0	11.7	3.7
	三輪北・小野・高平	393	△ 59.3	29.5	31.6	13.0	9.9	6.1	6.4	6.9	4.3
	広野・本庄	348	△ 61.5	25.0	34.2	17.0	6.3	6.6	4.9	4.9	3.7
	藍	395	46.6	37.0	30.6	12.9	10.4	6.6	5.6	10.4	2.8
	フラワー	408	40.0	34.8	29.2	15.9	7.8	4.2	6.9	13.7	3.4
	ウッディ・カルチャー	410	▼ 34.1	34.1	31.0	19.0	5.1	3.2	7.8	13.2	3.9
当認 状況 該	一般高齢者	2,019	46.4	33.3	33.5	17.0	8.5	5.8	6.1	9.5	3.1
	総合事業対象者	99	△ 74.7	34.3	▼ 6.1	6.1	11.1	4.0	9.1	4.0	5.1
	要支援１・２	296	47.0	26.0	▼ 13.9	5.4	4.4	3.0	7.8	17.9	7.1

7. 健康について

(1) 健康状態

① 主観的な健康感

●問54 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ)

【全体】

- 主観的健康感について、「まあよい」が 68.4%で最も多く、次いで「あまりよくない」が 18.5%、「とてもよい」が 8.1%となっています。「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい方”は 76.5%となっています。「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない方”は 21.0%となっています。

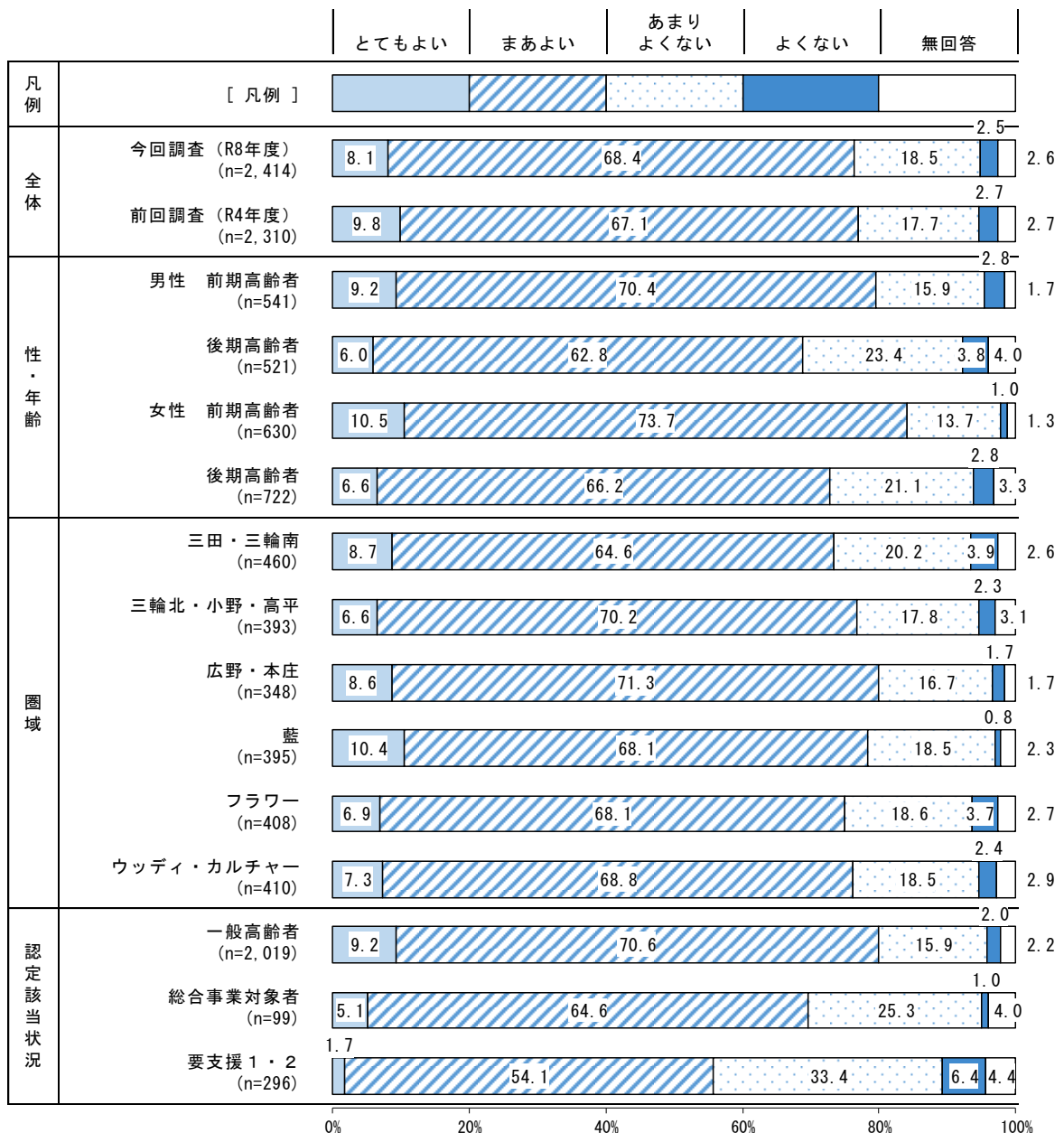
【性・年齢】

- 女性の前期高齢者は「まあよい」が他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2は“よい”が 55.8% “よくない”が 39.8%となっています。

【主観的健康感】



② こころの健康

- 問55 あなたは、現在どの程度幸せですか。1つだけ点数に○をつけてください。
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

【全体】

- 幸福感について、「幸せ（7～9点）」が50.2%で最も多く、次いで「ふつう（4～6点）」が31.6%、「とても幸せ（10点）」が10.2%となっています。

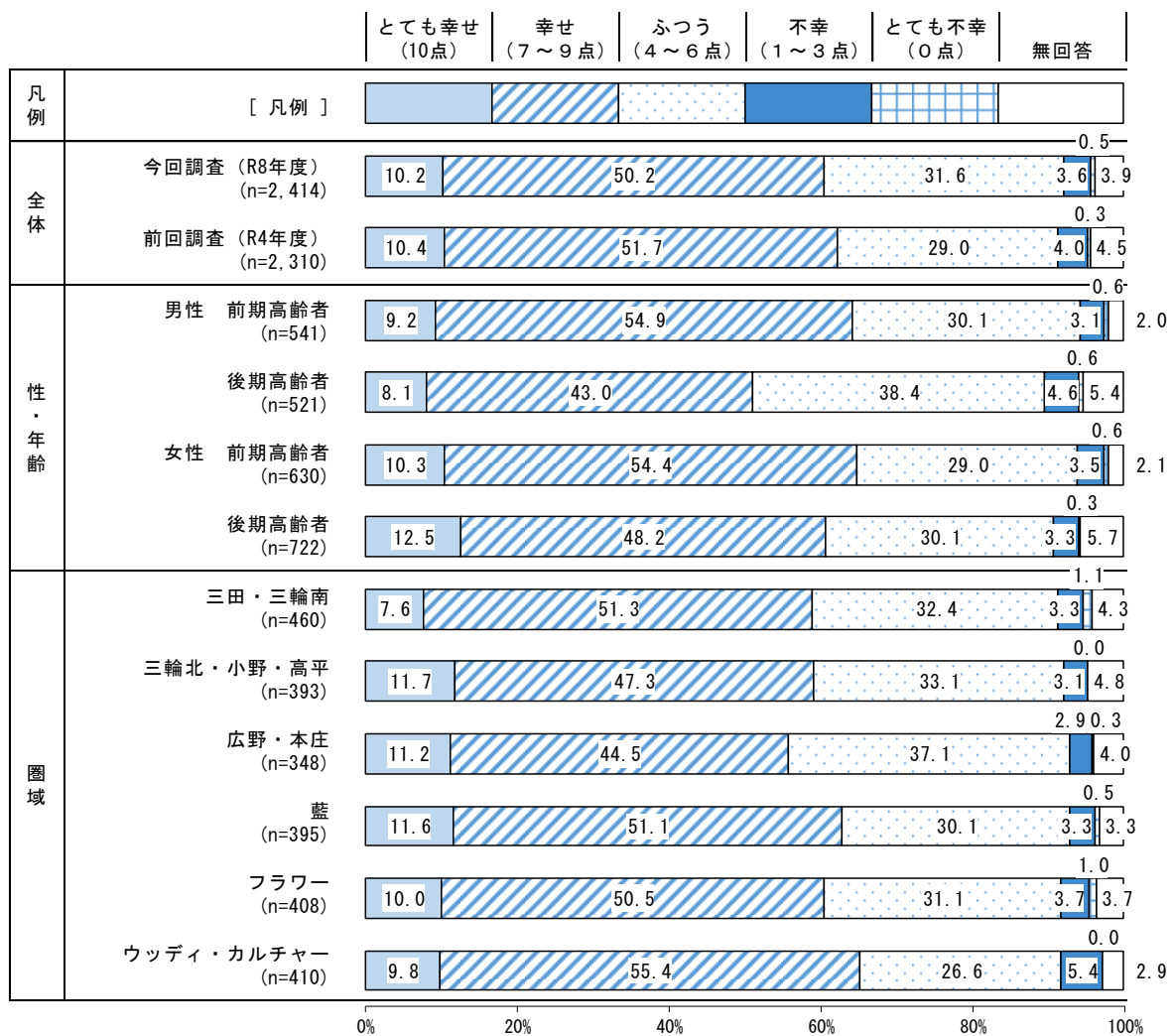
【性・年齢】

- 男性の後期高齢者は「ふつう（4～6点）」が他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 広野・本庄は「ふつう（4～6点）」が他の圏域に比べて多くなっています。ウッディ・カルチャーは「幸せ（7～9点）」が他の圏域に比べて多くなっています。

【幸福感】



【認定該当状況】

- 総合事業対象者は「とても幸せ（10点）」が要支援1・2に比べて多くなっています。要支援1・2は「ふつう（4～6点）」が総合事業対象者に比べて多くなっています。

【趣味の有無】

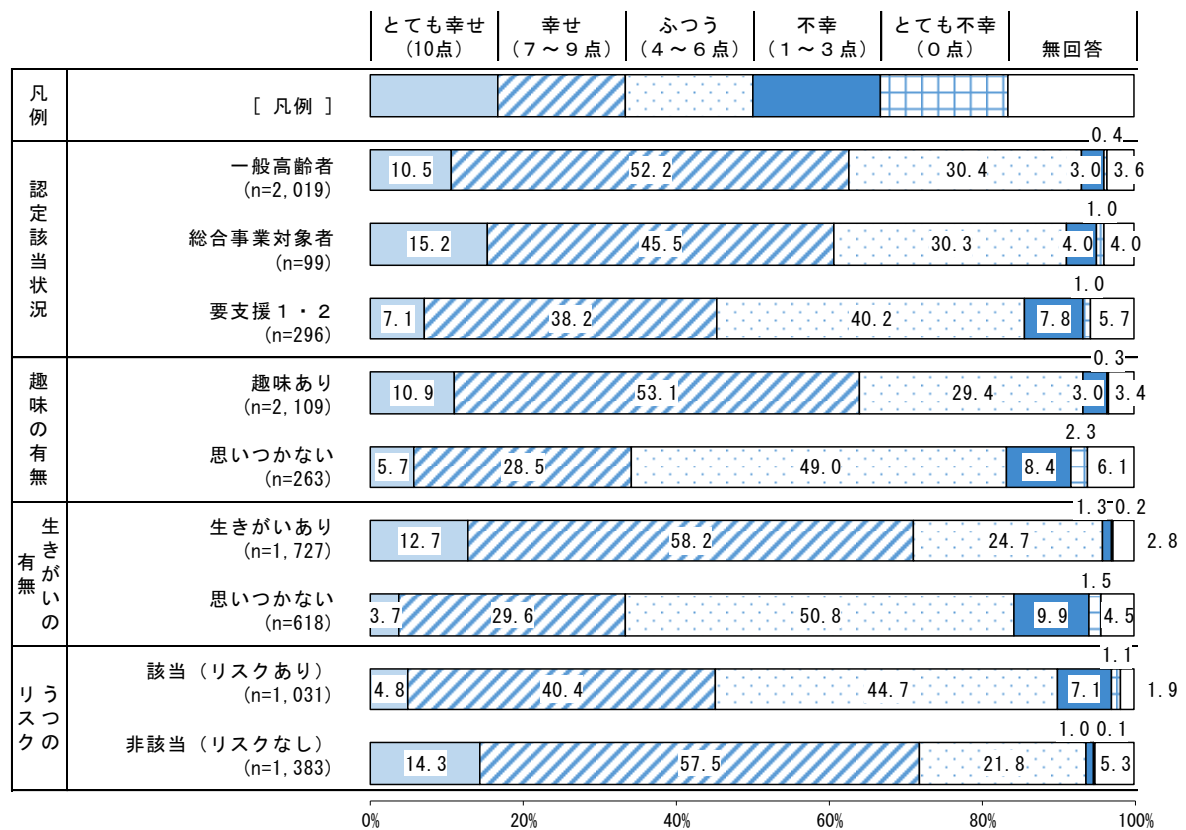
- 思いつかないは「ふつう（4～6点）」が趣味ありより多くなっています。

【生きがいの有無】

- 生きがいありは「幸せ（7～9点）」が思いつかないより多くなっています。思いつかないは「ふつう（4～6点）」「不幸（1～3点）」が生きがいありより多くなっています。

【うつリスク】

- 該当（リスクあり）は「ふつう（4～6点）」が非該当（リスクなし）より多くなっています。非該当（リスクなし）は「幸せ（7～9点）」が該当（リスクあり）より多くなっています。

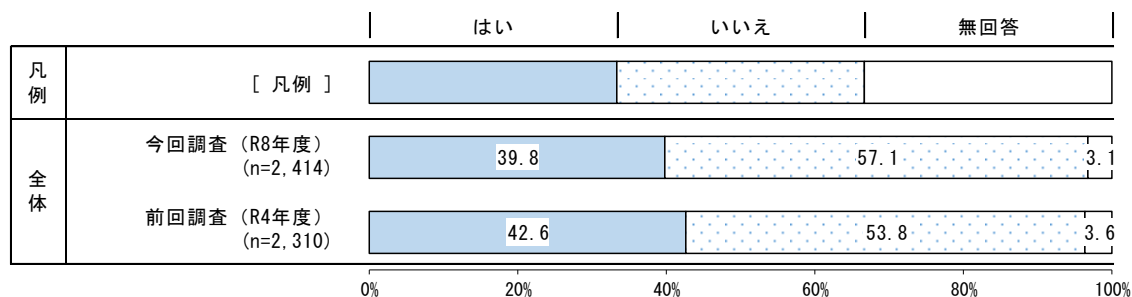


- 問56 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ)

【全体】

- 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が39.8%、「いいえ」が57.1%となっています。

【気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか】

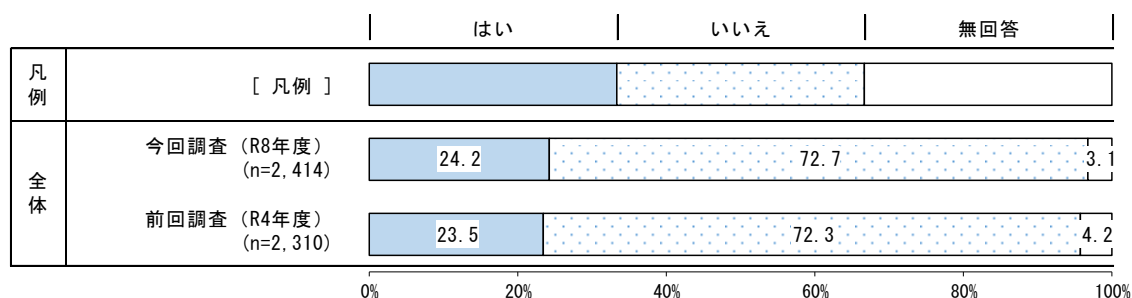


- 問57 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つだけ)

【全体】

- どうしても物事に対して興味がわからない、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が24.2%、「いいえ」が72.7%となっています。

【どうしても物事に対して興味がわからない、心から楽しめない感じがよくあったか】



◆うつつのリスクの判定

●判定方法

2項目のうち1項目に該当する場合、「うつ傾向にある」と判定しました。

問番号	判定設問	該当する選択肢
56	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
57	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

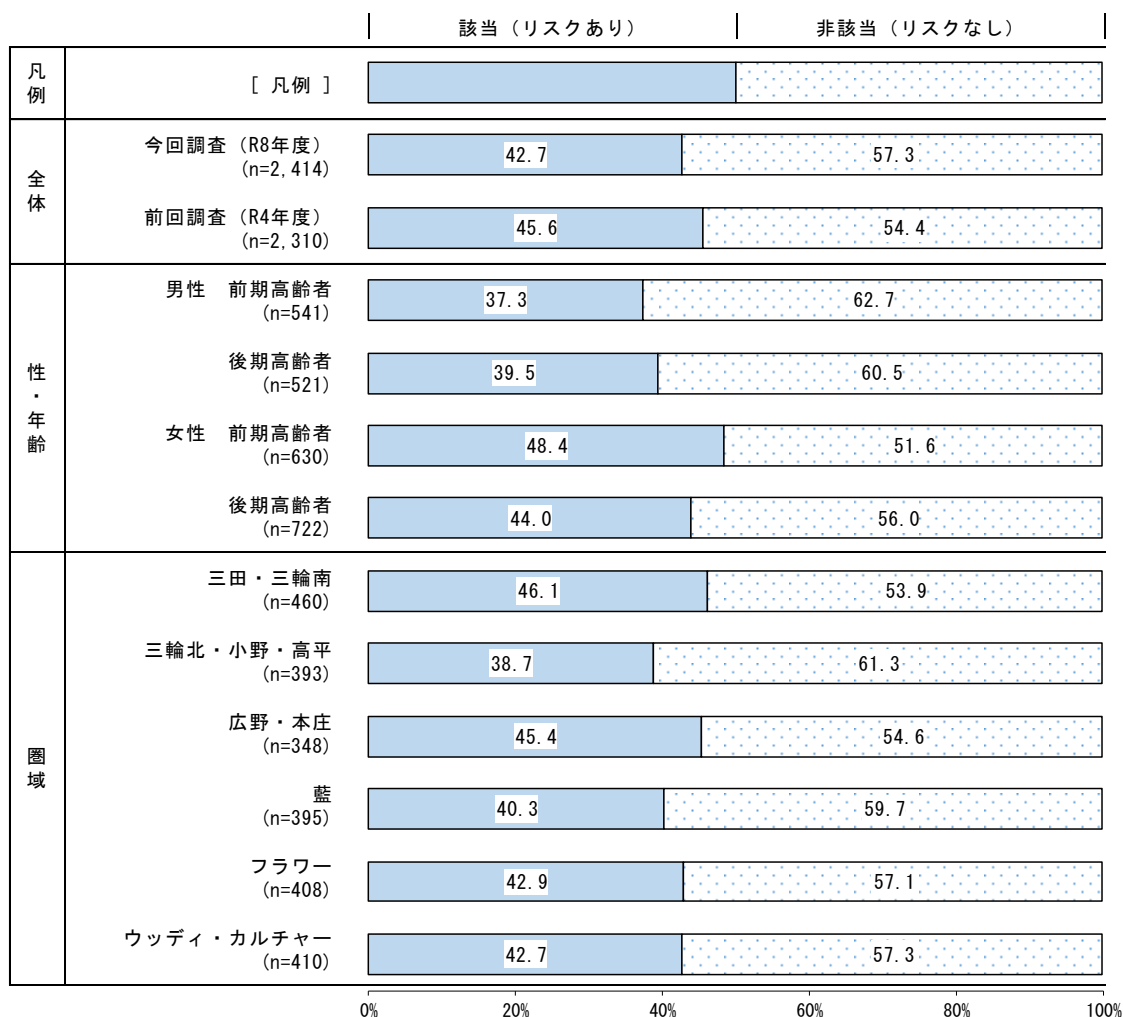
【全体】

- うつつのリスクについて、「該当（リスクあり）」が 42.7%、「非該当（リスクなし）」が 57.3% となっています。

【性・年齢】

- 男性の前期高齢者は「非該当（リスクなし）」が他の区分に比べて多くなっています。女性の前期高齢者は「該当（リスクあり）」が他の区分に比べて多くなっています。

【うつつのリスク】



【認定該当状況】

- 要支援１・２は「該当（リスクあり）」が総合事業対象者に比べて多くなっています。

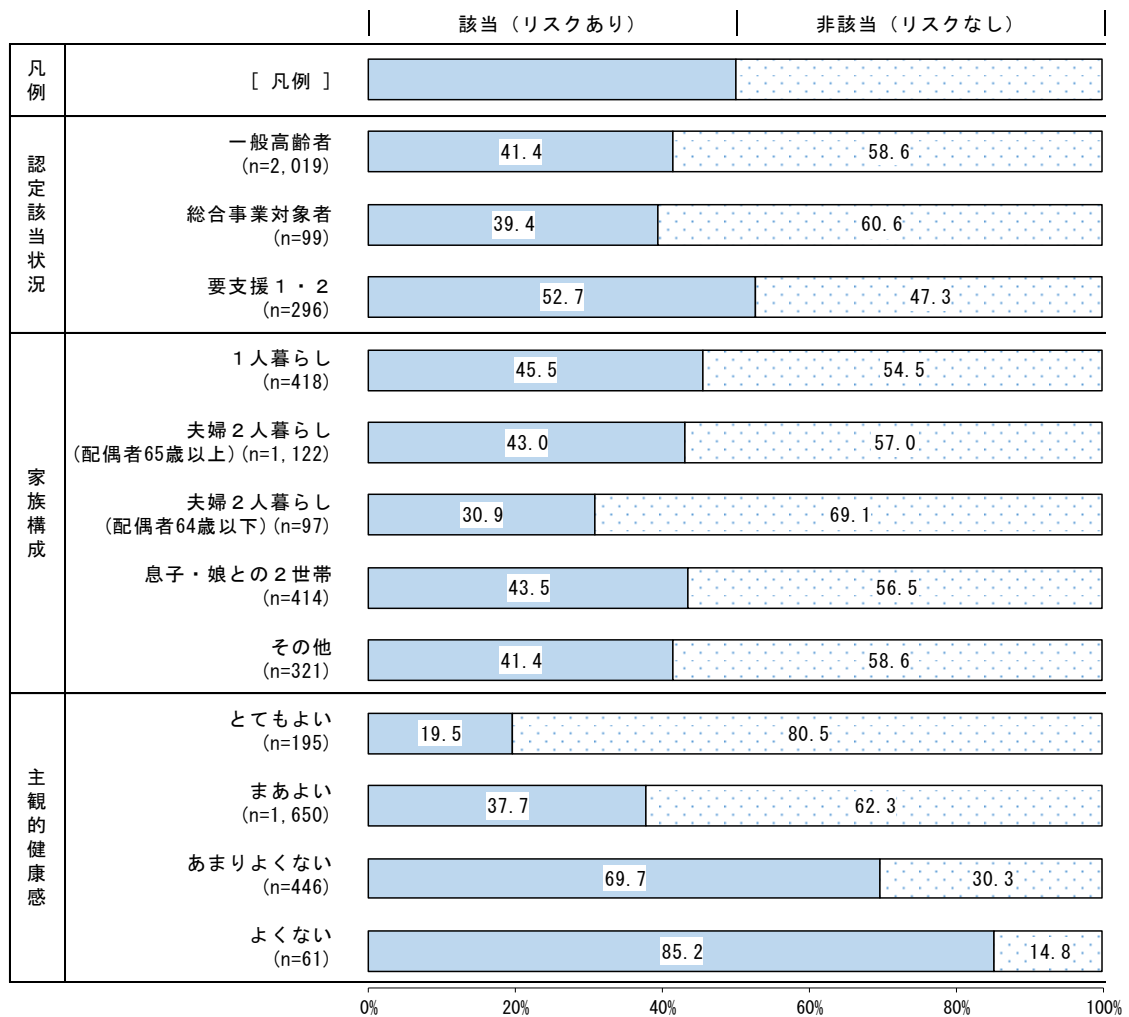
【家族構成】

- 夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）は「非該当（リスクなし）」が他の区分に比べて多くなっています。

【主観的健康感】

- とてもよいは「非該当（リスクなし）」が他の区分に比べて多くなっています。あまりよくない、よくないは「該当（リスクあり）」が他の区分に比べて多くなっています。

【うつリスク】



(2) 飲酒・喫煙

●問58 お酒は飲みますか。(1つだけ)

【全体】

- 飲酒の状況について、「もともと飲まない」が33.9%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が27.3%、「ほぼ毎日飲む」が21.0%となっています。「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」を合わせた“飲酒する方”は36.8%となっています。

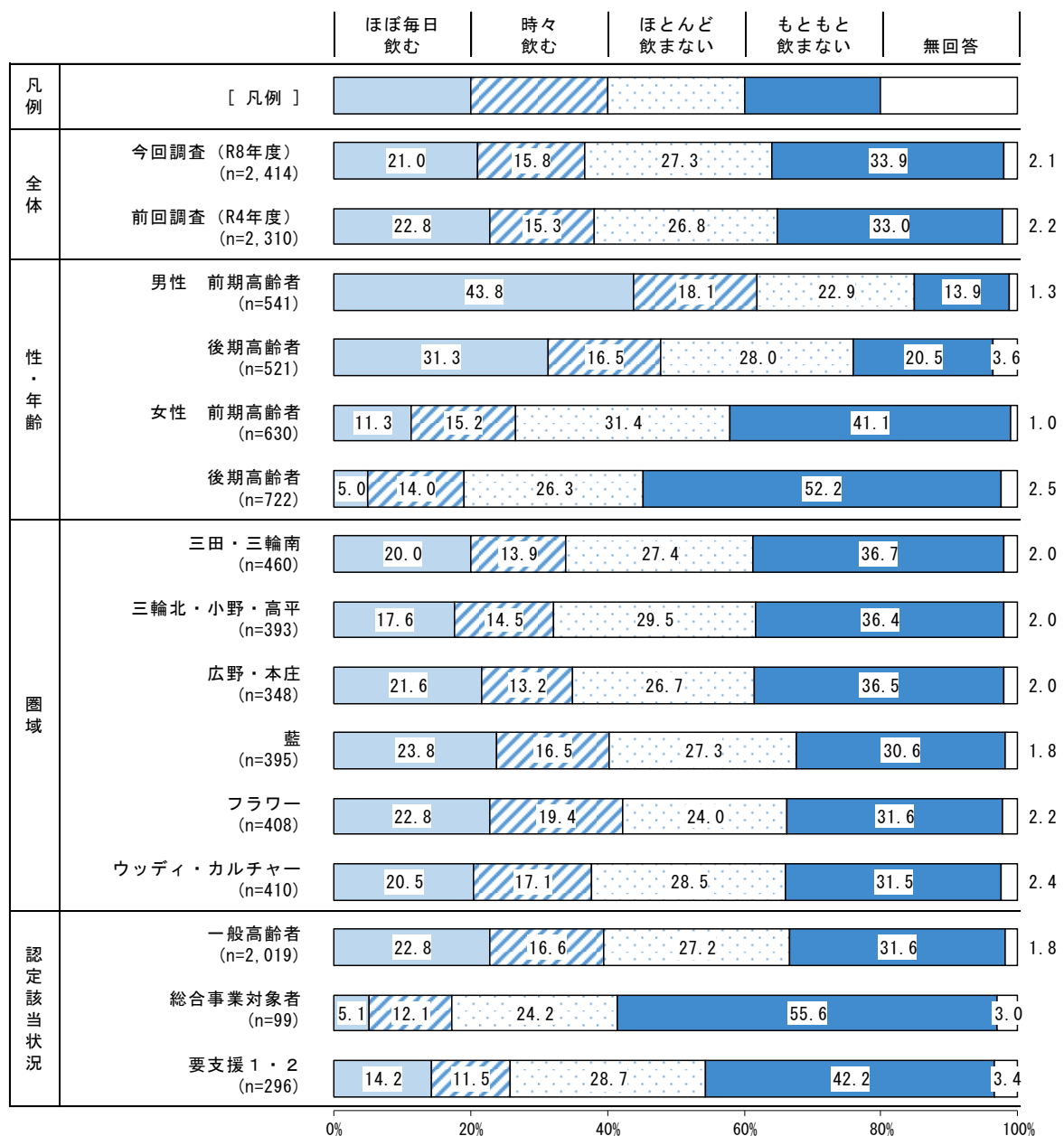
【性・年齢】

- 男性の前期高齢者、後期高齢者は「ほぼ毎日飲む」が他の区分に比べて多くなっています。女性の後期高齢者は「もともと飲まない」が他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者は「もともと飲まない」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【飲酒の状況】



●問59 タバコは吸っていますか。(1つだけ)

【全体】

- 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が62.0%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が27.7%、「ほぼ毎日吸っている」が7.0%となっています。「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」を合わせた“喫煙する方”は8.0%となっています。

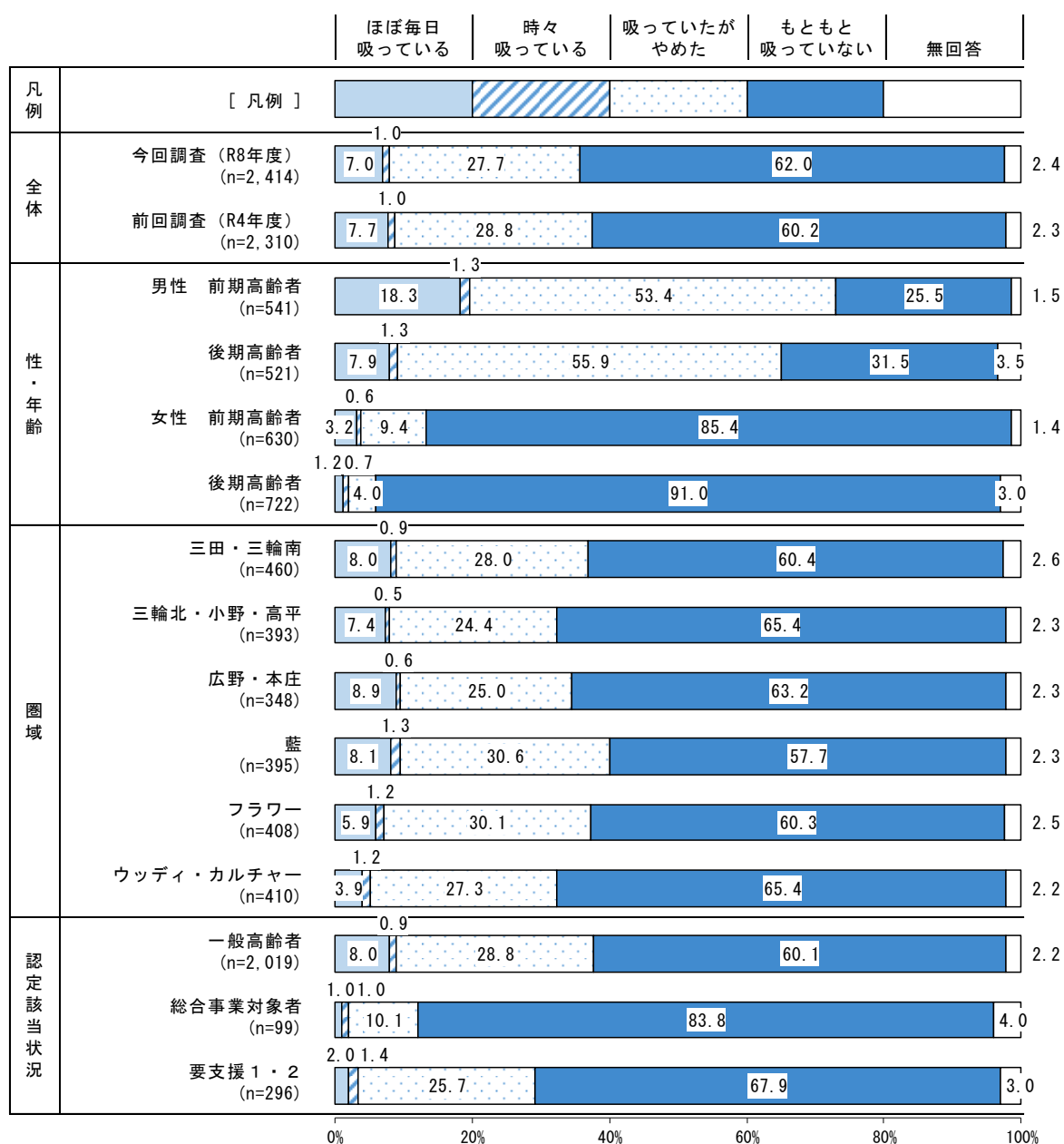
【性・年齢】

- 男性の前期高齢者は「ほぼ毎日吸っている」が他の区分に比べて多くなっています。男性の後期高齢者は「吸っていたがやめた」が他の区分に比べて多くなっています。女性の後期高齢者は「もともと吸っていない」が他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者は「もともと吸っていない」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【喫煙の状況】



(3) 病気の状況

●問60 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

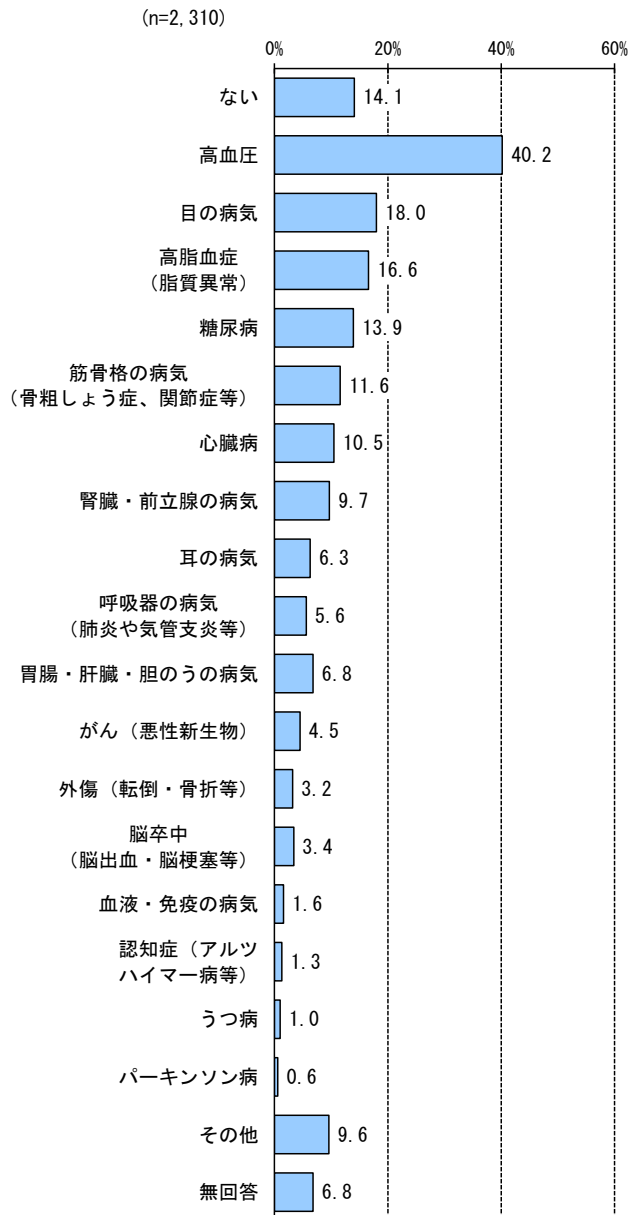
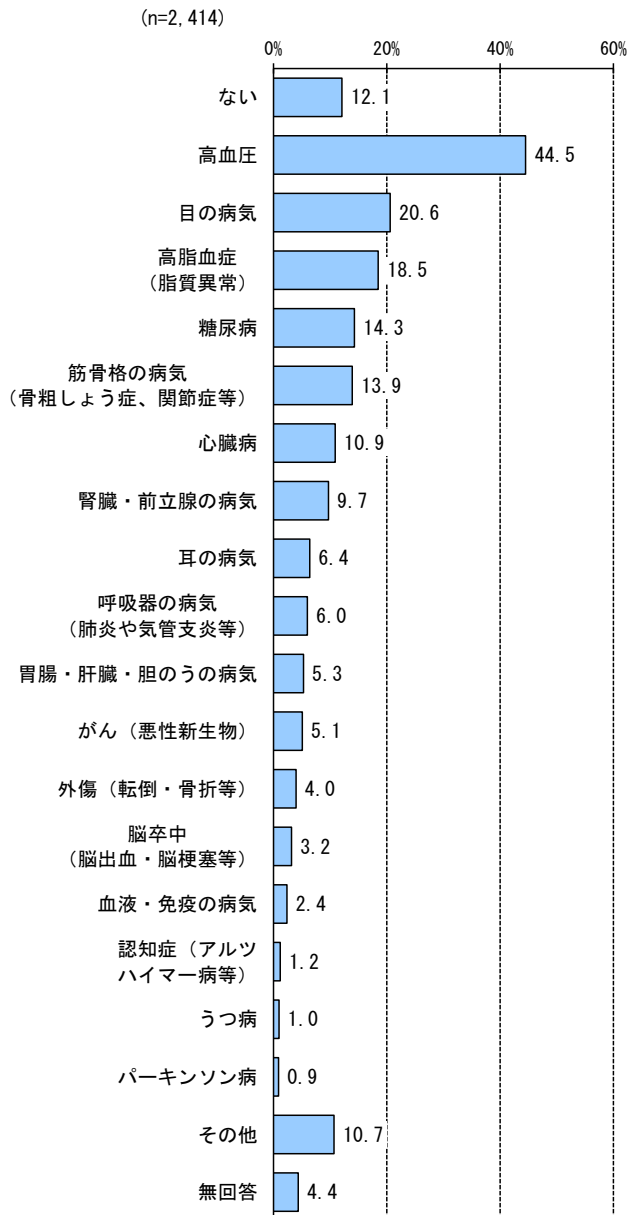
【全体】

○ 現在治療中または後遺症のある病気について、「高血圧」が 44.5%で最も多く、次いで「目の病気」が 20.6%、「高脂血症（脂質異常）」が 18.5%となっています。

【現在治療中または後遺症のある病気】

[今回調査 (R8 年度)]

[前回調査 (R4 年度)]



【性・年齢】

- 男性の後期高齢者は「腎臓・前立腺の病気」が他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- ウッディ・カルチャーは「高血圧」が他の圏域に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2は「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が一般高齢者に比べて多くなっています。

単位：％

		母数	現在治療中または後遺症のある病気									
			ない	高血圧	目の病気	高脂血症（脂質異常）	糖尿病	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	心臓病	腎臓・前立腺の病気	耳の病気	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
全体		2,414	12.1	44.5	20.6	18.5	14.3	13.9	10.9	9.7	6.4	6.0
性・年齢	男性 前期高齢者	541	15.7	47.9	17.7	18.9	17.6	5.7	10.0	14.2	3.7	4.1
	後期高齢者	521	7.7	48.0	20.7	11.9	22.1	8.1	20.0	△ 22.6	9.4	10.2
	女性 前期高齢者	630	16.0	35.7	17.6	23.3	9.5	14.8	3.8	1.7	5.7	5.1
	後期高齢者	722	9.0	47.1	25.3	18.8	10.4	23.5	11.1	3.7	6.9	5.1
圏域	三田・三輪南	460	12.6	47.2	23.7	20.0	16.5	15.2	10.4	9.1	8.5	7.4
	三輪北・小野・高平	393	13.2	45.5	16.8	14.2	14.5	13.7	12.0	10.2	6.4	5.3
	広野・本庄	348	10.6	46.8	20.1	17.8	15.2	13.8	12.1	10.1	5.2	7.2
	藍	395	13.4	44.6	20.5	17.2	14.9	9.6	12.2	8.9	7.1	3.8
	フラワー	408	10.8	45.6	19.9	20.3	12.7	15.0	11.0	13.0	5.9	5.9
	ウッディ・カルチャー	410	11.5	37.3	22.2	21.0	11.7	15.9	7.8	6.8	5.1	6.1
当認定状況	一般高齢者	2,019	13.5	44.2	20.5	19.3	14.0	11.7	9.8	9.9	6.0	5.7
	総合事業対象者	99	8.1	51.5	23.2	20.2	8.1	22.2	12.1	8.1	5.1	7.1
	要支援１・２	296	3.4	44.3	20.6	12.5	18.2	△ 26.4	17.6	8.8	9.5	7.4

単位：％

		母数	現在治療中または後遺症のある病気									
			胃腸・肝臓・胆のうの病気	がん（悪性新生物）	外傷（転倒・骨折等）	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	血液・免疫の病気	認知症（アルツハイマー病等）	うつ病	パーキンソン病	その他	無回答
全体		2,414	5.3	5.1	4.0	3.2	2.4	1.2	1.0	0.9	10.7	4.4
性・年齢	男性 前期高齢者	541	5.4	6.1	2.8	3.7	2.0	0.4	1.3	1.7	9.6	2.6
	後期高齢者	521	5.6	7.5	3.5	5.2	2.1	1.2	0.2	0.8	8.1	5.6
	女性 前期高齢者	630	3.8	3.5	3.7	1.7	2.7	0.2	1.6	0.6	12.1	3.7
	後期高齢者	722	6.5	4.2	5.5	2.6	2.5	2.6	1.0	0.6	12.3	5.5
圏域	三田・三輪南	460	5.2	5.9	5.2	2.8	2.6	2.2	1.1	0.4	9.3	3.0
	三輪北・小野・高平	393	5.9	3.6	4.3	4.1	2.5	1.0	0.8	0.3	10.4	4.3
	広野・本庄	348	5.7	4.3	4.9	4.3	3.4	0.9	1.1	0.3	11.8	4.9
	藍	395	5.1	5.1	3.0	2.5	0.8	1.0	1.0	1.0	7.3	4.3
	フラワー	408	4.9	6.6	2.2	1.7	2.5	1.0	1.7	1.0	12.0	5.6
	ウッディ・カルチャー	410	5.4	5.1	4.1	3.9	2.4	0.7	0.5	2.2	13.7	4.4
当認定状況	一般高齢者	2,019	5.0	5.1	3.3	3.0	2.2	0.5	0.8	0.3	10.6	4.3
	総合事業対象者	99	9.1	4.0	7.1	1.0	4.0	3.0	3.0	－	10.1	7.1
	要支援１・２	296	6.8	6.1	7.4	5.4	3.0	4.7	2.0	4.7	11.8	4.4

8. 認知症について

(1) 認知症の状況

●問61 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ)

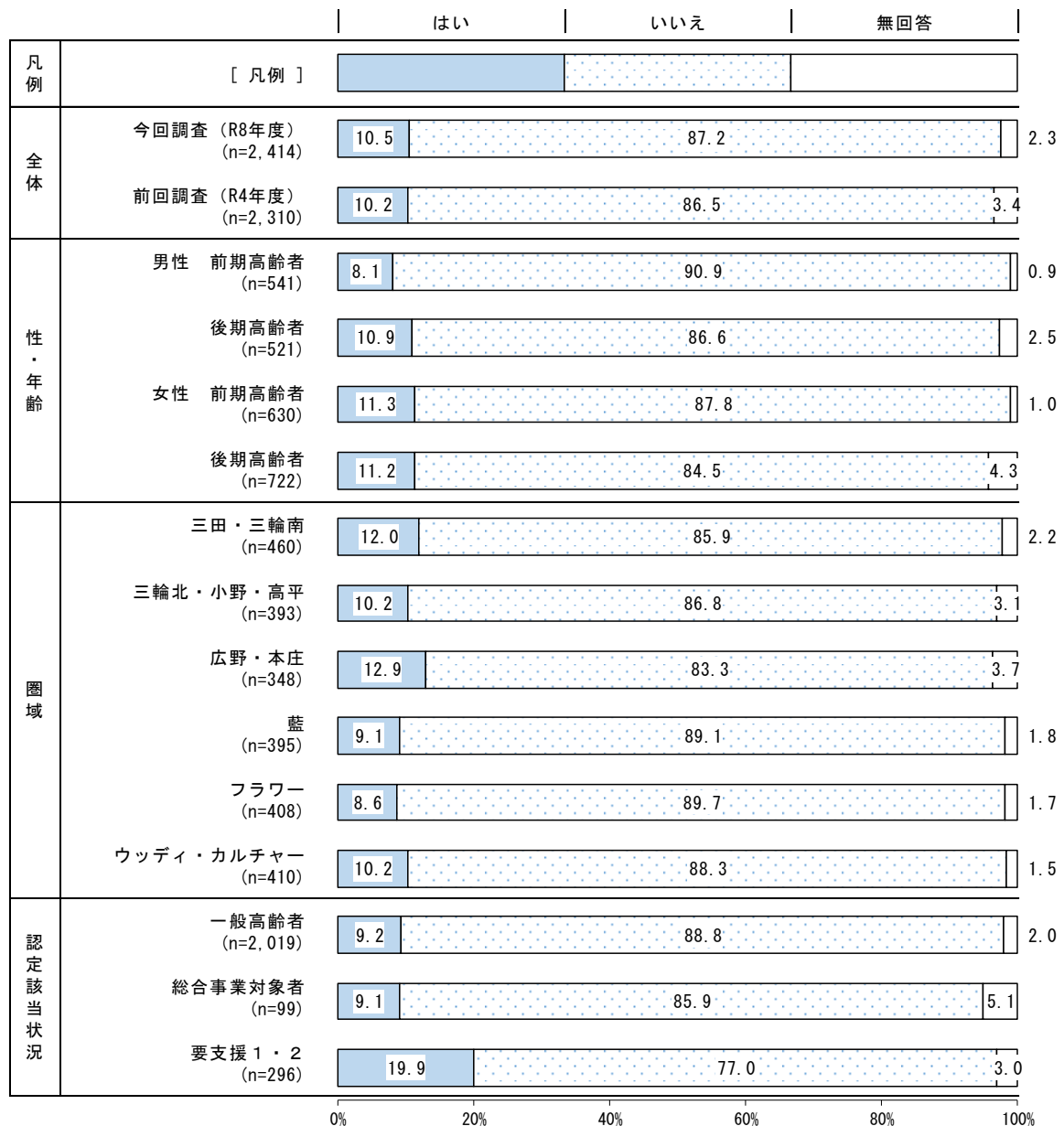
【全体】

- 自身や家族の認知症の症状有無について、「はい」が10.5%、「いいえ」が87.2%となっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2は「はい」が総合事業対象者に比べて多くなっています。

【自身や家族の認知症の症状有無】



(2) 認知症に関する相談窓口の認知度

●問62 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ)

【全体】

- 認知症に関する相談窓口の認知度について、「はい」が 35.5%、「いいえ」が 61.5%となっています。

【性・年齢】

- 男性の前期高齢者は「いいえ」が他の区分に比べて多くなっています。

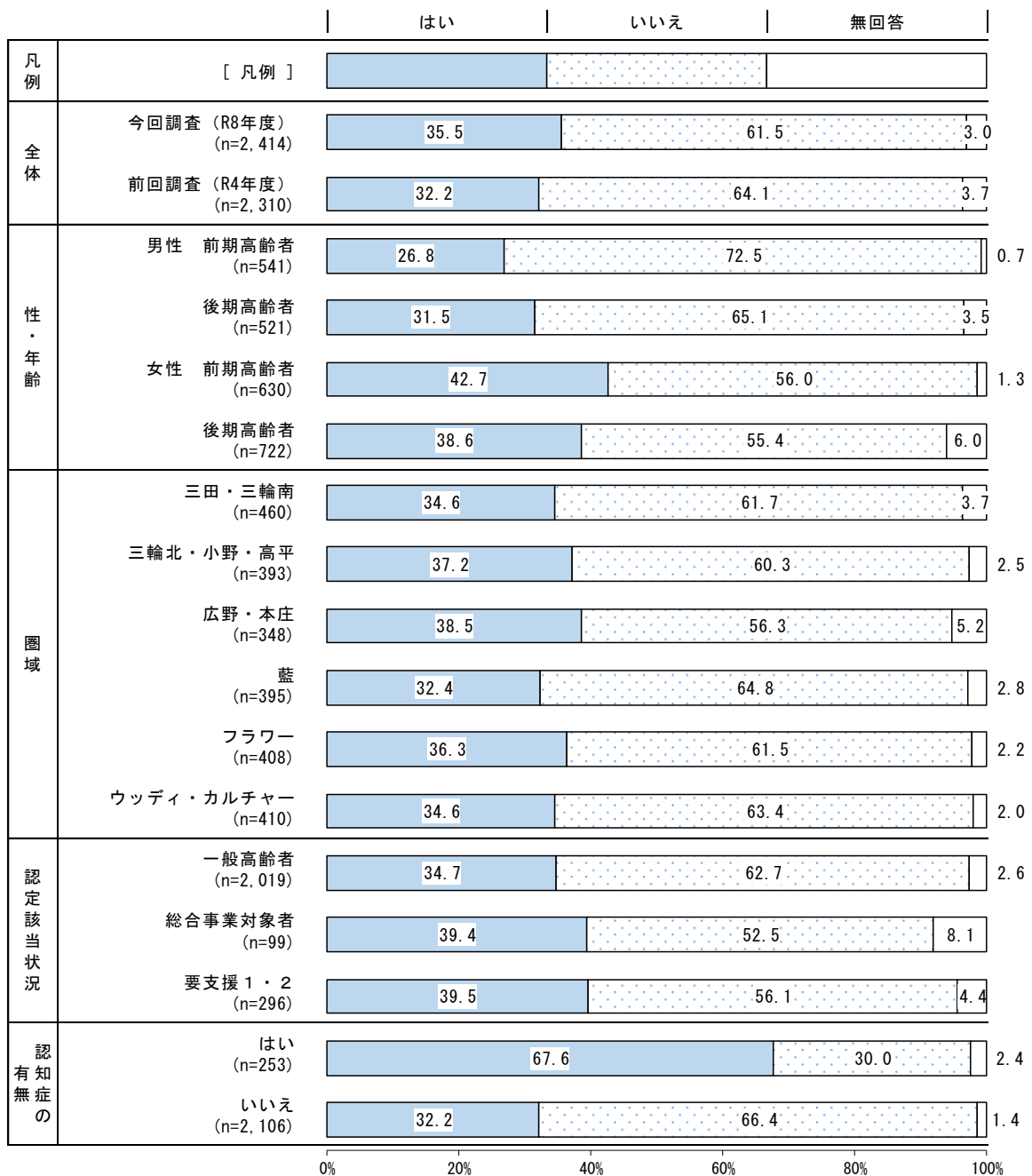
【認定該当状況】

- 総合事業対象者は「いいえ」が一般高齢者に比べて少なくなっています。

【認知症の有無別】

- はい（本人または家族に認知症あり）は「はい」が「いいえ」（本人または家族に認知症なし）より多くなっています。

【認知症に関する相談窓口の認知度】



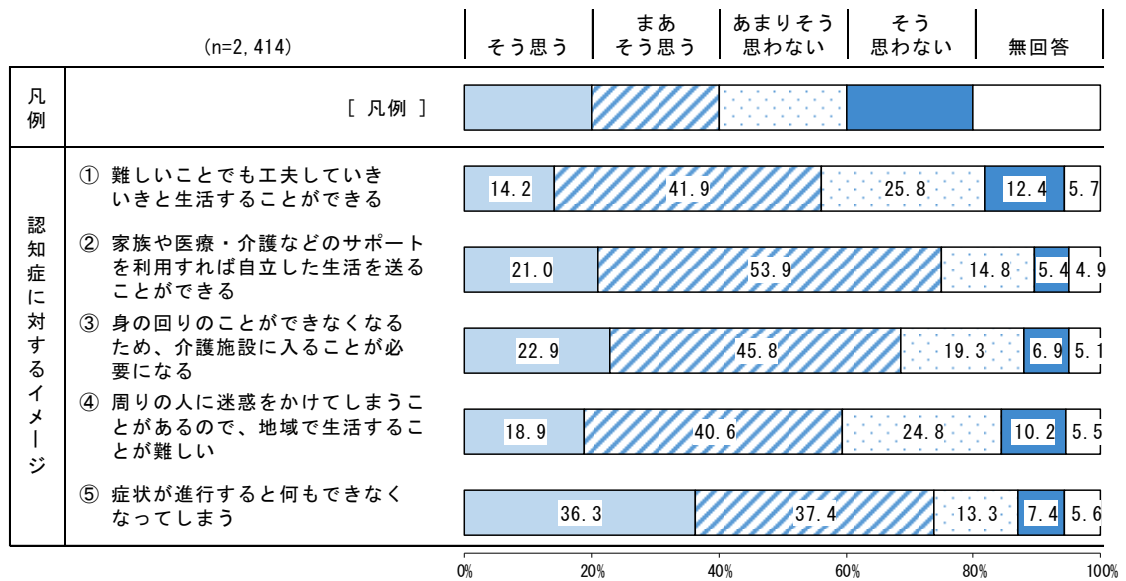
(3) 認知症への理解

●問63 あなたの認知症に対するイメージは、次のうちどれですか。(①～⑤それぞれ1つ)

【全体】

- 認知症に対するイメージについて、「そう思う」「まあそう思う」を合計した“そう思う方”の割合は、「② 家族や医療・介護などのサポートを利用すれば自立した生活を送ることができる」が74.9%で最も多く、次いで「⑤ 症状が進行すると何もできなくなってしまう」が73.7%、「③ 身の回りのことができなくなるため、介護施設に入ることが必要になる」が68.7%となっています。

【認知症に対するイメージ】



①難しいことでも工夫していきいきと生活することができる

【全体】

- 「難しいことでも工夫していきいきと生活することができる」について、「まあそう思う」が 41.9%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が 25.8%、「そう思う」が 14.2%となっています。「そう思う」「まあそう思う」を合わせた“そう思う方”は 56.1%となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は 38.2%となっています。

【性・年齢】

- 男性の前期高齢者は「あまりそう思わない」が他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2は「そう思わない」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【難しいことでも工夫していきいきと生活することができる】

			「難しいことでも工夫していきいきと生活することができる」						単位：%	
			母数	そう 思う	まあ そう 思う	あまり そう 思わ ない	そう 思わ ない	無 回 答	“ そう 思う 方 ”	“ そう 思わ ない 方 ”
全体			2,414	14.2	41.9	25.8	12.4	5.7	56.1	38.2
性・ 年 齢	男性	前期高齢者	541	10.2	39.6	32.2	16.1	2.0	49.8	△ 48.3
		後期高齢者	521	13.8	41.7	23.2	13.4	7.9	55.5	36.6
	女性	前期高齢者	630	14.6	44.4	30.2	9.2	1.6	59.0	39.4
		後期高齢者	722	17.2	41.6	19.1	11.6	10.5	58.8	30.7
圏 域	三田・三輪南		460	14.8	38.7	24.6	16.5	5.4	53.5	41.1
	三輪北・小野・高平		393	13.7	44.3	22.9	10.9	8.1	58.0	33.8
	広野・本庄		348	14.1	44.3	23.3	10.9	7.5	58.4	34.2
	藍		395	13.9	40.0	29.9	10.4	5.8	53.9	40.3
	フラワー		408	14.0	43.4	26.7	11.3	4.7	57.4	38.0
	ウッディ・カルチャー		410	14.6	41.5	27.3	13.4	3.2	56.1	40.7
当 認 状 定 況 該	一般高齢者		2,019	14.5	42.6	26.7	11.5	4.7	57.1	38.2
	総合事業対象者		99	16.2	38.4	17.2	14.1	14.1	54.6	31.3
	要支援1・2		296	11.8	38.2	22.6	17.6	9.8	50.0	40.2

②家族や医療・介護などのサポートを利用すれば自立した生活を送ることができる

【全体】

- 「家族や医療・介護などのサポートを利用すれば自立した生活を送ることができる」について、「まあそう思う」が 53.9%で最も多く、次いで「そう思う」が 21.0%、「あまりそう思わない」が 14.8%となっています。「そう思う」「まあそう思う」を合わせた“そう思う方”は 74.9%となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は 20.2%となっています。

【性・年齢】

- 女性の前期高齢者は「まあそう思う」が他の区分に比べて多くなっています。女性の後期高齢者は「そう思う」が他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者は「そう思う」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【家族や医療・介護などのサポートを利用すれば自立した生活を送ることができる】

単位：％

		母数	「家族や医療・介護などのサポートを利用すれば自立した生活を送ることができる」					“ そう 思う 方”	“ そう 思わ ない 方”
			そう 思 う	ま あ そ う 思 う	あ ま り そ う 思 わ ない	そ う 思 わ ない	無 回 答		
全体		2,414	21.0	53.9	14.8	5.4	4.9	74.9	20.2
性・ 年 齢	男性 前期高齢者	541	17.2	57.7	17.2	6.5	1.5	74.9	23.7
	後期高齢者	521	21.1	51.8	14.4	6.0	6.7	72.9	20.4
	女性 前期高齢者	630	17.1	60.0	17.0	4.3	1.6	77.1	21.3
	後期高齢者	722	27.1	47.1	11.5	5.1	9.1	74.2	16.6
圏 域	三田・三輪南	460	19.6	54.1	13.7	7.2	5.4	73.7	20.9
	三輪北・小野・高平	393	23.2	50.4	13.5	5.3	7.6	73.6	18.8
	広野・本庄	348	22.1	53.4	12.6	5.7	6.0	75.5	18.3
	藍	395	21.3	55.2	14.4	4.3	4.8	76.5	18.7
	フラワー	408	20.8	54.2	16.9	4.4	3.7	75.0	21.3
	ウッディ・カルチャー	410	19.5	55.6	17.6	5.1	2.2	75.1	22.7
当 認 状 定 該	一般高齢者	2,019	20.4	55.3	15.2	5.0	4.2	75.7	20.2
	総合事業対象者	99	26.3	45.5	9.1	5.1	14.1	71.8	14.2
	要支援 1・2	296	23.6	46.6	14.5	8.4	6.8	70.2	22.9

③身の回りのことができなくなるため、介護施設に入ることが必要になる

【全体】

- 「身の回りのことができなくなるため、介護施設に入ることが必要になる」について、「まあそう思う」が 45.8%で最も多く、次いで「そう思う」が 22.9%、「あまりそう思わない」が 19.3%となっています。「そう思う」「まあそう思う」を合わせた“そう思う方”は 68.7%となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は 26.2%となっています。

【性・年齢】

- 女性の後期高齢者は「まあそう思う」が他の区分に比べて少なくなっています。

【身の回りのことができなくなるため、介護施設に入ることが必要になる】

単位：％

		母数	「身の回りのことができなくなるため、介護施設に入ることが必要になる」					“ そう 思う 方”	“ そう 思わ ない 方”
			そう 思う	ま あ そ う 思 う	あ ま り そ う 思 わ ない	そ う 思 わ ない	無 回 答		
全体		2,414	22.9	45.8	19.3	6.9	5.1	68.7	26.2
性・ 年 齢	男性 前期高齢者	541	26.4	50.3	17.6	4.4	1.3	76.7	22.0
	後期高齢者	521	19.2	44.5	20.0	9.2	7.1	63.7	29.2
	女性 前期高齢者	630	22.9	49.5	20.3	5.7	1.6	72.4	26.0
	後期高齢者	722	23.1	40.0	19.4	8.0	9.4	63.1	27.4
圏 域	三田・三輪南	460	24.3	42.8	19.8	7.6	5.4	67.1	27.4
	三輪北・小野・高平	393	25.7	41.2	18.8	6.6	7.6	66.9	25.4
	広野・本庄	348	23.0	44.5	20.7	6.0	5.7	67.5	26.7
	藍	395	19.7	47.8	20.3	6.6	5.6	67.5	26.9
	フラワー	408	24.0	47.8	18.1	6.9	3.2	71.8	25.0
	ウッディ・カルチャー	410	20.7	50.5	18.5	7.3	2.9	71.2	25.8
当 認 状 定 該	一般高齢者	2,019	22.7	46.9	19.8	6.0	4.6	69.6	25.8
	総合事業対象者	99	25.3	37.4	14.1	11.1	12.1	62.7	25.2
	要支援 1・2	296	23.6	40.9	18.2	11.1	6.1	64.5	29.3

④周りの人に迷惑をかけてしまうことがあるので、地域で生活することが難しい

【全体】

- 「周りの人に迷惑をかけてしまうことがあるので、地域で生活することが難しい」について、「まあそう思う」が 40.6%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が 24.8%、「そう思う」が 18.9%となっています。「そう思う」「まあそう思う」を合わせた“そう思う方”は 59.5%となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は 35.0%となっています。

【性・年齢】

- 女性の前期高齢者は「まあそう思う」が他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2は「そう思わない」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【周りの人に迷惑をかけてしまうことがあるので、地域で生活することが難しい】

単位：％

		母数	「周りの人に迷惑をかけてしまうことがあるので、地域で生活することが難しい」					“ そう 思う 方”	“ そう 思わ ない 方”
			そう 思う	ま あ そう 思う	あ ま り そう 思わ ない	そ う 思わ ない	無 回 答		
全体		2,414	18.9	40.6	24.8	10.2	5.5	59.5	35.0
性・ 年 齢	男性 前期高齢者	541	20.5	43.8	27.2	7.0	1.5	64.3	34.2
	後期高齢者	521	16.9	38.6	25.1	12.1	7.3	55.5	37.2
	女性 前期高齢者	630	18.1	45.9	25.7	8.3	2.1	64.0	34.0
	後期高齢者	722	19.8	35.0	21.9	13.0	10.2	54.8	34.9
圏 域	三田・三輪南	460	21.5	40.2	20.2	12.4	5.7	61.7	32.6
	三輪北・小野・高平	393	20.6	37.7	24.4	9.7	7.6	58.3	34.1
	広野・本庄	348	18.1	38.8	26.1	10.6	6.3	56.9	36.7
	藍	395	17.2	43.3	24.6	8.4	6.6	60.5	33.0
	フラワー	408	18.6	39.2	26.7	11.0	4.4	57.8	37.7
	ウッディ・カルチャー	410	16.8	44.1	27.3	9.0	2.7	60.9	36.3
当 認 状 定 況 該	一般高齢者	2,019	18.3	41.8	26.0	9.4	4.7	60.1	35.4
	総合事業対象者	99	20.2	33.3	18.2	13.1	15.2	53.5	31.3
	要支援1・2	296	22.6	35.1	18.9	15.2	8.1	57.7	34.1

⑤症状が進行すると何もできなくなってしまう

【全体】

- 「症状が進行すると何もできなくなってしまう」について、「まあそう思う」が37.4%で最も多く、次いで「そう思う」が36.3%、「あまりそう思わない」が13.3%となっています。「そう思う」「まあそう思う」を合わせた“そう思う方”は73.7%となっています。「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない方”は20.7%となっています。

【性・年齢】

- 男性の前期高齢者は「まあそう思う」が他の区分に比べて多くなっています。

【症状が進行すると何もできなくなってしまう】

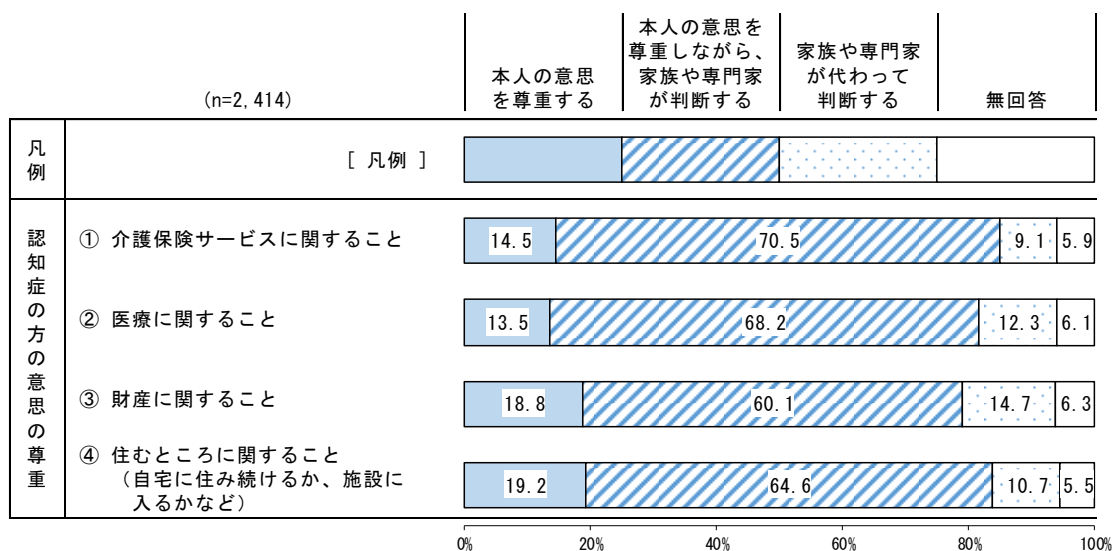
			「症状が進行すると何もできなくなってしまう」					“ そう 思う 方 ”	“ そう 思わ ない 方 ”	
母数			そう 思う	ま あ そう 思う	あ ま り そう 思わ ない	そ う 思 わ な い	無 回 答			
全体			2,414	36.3	37.4	13.3	7.4	5.6	73.7	20.7
性・ 年 齢	男性	前期高齢者	541	40.1	43.6	10.5	4.4	1.3	△ 83.7	14.9
		後期高齢者	521	36.7	37.4	10.0	7.9	8.1	74.1	17.9
	女性	前期高齢者	630	35.2	39.0	16.5	7.3	1.9	74.2	23.8
		後期高齢者	722	34.2	31.3	14.8	9.3	10.4	65.5	24.1
圏 域	三田・三輪南		460	40.7	32.6	12.8	8.3	5.7	73.3	21.1
	三輪北・小野・高平		393	37.9	36.4	12.0	5.6	8.1	74.3	17.6
	広野・本庄		348	35.6	35.3	15.2	7.2	6.6	70.9	22.4
	藍		395	32.4	42.0	12.7	6.3	6.6	74.4	19.0
	フラワー		408	32.8	39.7	14.2	9.1	4.2	72.5	23.3
	ウッディ・カルチャー		410	37.8	38.8	12.9	7.6	2.9	76.6	20.5
当 認 状 況 該	一般高齢者		2,019	36.5	38.0	13.9	6.7	4.9	74.5	20.6
	総合事業対象者		99	35.4	31.3	11.1	9.1	13.1	66.7	20.2
	要支援１・２		296	35.5	35.5	9.5	11.1	8.4	71.0	20.6

- 問64 認知症の方の意思の尊重について、あなたの考え方に最も近いものをお答えください。(①～④それぞれ1つ)

【全体】

- 認知症の方の意思の尊重について、いずれも項目も「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が約6～7割を占めています。

【認知症の方の意思の尊重】



①介護保険サービスに関すること

【全体】

- 介護保険サービスに関することについて、「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が 70.5%で最も多く、次いで「本人の意思を尊重する」が 14.5%、「家族や専門家が代わって判断する」が 9.1%となっています。

【性・年齢】

- 女性の前期高齢者は「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- フラワーは「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援 1・2 は「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が一般高齢者に比べて少なくなっています。

②医療に関すること

【全体】

- 医療に関することについて、「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が 68.2%で最も多く、次いで「本人の意思を尊重する」が 13.5%、「家族や専門家が代わって判断する」が 12.3%となっています。

【圏域】

- フラワーは「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援 1・2 は「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が一般高齢者に比べて少なくなっています。

		単位：％					単位：％				
		母数	介護保険サービスに関すること				医療に関すること				
			する 本人の 意思を 尊重	専門 ながら 判断 する	本人の 意思を 尊重	家族 や 専門 家が 代 わ	する 本人の 意思を 尊重	専門 ながら 判断 する	本人の 意思を 尊重	家族 や 専門 家が 代 わ	
全体		2,414	14.5	70.5	9.1	5.9	13.5	68.2	12.3	6.1	
性・ 年 齢	男性 前期高齢者	541	14.4	73.6	9.6	2.4	14.8	70.4	12.2	2.6	
	後期高齢者	521	17.7	67.9	7.1	7.3	15.5	66.6	10.4	7.5	
	女性 前期高齢者	630	12.2	75.7	9.7	2.4	11.9	71.9	13.7	2.5	
	後期高齢者	722	14.4	65.4	9.6	10.7	12.3	64.4	12.5	10.8	
圏 域	三田・三輪南	460	13.0	71.7	8.7	6.5	12.0	68.9	12.2	7.0	
	三輪北・小野・高平	393	15.0	66.2	10.2	8.7	13.5	64.1	13.0	9.4	
	広野・本庄	348	14.9	68.1	9.8	7.2	14.9	62.4	15.2	7.5	
	藍	395	13.9	72.9	6.6	6.6	12.7	70.4	10.6	6.3	
	フラワー	408	13.2	75.7	6.9	4.2	12.5	74.8	8.6	4.2	
	ウッディ・カルチャー	410	17.3	67.6	12.4	2.7	15.6	67.6	14.4	2.4	
当 認 状 定 況 該	一般高齢者	2,019	14.3	72.3	8.5	5.0	13.7	69.3	11.7	5.3	
	総合事業対象者	99	11.1	66.7	7.1	15.2	10.1	63.6	11.1	15.2	
	要支援１・２	296	17.6	▼ 59.1	13.9	9.5	12.8	61.8	16.6	8.8	

③財産に関すること

【全体】

- 財産に関することについて、「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が 60.1%で最も多く、次いで「本人の意思を尊重する」が 18.8%、「家族や専門家が代わって判断する」が 14.7%となっています。

【性・年齢】

- 男女とも前期高齢者は「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2は「家族や専門家が代わって判断する」が一般高齢者に比べて多くなっています。

④住むところに関すること（自宅に住み続けるか、施設に入るかなど）

【全体】

- 住むところに関すること（自宅に住み続けるか、施設に入るかなど）について、「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が 64.6%で最も多く、次いで「本人の意思を尊重する」が 19.2%、「家族や専門家が代わって判断する」が 10.7%となっています。

【性・年齢】

- 女性の前期高齢者は「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- フラワーは「本人の意思を尊重しながら、家族や専門家が判断する」が他の圏域に比べて多くなっています。

単位：％							単位：％				
			母数	財産に関すること			住むところに関すること（自宅に住み続けるか、施設に入るかなど）				
				する 本人の 意思を 尊重	専門 家が 判断 する	本人の 意思を 尊重 する	家族 や専 門家 が代 わって 判断 する	無 回 答	する 本人の 意思を 尊重	専門 家が 判断 する	本人の 意思を 尊重 する
全体			2,414	18.8	60.1	14.7	6.3	19.2	64.6	10.7	5.5
性・ 年 齢	男性	前期高齢者	541	19.0	66.2	12.2	2.6	18.3	67.3	12.0	2.4
		後期高齢者	521	22.8	57.2	12.1	7.9	23.2	60.8	9.0	6.9
	女性	前期高齢者	630	16.8	65.1	15.2	2.9	15.4	71.7	10.5	2.4
		後期高齢者	722	17.3	53.5	18.1	11.1	20.2	59.0	11.2	9.6
圏 域	三田・三輪南		460	17.0	60.0	15.4	7.6	18.5	64.6	10.2	6.7
	三輪北・小野・高平		393	18.1	56.0	17.3	8.7	17.8	59.3	14.8	8.1
	広野・本庄		348	18.1	59.5	14.4	8.0	20.4	60.3	12.1	7.2
	藍		395	17.5	62.5	13.2	6.8	18.7	67.3	8.4	5.6
	フラワー		408	21.1	63.7	11.3	3.9	18.1	70.1	8.3	3.4
	ウッディ・カルチャー		410	21.0	59.0	16.8	3.2	21.7	65.1	11.0	2.2
当 認 定 状 況	一般高齢者		2,019	18.7	61.7	14.0	5.5	19.1	65.7	10.5	4.7
	総合事業対象者		99	16.2	54.5	14.1	15.2	13.1	60.6	10.1	16.2
	要支援1・2		296	19.9	51.4	19.9	8.8	21.6	58.1	12.8	7.4

●問65 あなたは、今までに認知症の方と接した経験がありますか。(いくつでも)

【全体】

- 認知症の方と接した経験について、「家族や親戚に認知症の方がいた (いる)」が 43.2%で最も多く、次いで「経験はない」が 37.4%、「友人、知人や近隣に認知症の方がいた (いる)」が 19.9%となっています。

【性・年齢】

- 女性の前期高齢者は「家族や親戚に認知症の方がいた (いる)」が他の区分に比べて多くなっています。

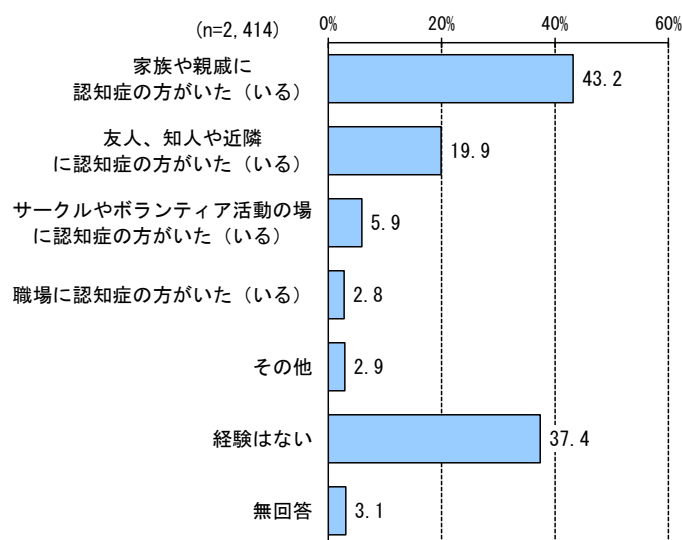
【圏域】

- 三輪北・小野・高平は「友人、知人や近隣に認知症の方がいた (いる)」が他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者は「友人、知人や近隣に認知症の方がいた (いる)」「サークルやボランティア活動の場に認知症の方がいた (いる)」が他の区分に比べて多く、「家族や親戚に認知症の方がいた (いる)」が少なくなっています。要支援1・2は「経験はない」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【認知症の方と接した経験】



単位：%

単位：％

		母数	認知症の方と接した経験						
			家族や親戚に認知症の方がいた（いる）	友人、知人や近隣に認知症の方がいた（いる）	サークルやボランティア活動の場に認知症の方がいた（いる）	職場に認知症の方がいた（いる）	その他	経験はない	無回答
全体		2,414	43.2	19.9	5.9	2.8	2.9	37.4	3.1
性・年齢	男性 前期高齢者	541	47.7	11.6	2.0	3.1	1.7	40.9	0.6
	後期高齢者	521	35.9	20.3	5.6	1.7	2.5	40.9	5.2
	女性 前期高齢者	630	△ 54.6	21.0	5.6	5.1	4.6	31.3	0.6
	後期高齢者	722	35.3	24.9	9.3	1.4	2.8	37.7	5.8
圏域	三田・三輪南	460	43.9	22.4	5.9	2.2	3.3	35.2	3.7
	三輪北・小野・高平	393	43.0	28.8	5.6	4.3	2.3	32.8	4.1
	広野・本庄	348	42.8	20.7	4.0	3.2	2.6	34.5	5.7
	藍	395	39.2	16.7	5.3	4.1	2.8	42.3	2.5
	フラワー	408	45.1	17.2	6.4	2.2	3.4	39.0	2.2
	ウッディ・カルチャー	410	45.1	13.9	7.8	1.2	3.2	40.5	1.0
当認定該当	一般高齢者	2,019	45.3	20.3	5.2	3.3	2.9	36.2	2.7
	総合事業対象者	99	▼ 30.3	28.3	12.1	－	5.1	37.4	11.1
	要支援１・２	296	33.8	14.9	8.4	0.3	2.7	45.6	3.4

- 問66 あなたは、近所に認知症の方がいたら、どのように接しますか。現在のお気持ちに最も近いものをご回答ください。（1つだけ）

【全体】

- 認知症の方との接し方について、「何か困っている様子があったら声をかける」が45.6%で最も多く、次いで「どのように接して良いかわからない」が26.3%、「会ったら自分から声をかける、話しかける」が19.9%となっています。

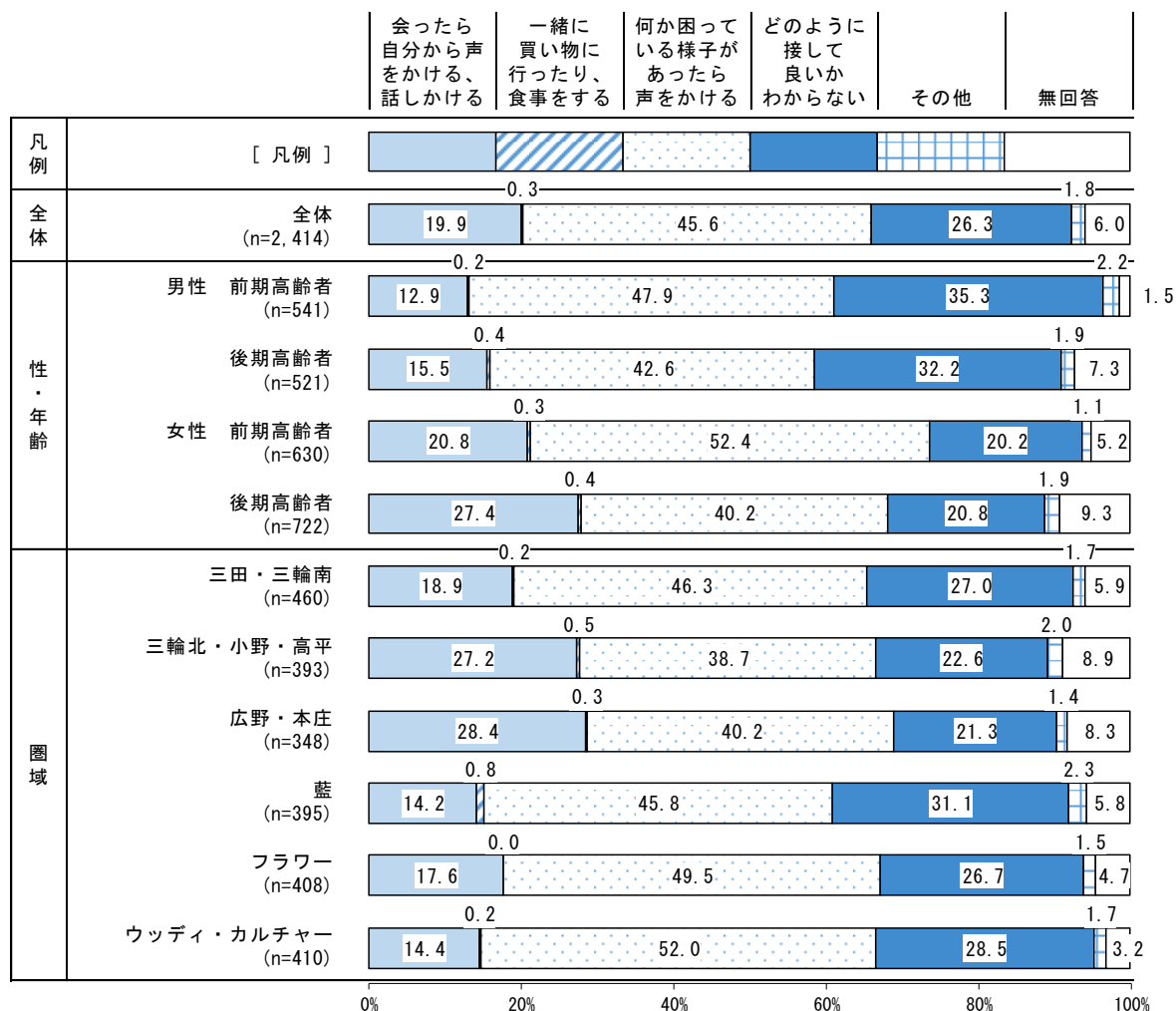
【性・年齢】

- 男性の前期高齢者、後期高齢者は「どのように接して良いかわからない」が他の区分に比べて多くなっています。女性の前期高齢者は「何か困っている様子があったら声をかける」が他の区分に比べて多くなっています。女性の後期高齢者は「会ったら自分から声をかける、話しかける」が他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 三輪北・小野・高平、広野・本庄は「会ったら自分から声をかける、話しかける」が他の圏域に比べて多くなっています。ウッディ・カルチャーは「何か困っている様子があったら声をかける」が他の圏域に比べて多くなっています。

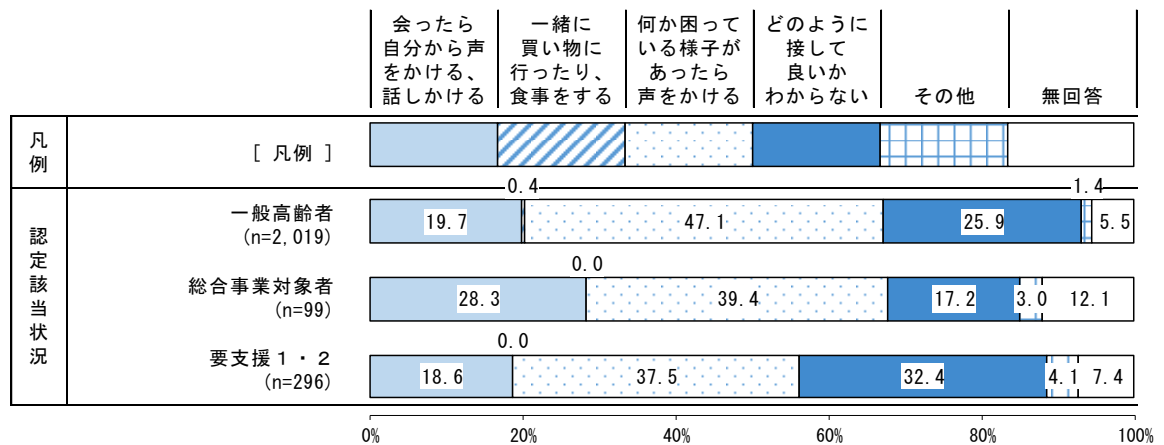
【認知症の方との接し方】



【認定該当状況】

- 総合事業対象者は「会ったら自分から声をかける、話しかける」が要支援1・2に比べて多くなっています。要支援1・2は「どのように接して良いかわからない」が総合事業対象者に比べて多くなっています。

【認知症の方との接し方】



(4) 認知症になった場合の生活場所

●問67 あなたは、認知症になった場合、どこで生活したいですか。(1つだけ)

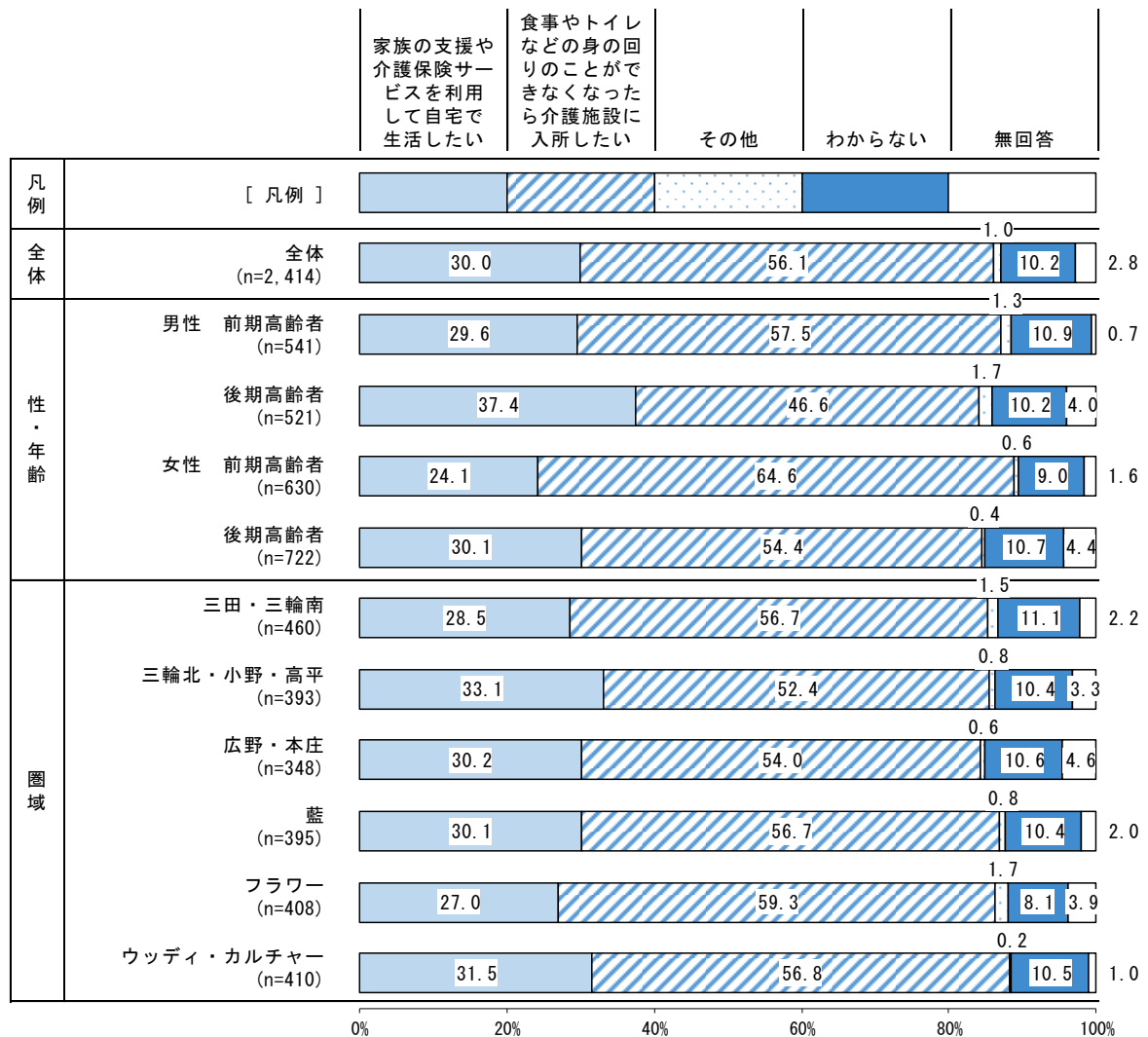
【全体】

- 認知症になった場合の生活場所について、「食事やトイレなどの身の回りのことができなくなったら介護施設に入所したい」が 56.1%で最も多く、次いで「家族の支援や介護保険サービスを利用して自宅で生活したい」が 30.0%、「わからない」が 10.2%となっています。

【性・年齢】

- 男性の後期高齢者は「家族の支援や介護保険サービスを利用して自宅で生活したい」が他の区分に比べて多くなっています。女性の前期高齢者は「食事やトイレなどの身の回りのことができなくなったら介護施設に入所したい」が他の区分に比べて多くなっています。

【認知症になった場合の生活場所】



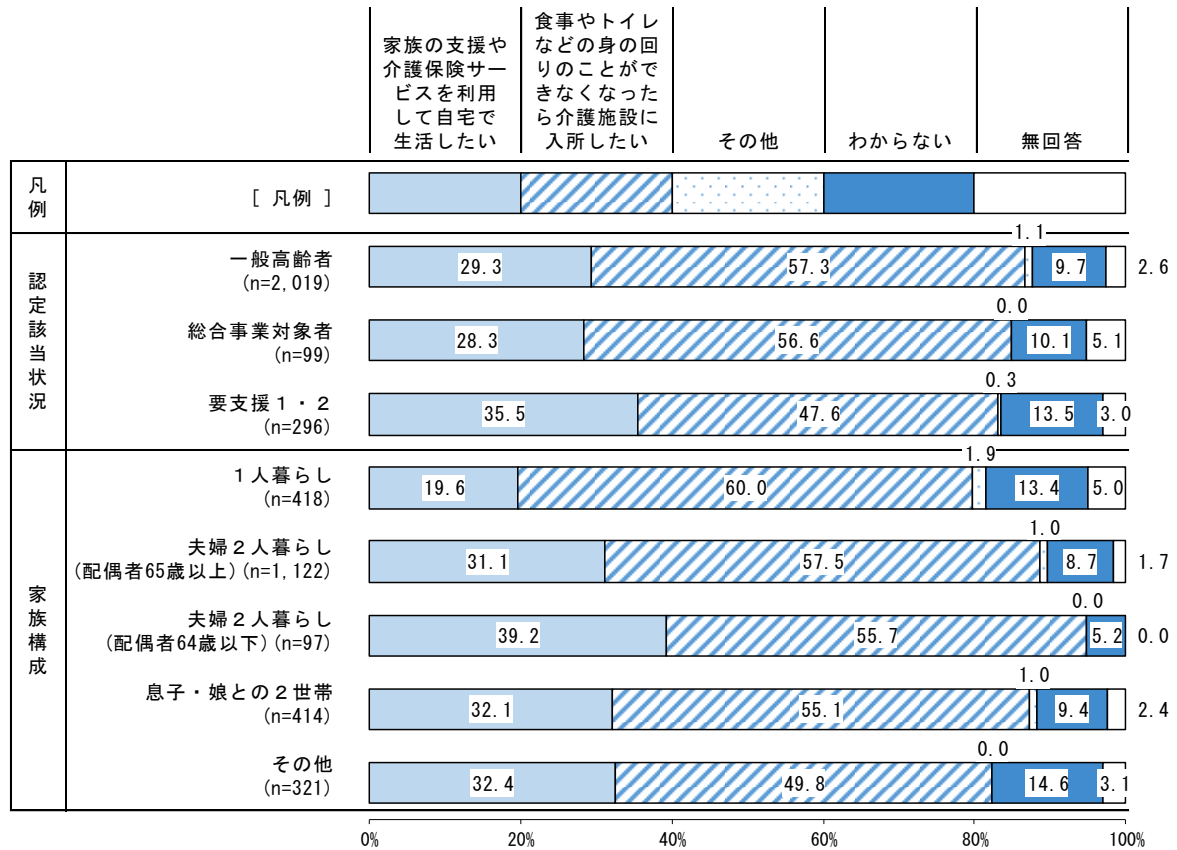
【認定該当状況】

- 要支援１・２は「家族の支援や介護保険サービスを利用して自宅で生活したい」が総合事業対象者に比べて多くなっています。

【家族構成】

- 夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）は「家族の支援や介護保険サービスを利用して自宅で生活したい」が他の区分に比べて多くなっています。

【認知症になった場合の生活場所】



9. その他の項目について

(1) スマートフォンやタブレットの利用状況

●問68 スマートフォンやタブレットを利用していますか。(1つだけ)

【全体】

- スマートフォンやタブレットの利用状況について、「通話以外でも利用している」が69.1%で最も多く、次いで「現在利用していない」が15.5%、「通話のみ利用している」が13.0%となっています。
- 前回調査と比べて、「通話以外でも利用している」が9.6ポイント多く、「現在利用していない」が6.0ポイント少なくなっています。

【性・年齢】

- 男女とも前期高齢者は「通話以外でも利用している」が他の区分に比べて多くなっています。女性の後期高齢者は「現在利用していない」が他の区分に比べて多くなっています。

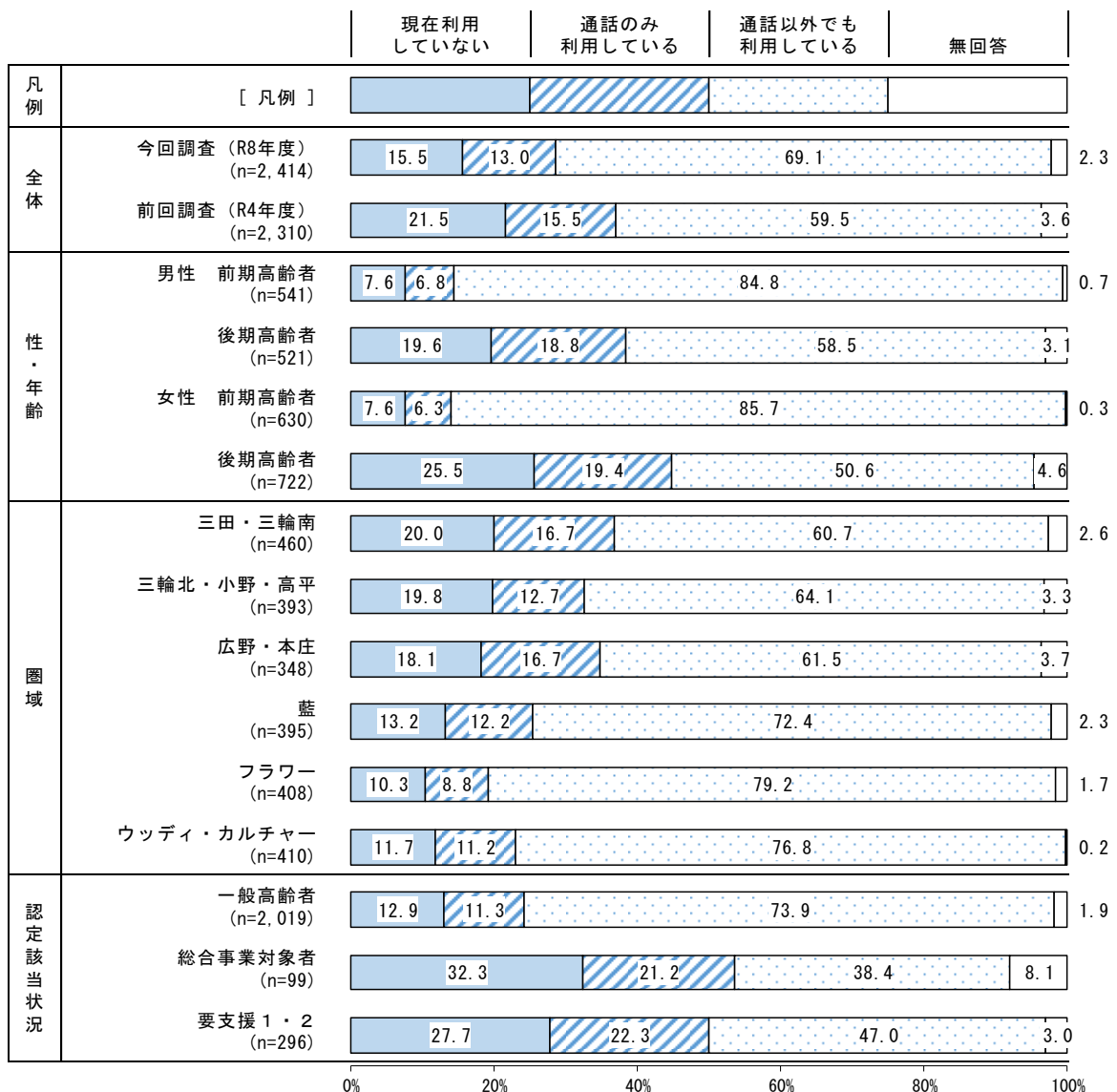
【圏域】

- フラワーは「通話以外でも利用している」が他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

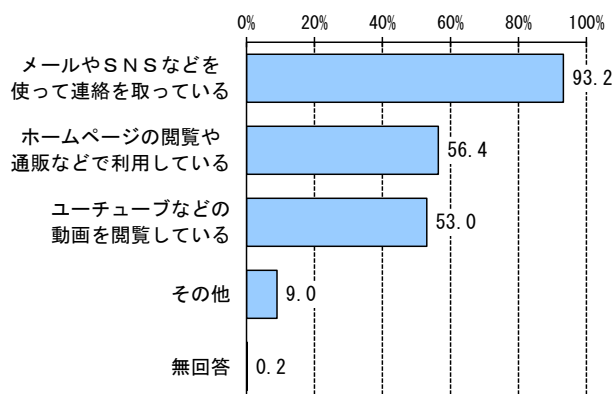
- 総合事業対象者は「現在利用していない」が他一般高齢者に比べて多くなっています。

【スマートフォンやタブレットの利用状況】

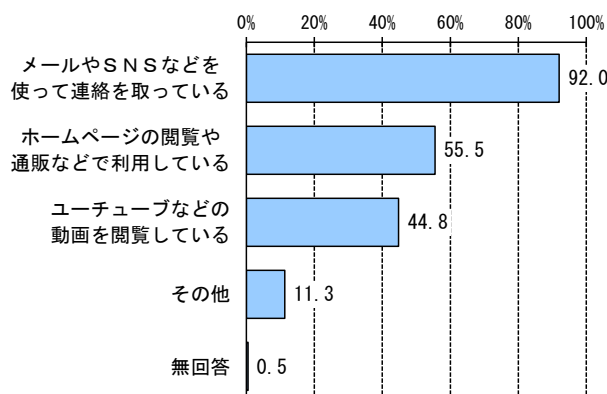


- 【全体】**
- スマートフォンやタブレットの用途について、「メールやSNSなどを使って連絡を取っている」が 93.2%で最も多く、次いで「ホームページの閲覧や通販などで利用している」が 56.4%、「ユーチューブなどの動画を閲覧している」が 53.0%となっています。
 - 前回調査と比べて、「ユーチューブなどの動画を閲覧している」が 8.2 ポイント多くなっています。
- 【性・年齢】**
- 男性の前期高齢者は「ホームページの閲覧や通販などで利用している」「ユーチューブなどの動画を閲覧している」が他の区分に比べて多くなっています。
- 【圏域】**
- 藍、ウッディ・カルチャーは「ホームページの閲覧や通販などで利用している」が他の圏域に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**
- 総合事業対象者は「ホームページの閲覧や通販などで利用している」「ユーチューブなどの動画を閲覧している」が一般高齢者に比べて少なくなっています。

(n=1, 669)



(n=1, 374)



単位：％

		母数	スマートフォンやタブレットの用途						
			取 つ て い る	ど を 使 つ て い る	メ ー ル や S N S な い る	用 覧 し て 通 販 い る	ホ ー ム ペ ー ジ で の 利 用	い の 動 画 を 観 覧 し て	そ の 他
全体		1,669	93.2	56.4	53.0	9.0	0.2		
性・ 年 齢	男性 前期高齢者	459	93.2	△ 74.1	△ 65.6	10.7	－		
	後期高齢者	305	87.9	52.8	47.2	6.6	0.7		
	女性 前期高齢者	540	96.5	58.5	57.6	8.9	0.2		
	後期高齢者	365	92.9	▼ 34.0	▼ 35.1	9.3	0.3		
圏 域	三田・三輪南	279	91.4	51.3	47.0	10.0	1.4		
	三輪北・小野・高平	252	94.4	51.2	49.6	9.5	－		
	広野・本庄	214	94.4	46.7	50.9	7.5	－		
	藍	286	91.6	62.2	57.3	8.4	－		
	フラワー	323	93.5	58.2	54.5	9.0	－		
	ウッディ・カルチャー	315	94.3	64.4	56.8	9.5	－		
当 認 定 状 況 該	一般高齢者	1,492	93.8	58.6	55.0	8.9	0.2		
	総合事業対象者	38	89.5	▼ 31.6	▼ 31.6	13.2	－		
	要支援１・２	139	88.5	▼ 39.6	▼ 36.7	9.4	0.7		

(2) 地域包括支援センター・成年後見制度の認知・利用状況

- 問70 地域包括支援センターが市内には6か所ありますが、このようなセンターを知っていますか。また利用したことがありますか。(1つだけ)

【全体】

- 地域包括支援センターの認知・利用状況について、「知っているが、利用したことはない」が40.8%で最も多く、次いで「知らないし、利用したこともない」が32.0%、「利用している（利用したことがある）」が23.1%となっています。「利用している（利用したことがある）」「知っているが、利用したことはない」を合わせた“知っている方”は63.9%となっています。

【性・年齢】

- 男性の前期高齢者は「知らないし、利用したこともない」が他の区分に比べて多くなっています。

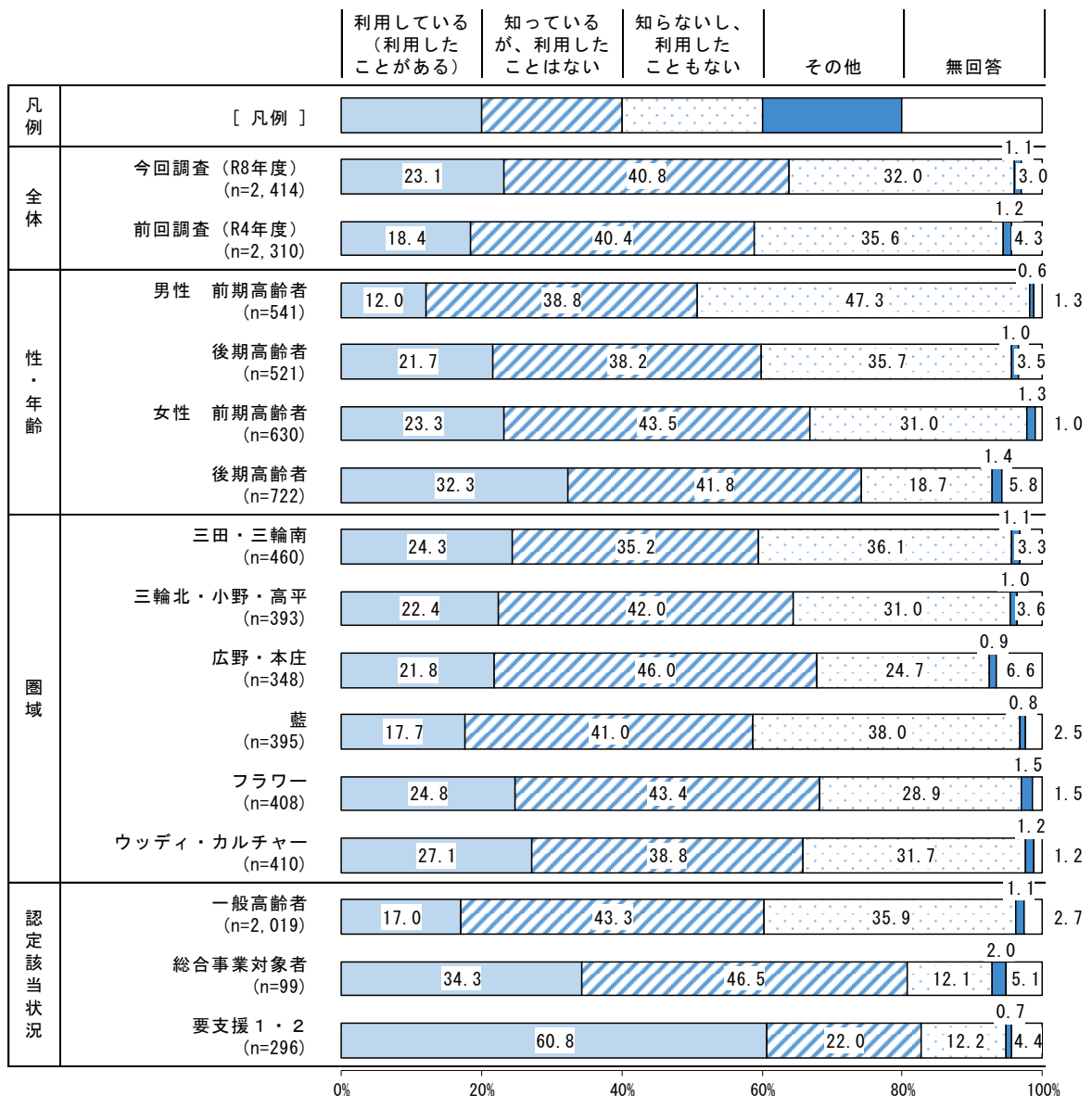
【圏域】

- 広野・本庄は「知っているが、利用したことはない」が他の圏域に比べて多くなっています。藍は「知らないし、利用したこともない」が他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2は「利用している（利用したことがある）」が一般高齢者に比べて多くなっています。

【地域包括支援センターの認知・利用状況】



- 問71 あなたは、成年後見制度を知っていますか。また利用したことがありますか。
(1つだけ)

【全体】

- 成年後見制度の認知・利用状況について、「知っているが、利用したくない」が50.0%で最も多く、次いで「知らないし、利用したくない」が19.9%、「知っているし、利用したい」が14.0%となっています。「利用したことがある（利用している）」「知っているし、利用したい」「知っているが、利用したくない」を合わせた“知っている方”は65.5%となっています。

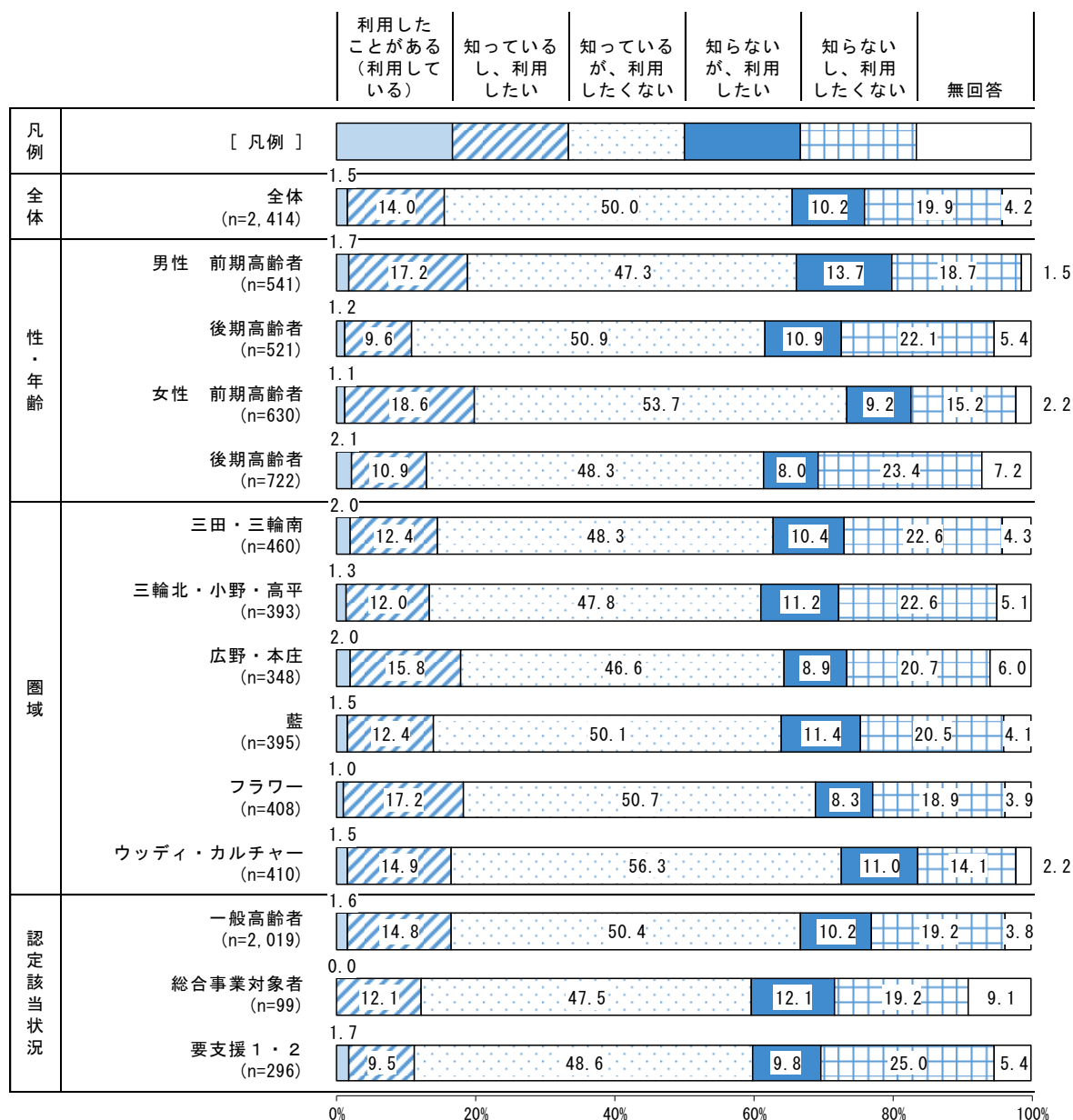
【圏域】

- ウッディ・カルチャーは「知っているが、利用したくない」が他の圏域に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2は「知らないし、利用したくない」が他の区分に比べて多くなっています。

【成年後見制度の認知・利用状況】



(3) 困っていることや不安なこと

●問72 現在困っていることや、不安なことはありますか。(いくつでも)

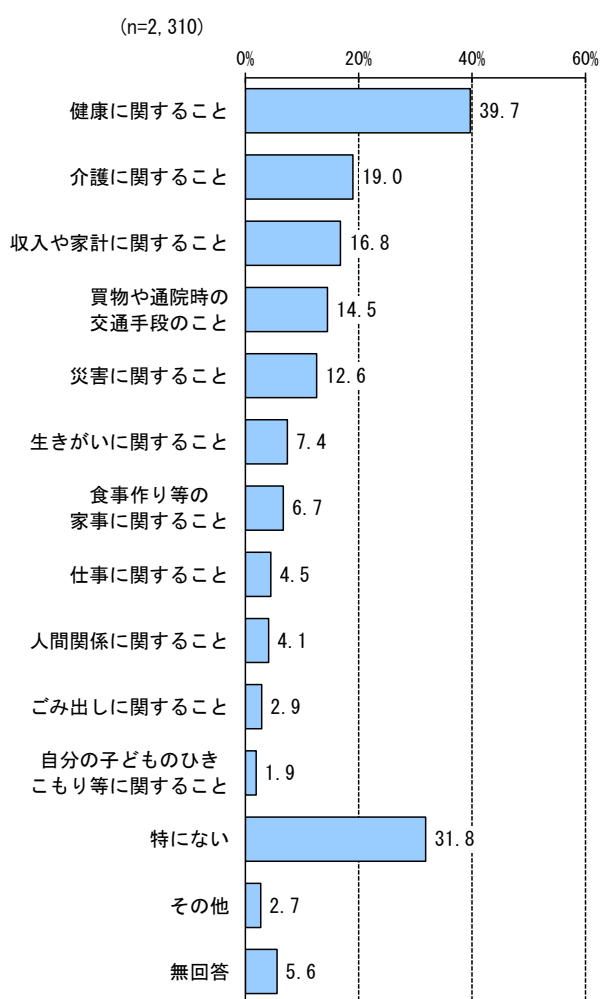
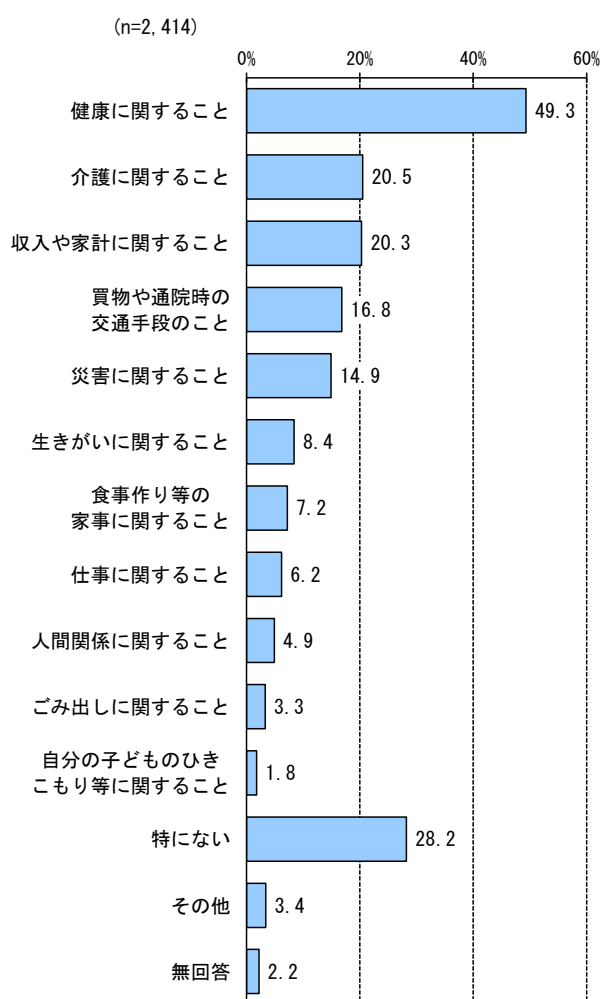
【全体】

- 困っていることや不安なことについて、「健康に関すること」が 49.3%で最も多く、次いで「特にない」が 28.2%、「介護に関すること」が 20.5%となっています。
- 前回調査と比べて、「健康に関すること」が 9.6 ポイント多くなっています。

【困っていることや不安なこと】

[今回調査 (R8 年度)]

[前回調査 (R4 年度)]



【性・年齢】

- 女性の後期高齢者は「買物や通院時の交通手段のこと」が他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- ウッディ・カルチャーは「収入や家計に関すること」が他の圏域に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

- 要支援1・2は「健康に関すること」「介護に関すること」「買物や通院時の交通手段のこと」が一般高齢者に比べて多くなっています。

単位：％

		母数	困っていることや不安なこと						
			健康に関すること	介護に関すること	と収入や家計に関すること	買物や通院時の交通手段のこと	災害に関すること	生きがいに関すること	食事作り等の家事に関すること
全体		2,414	49.3	20.5	20.3	16.8	14.9	8.4	7.2
性・年齢	男性 前期高齢者	541	48.8	16.3	26.1	7.9	11.5	10.4	4.1
	後期高齢者	521	55.3	24.6	20.9	17.1	13.1	8.8	11.3
	女性 前期高齢者	630	44.9	15.7	22.5	12.2	17.6	8.4	4.0
	後期高齢者	722	49.0	24.9	13.6	△ 27.1	16.3	6.5	9.6
圏域	三田・三輪南	460	51.5	21.5	23.3	14.3	16.1	9.6	7.2
	三輪北・小野・高平	393	49.1	19.8	24.2	18.3	16.3	6.9	7.6
	広野・本庄	348	52.3	21.0	21.0	20.7	17.2	7.8	8.6
	藍	395	44.8	18.2	20.3	20.8	12.7	6.3	6.6
	フラワー	408	52.5	22.3	18.4	14.2	13.0	10.0	7.6
	ウッディ・カルチャー	410	45.4	20.0	14.6	13.4	14.1	9.3	6.1
当認定該当該	一般高齢者	2,019	47.2	18.4	21.3	14.6	14.9	7.7	5.5
	総合事業対象者	99	47.5	25.3	16.2	△ 26.3	14.1	10.1	15.2
	要支援1・2	296	△ 63.9	△ 33.1	14.5	△ 28.4	14.9	12.5	16.2

単位：％

		母数	困っていることや不安なこと						
			仕事に関する こと	人間関係に 関すること	ごみ出しに 関すること	自分の子 どもへの ひきこも り等に関 すること	特にな い	そ 他	無 回 答
全体		2,414	6.2	4.9	3.3	1.8	28.2	3.4	2.2
性・ 年 齢	男性 前期高齢者	541	12.2	5.2	1.5	2.6	33.1	3.0	0.2
	後期高齢者	521	4.6	5.4	3.3	1.5	25.3	3.3	1.5
	女性 前期高齢者	630	7.5	4.6	1.4	2.1	30.8	4.1	3.2
	後期高齢者	722	1.8	4.6	6.2	1.2	24.4	3.3	3.3
圏 域	三田・三輪南	460	5.2	5.9	4.1	1.5	27.8	3.9	1.7
	三輪北・小野・高平	393	8.9	4.3	3.1	1.8	25.4	2.3	3.3
	広野・本庄	348	8.3	7.2	2.9	1.4	22.7	3.2	1.7
	藍	395	5.6	4.3	3.0	2.0	29.9	4.8	2.8
	フラワー	408	5.6	3.2	2.5	1.5	29.7	3.2	2.2
	ウッディ・カルチャー	410	4.1	4.6	3.9	2.7	32.9	3.2	1.5
当 認 定 該 況	一般高齢者	2,019	7.0	4.7	2.3	1.8	30.5	3.6	2.0
	総合事業対象者	99	—	7.1	5.1	4.0	21.2	2.0	6.1
	要支援1・2	296	2.7	5.7	9.1	1.4	▼ 15.2	3.0	2.4

(4) 介護が必要になった時の介護サービスの利用と住まい

- 問73 介護が必要になった時の介護サービスの利用と住まいについて、どのようにお考えですか。最も近いものをお選びください。（1つだけ）

【全体】

- 介護が必要になった時の介護サービスの利用と住まいについて、「介護サービスを利用しながら、できるだけ自宅で暮らしたい」が 63.8%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」が 12.8%、「わからない」が 9.5%となっています。「介護サービスを利用せずに、家族などに介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」「介護サービスを利用しながら、できるだけ自宅で暮らしたい」を合わせた“自宅で暮らしたい方”は 68.3%となっています。

【介護が必要になった時の介護サービスの利用と住まい】
[今回調査（R8 年度）] [前回調査（R4 年度）]

